

神の愛によるいやし

— 遺伝子が休息を求めている —
傷ついた細胞はどのように修復されるのか？

医学博士
サング・リー



神の愛によるいやし

医学博士サング・リー
井深光子訳

目次

Part 1	－安息日の生物分子学	1
Part 2	－ガンは治せるか	19
Part 3	－免疫システムをいかに向上させるか	39
Part 4	－鬱と肥満の扱い方	65
Part 5	－高血圧をどうするか	93

医学博士リー・サングによる
ニュースタートセミナーでの講義録より

PART 1

—安息日の生物分子学—

先 回ここに来たときには、私がこれからお話ししようとするについて洞察していませんでした。ちょうど3年前、聖霊は私に安息日についてのすばらしい啓示を与えて下さいました。私はこれを「安息日に関する分子生物学」、あるいは「安息日に関する神の生物学」と題して各地で話してきました。

こ こにマルチン・ウェーバーさんがいらっしゃるのを見て、私はとてもわくわくしています。私がアドベンチストの信仰を受け入れてバプテスマを受けたのは1982年ですが、彼は、私が最初に出会ったアドベンチストです。その時、彼は喘息の5歳の息子さんを私の診察室に連れてこられたのでした。私が食餌療法の指示をいくつか与えていますと、「あなたの指示は私どもの教会が健康によいと言って与えている指示と同じです」と言われました。私は内心、「教会がこういうことができるだろうか」と思いました。マルチンさんは「ミニストリー・オブ・ヒーリング」と「食事と食物に

関する勧告」という本を私に下さいました。それを見たとき、私は椅子から転げ落ちそうになるほど驚きました。大変興味を持ったので私は聖書研究をし、ついにマルチンさんのいたアナハイム・カリフォルニア教会でバプテスマを受けました。私は1982年の1月にアドベンチストになりました。バプテスマを受けて、非常に興奮し、「ミニストリー・オブ・ヒーリング」に大きな価値を認めたので、ウイマー学園に加わることに決めました。

私 は健康メッセージと福音を結びつけて働きながらすばらしい祝福を受け、よい経験をしました。しかし、頭の中には未解決の問題がありました。安息日に関して何かが気になっていたのです。神学的には、安息日のことでは全く満足していましたが、休息というのは生物学的に密接な関わり合いがあります。安息日は休息と何の関係があるのでしょうか。なぜ神は安息日に休息を命じられたのでしょうか。私は多くの人々にこの質問をしました。皆さんはその答をご存じでしょう。「神が命じられたから私たちは休息するのです」。あるいは、「神が安息日に休まれたから私たちも休むのです」。これにはあまり良い含みはなく、律法主義的な意味合いがあるので、私はこのことで「神を賛美せよ」と言えませんでした。私が何を言っているのかおわかりでしょう。神が休息する

ように命じられるから私たちは休むというのです。とにかく私は休息しましたが、いつも日没を待ちわびていました。安息日にとりわけ休息することで、どうして幸福でいられるのでしょうか。聖書を研究したところによれば、聖書のどの教えにもある種の生物学的意義が常にあるのです。話を進めていくうちに、このことがはっきりしてくるでしょう。

安息日に関する生物学的な意義に関するこの意外な新事実を見つけたなら、皆さんは、あらゆる病気や健康の様相について全く新しい視点を持つようになることでしょう。もし私たちが、神が命令されたからとか、神が安息日に休まれたからという理由だけで休むのなら、父親が家族に威張って指図していると潜在意識で考えるようなものと同じような考え持つことになります。例えば、ある日、数人の子供がいる父親が、とても疲れて帰ってきて、「私はとても疲れた。休息が必要だ。だからおまえたち子供にも休息がいる」と言ったとします。お父さんが休んでいるから、子供たちも休まなければいけない。これでいいのでしょうか。父親が休むのというだけで休むのでしょうか。それ以上の意味があるはずです。私たちはなぜ安息日に休まなければならないかという理由はほんとうにそうなののでしょうか。



この休息という概念について説明してみます。(大きなコイルを取り出して上部をつまみ、伸びた状態にして)これは何に見えますか。これは遺伝子に似ていますね。DNAに似ているでしょう。DNAはちょうどこれとそっくりです。ご存じのように遺伝子はDNAからできています。遺伝子が活性状態にあるときこのように見えます。そして遺伝子が不活性の状態になると、ただ縮んで、科学的に言えば、圧縮態になります。伸びた状態は活性化状態です。科学者はこれを圧縮解除態と呼びます。遺伝子は、活性状態にも不活性状態にもなります。スイッチを切ったり入れたりする事ができます。科学者は実際遺伝子の中にスイッチを見つけました。「オン」スイッチと「オフ」スイッチです。これは大変興味深いことです。科学における20世紀最大の神秘の一つは、遺伝子はどのようにしてスイッチが入り、またスイッチが切れるのかという事です。ここにスイッチがありますが、私たちにはそれがどのようにして入ったり切れたりするのか

わからないのです。この集会の間にそれを見つけないものですね。

科 学者たちはまた、私たちの正常な細胞は、分裂の直前に常に休むことを見つけ出しました。細胞は増殖します。細胞が休んでいるとき、増殖の備えをしているのです。それはまた、ほんとうに興味あるもう一つの発見です。休息には何か意義があるはずですね。なぜ細胞は増殖の直前に休むのでしょうか。細胞が増殖しなければ、有機体は死んでしまうはずで、何も新しい細胞を作り出さなければ、死んでいるのです。命は細胞の増殖です。

こ ういう新しいことも分子生物学の視野の内にあります。分子生物学は、今日の医学における最もエキサイティングな分野です。私が医学校にいた1960年代には、分子生物学と呼ばれる分野さえありませんでした。今分子生物学は現代医学をリードしている科学分野です。それが一層進展し、遺伝子について学ばば学ぶほど、私たちは人体と健康について一層わかってきます。

私 の新しい健康講義は、分子生

物学や遺伝について新たにわかってきたことに基づいています。高血圧、肥満、ウェイトコントロールについてもお話しするつもりです。ダイエットをしているのに体重が増える人がいるのはなぜでしょうか。ある遺伝子が関わっていることがおわかりになるでしょう。皆さんの持つておられる遺伝子についての考えは、「みんな遺伝だ、ひどいものだ」というものです。何かが遺伝だと言うことは、望みがないという暗示的な意味を与えます。ほんとうはそんなことはありません。逆なのです。遺伝子はスイッチを入れたり切ったりすることができる、そしてどのようにしてそうするのかがわかると、望みがないことはないのだということがはっきりとおわかりになるでしょう。ほんとうに新たな希望を引き起こしてくれます。とても興味深いことです。



ところで、とにかく、科学者というのは実に好奇心があります。遺伝子はどうやってスイッチを入れたり切ったりするのでしょうか。まだ、正確なメカニズムはほんとうにはわかっていません。しかしこういう種類の現象が存在することは科学的にわかっています。

1 960年代に私が医学校にいた頃、遺伝子については多くの考えをもっていませんでした。鬱病についてもあまり知りませんでした。鬱病とは何でしょうか。今日では、だれもがセロトニンのことを知っていますね。だれもがエンドルフィンのことを知っています。これらは脳内物質です。脳が十分なセロトニンを生成しないと、鬱病になります。脳が十分なエンドルフィンを生じないのも問題になります。不幸な感覚を持つことになります。セロトニンは平安、鎮静、確信といった感じを与えます。脳細胞の中で十分にセロトニンが生成されないと恐れ、不安、落ち着かない、安眠できないという感じになります。それが鬱状態にある人の典型的な有様です。セロトニンを生成する遺伝子があります。幸福感を作り出すエンドルフィンを生じさせる遺伝子もあります。

私が医学校にいた頃、遺伝子の機能については知りませんでした。上級学年にいるとき、ひどい鬱状態にあった若い女性に会いました。姑は彼女を家から追い出しました。そのころの韓国では姑は、嫁が息子を生まないときには追い出す権利がありました(今ではそんなことは全くありません)。ひどいではありませんか。このかわいそうな女性には女の子が二人あっただけなので、追い出されたのです。問題は夫が



母親の味方についたことです。彼の妻はひどく失望しました。彼女には薬は効かず、眠れませんでした。彼女はベッドに座っているだけで、食べず、話さず、笑わず、全くひどい状態でした。彼女は死にそうになりました。ついに主任教授は彼女に電気ショック療法をする事に決めました。どうやって電気ショック療法をするのか、私は見たことがなかったので、彼女が電気ショック療法をする部屋に連れて行かれ、縛り付けられるのをじっと見ていました。最近では、患者を縛り付けず、ある種の筋肉弛緩剤を与えるので、彼らは発作を起こしません。当時筋肉弛緩剤はなかったので彼女を縛り付けなくてはなりません。電気端子を頭の両側に取り付けました。ボタンを押すと彼女は「アアアア、ギャー!」と叫びました。すごく不規則な発作を起こして気を失いました。彼女は5、6時間眠り、徐々に目覚めてきて、食べたいと言いました。それは不思議でした。それからほほえみ、私のところにやってきて一緒に卓球をしないかと尋ねました。私はびっく

りました。そのとき私は、心理学者になってこのすばらしい機械を買い、だれでもかかれでもかけてやろうと決心しました。

私は、いったい彼女の脳に何が起ったのか知りたいと思いました。電気は彼女の脳に何をしたのでしょうか。私は教授の部屋に駆け込んで行き、「先生、彼女の脳に何が起きたのですか。電気は彼女の脳に何をしたのですか」と尋ねました。教授は、「わからない。ただ効き目があるんだ」と言いました。私は、「それはおかしいですよ。どういう意味ですか、ただ効き目があるとは」と言いました。彼は、「さあ、ただ効き目があるんだよ」と言いました。でもなぜ効き目があるのかおわかりですか。電気は遺伝子を刺激し活性化させるので、彼女は急にたくさんのセロトニンとエンドルフィンを生成したのです。そういうわけで彼女は幸福になりました。言い替えば、電気ショックによって幸福にさせられたのです。

電気ショックをかけると、常にそれは脳細胞に対して過分の刺激になり、多くの脳細胞が死にます。私は彼女の急激な変化に驚きました。私は彼女と少し卓球をして遊びました。彼女は幸福そうで、よく食べました。1週間ほどすると、彼女は少しばかり鬱状

態になり次第に坂を下っていくようでした。3週間後、彼女は以前と全く同じ状態になりました。医者はずっと薬を与えればよくなるのではないかと考えましたが、彼女は悪くなるばかりでしたので、再び電気ショックをかけることに決めました。すばらしい効き目がありましたが、それから2週間すると以前の状態に戻りました。彼女は5回にわたって電気ショックをかけられ、記憶を失いました。ついに彼女の脳細胞は、電気にはもはや反応しなくなりました。彼女は死亡しました。私は強い怒りを感じました。

遺伝子は外部から来るエネルギーに反応します。この女性のセロトニン遺伝子は抑圧されていて、電気がそれを活性化しました。わかっているのは、遺伝子はエネルギーの外部からの注入に反応するということです。それについてもう少し考えてみましょう。彼女の鬱病に対し、電気ショックではなく最良の治療法は何かあり得たでしょう。薬は効きませんでした。運動は電気療法よりはずっとましですが、鬱病の人たちは運動する気分にはなりません。他には何かないですか。ただ一つの最良の方法は夫が電話をかけて、「お前、愛しているよ。君無しでは生きられない」と言うことではないでしょうか。そうすれば彼女はエンドルフィンとセロトニンを生成するので幸福感を味わうことでしょう。そして

夫と共に平安に眠れることでしょう。おわかりですか。明らかに愛が遺伝子を活性化するのは、セロトニン生成遺伝子を、またエンドルフィン生成遺伝子を。これが最良の治療法です。それは記憶を失わせるようなことは何也不会ありません。脳細胞を殺すこともなく、脳細胞の中の遺伝子を活性化させます。科学者はこの点を証明するために非常に活気づき意気込んでいます。

科 学者はいつも好奇心旺盛です。実験室でネズミやマウスを観察すると、常に母親がたえず自分の子供を一匹ずつなめ回しています。科学者はどうしてなのかとても好奇心を持ちました。最初、彼らは、母ネズミは赤ん坊ネズミの毛皮の汚れを取ってきれいにしようとしているのだと考えました。けれどもきれいにしなければならないような物はないことに気がつきました。そこで母親と子供が全く同じ種類の食べ物を同じ量だけ食べるようにしておいて、子供を一掴み母親から引き離すことにしました。2、3週間後に、母親から引き離れた子ネズミと母親と一緒にいた子ネズミとの違いを見つけました。母親になめてもらっていた子ネズミはたいへんよく成長していましたが、母親から引き離れた子ネズミはあまり成長していませんでした。



ほ とんどの人たちは同じ生き物が同じように食べていれば、同じように成長すると考えます。けれどもそれは違うのです。食べることと成長とは別のことです。成長のためには、成長ホルモンを十分生成しなければなりません。科学者は、赤ちゃんネズミの二つのグループの成長ホルモンを比較してみることになりました。何をみつけたのでしょうか。母親ネズミから引き離れた子ネズミの成長ホルモンのレベルは非常に低かったのです。面白いことに、その子ネズミたちを母親の所に戻すと成長ホルモンが増加し早い成長を始めたのです。さて、イエスが何とおっしゃったかご存知ですか。「人はパンだけで生きるのではない」。ネズミでさえもパンだけでは生きないのです。私たちに必要なのは何でしょうか。愛が必要です。赤ちゃんネズミが母親の愛を必要とするように、私たちの遺伝子にとって神に愛されているということがどれほど必要なことでしょう。小さなネズミにとってでさえ、愛は遺伝子を活性化させ、それほど大き

な違いになるのです。この成長ホルモンはそれをつくる遺伝子からきます。これを成長ホルモン遺伝子と呼びましょう。母ネズミが子ネズミをなめると、成長ホルモン遺伝子は活性化します。母親から引き離されると遺伝子は抑圧されます。母親の所に戻され、またなめてもらえば回復します。

遺伝子は良き愛に反応し、愛は電気のようにエネルギーとして働きます。愛は特定の状況、感情の特定の状態を説明する単なる言葉ではありません。愛は力です。神の愛は私たちの遺伝子にとって力です。ですから神の愛は何ですか。命です。私たちの遺伝子は、活性化してくれる外部エネルギーがないと、命がありません。それらは死んでいき、ついに死滅してしまいます。私たちが生きているのは神が私たちを愛して下さるからです。

別のことをお話ししましょう。遺伝子の持つ二つの違った特性を見つけましたね。第一は、遺伝子は体外から来る電気に反応すること。第二に遺伝子は電気に反応するのと全く同じく、愛に反応すること。さて、愛はエネルギーであることを知りま



した。それには遺伝子に作用する力があります。では、他の例を見てみましょう。

皆さんはパブロフ博士をご存じですか。彼は犬の条件反射の実験をしました。実験をした最初の日にベルを鳴らしました。すると犬に何が起きましたか。犬はその意味がわからなかったことでしょうか。何でうるさくしているんだと思ったことでしょうか。パブロフ博士は、ベルを鳴らした後に少し肉を与え、抱きしめ、撫で始めました。すると犬は、パブロフ博士がベルを鳴らすときはいつでも、自分を愛し、かまってくれようとしていることがわかり始めました。そこで犬はベルの音には意味があることがわかったのですね。

1 週間後に、実験は変わりました。パブロフ博士はベルを鳴らしましたが、肉も食べ物も与えず、抱くことも撫でることもしませんでした。最初の1週間、博士がベルを鳴らすと、犬は唾液を出しました。犬の唾液を出す遺伝子が活発に働いていました。最初の日、また2日目ですえ、ベルが鳴っても意味がありませんでした。犬は反応しませんでした。犬の遺伝子は反応しなかったのです。けれど

もそれに特定の意味があった時には、そのベルの音が持つ意味に従って反応しましたね。犬たちはただ音に反応していたのではありません、音の持つ意味に反応していたのです。言い換えれば、遺伝子は意味に反応すると言えます。もう少し先に進みましょう。2週目、パブロフ博士は、ベルを鳴らしても食べ物を与えるのを止めました。食べ物のない最初の日、犬はベルの鳴るのを聞き、もちろん唾液をたっぷりと出しました。犬は食べ物をもらえるものと思ったからです。けれども何もくれなかったのがっかりしました。そういう第1日目後はベルの音の背後にある意味が弱くなりました。2日目には、犬はもう確実だとは思わなくなりました。けれどもまだ信頼したいと思いました。日毎にそれは意味をなくしていきました。二日目にパブロフ博士がベルを鳴らすと、犬は唾液を出しましたが前の日よりは少なくなっていました。今では意味が半減していたからです。おわかりですか。私たちの遺伝子は意味、反応の効力に反応するのです。3日目、犬はまだ唾液を出しましたが、ほんの少しでした。どうしてですか。3日続きの失望で犬は非常に疑い深くなりました。4日目、犬は言いました「あっちへ行け」。そして5日目、犬は、「ウー—」とうなりました。生きている物は皆、無意味を嫌います。どうしてですか。私たちの遺伝子は意味を愛するからです。無

意味は命のないことを意味します。ほんとうです。生活の中に意味があるということが、生きることをすばらしくします。

私 はよく旅行をします。香港、韓国、ギリシャ、クロアチア、ドイツを回り、やっと韓国に戻り、おとといカリフォルニアに帰ってきて、それから今日はここアリゾナにいます。1992年以来、こうしていつも旅行を続けています。でも私は時差ボケにはなりません。私の遺伝子は毎日意味深い刺激を受けているので、良い状態にあるのです。皆さん方は何かいいことを期待して、今、私のお話を聞きになっており、そして新たな意味がわかりつつあります。私は福音の意味を分かち合っているところですから、皆さんの遺伝子は喜んでいてでしょう。真理のもつ意味はベルの音の持つ意味以上のものです。ベルの音が持つよい意味でさえ遺伝子を興奮させますが、神のみ言葉はどれほどのことをするのでしょうか。安息日は皆さんにとってもっと意味深いものとなるでしょう。私たちの遺伝子は愛と意味に対して反応するのです。意味はとても大切です。

こ 存知のように、私たちの生活の中には「真実」と「事実」と呼ばれることがあります。ところでこれは私にとって、とても興味ある新しい啓示です。今日、人々は「真実」と「事実」を混同

しています。私は、真実は事実だ、事実は真実であると思っていました。しかし事実と真実は全く同じではないことに気がつきました。大きな違いがあるので、二つを比べてみましょう。

ある女性と男性が深く愛し合っ
て、結婚しました。この新郎、花
婿はとても幸福でした。そしてハネム
ーンの最初の朝、彼は言いました。「君、君
は僕の妻だ!ワオ!」何と意味ある言葉
でしょう。「君は僕の妻だ!」。その瞬間、
それはとても意味があります、そうですね。
忘れられない瞬間です。彼らは愛し
合っているのです、それはすばらしい瞬間
です。30年後、残念なことに愛は消えま
した。ある日夫が言います、「君、君は僕
の妻だ」。すると彼女は言
います、「それが何なの」。

突然、愛が消えたので意
味がなくなりました、美も
なくなりました。

愛は意味と美を創
り出します。愛が消えると、美
は跡形もなくなります。意味もなくなり
ます。これを基本に、細胞について説明
したいことがあります。安息日に私たち
の細胞に何が起こるのでしょうか。これは
とても大切です。細胞は休息が必要だ
ということがわかりました。ハーバード大
学は、乳ガンについてたいへん興味あ

る報告を出しました。この報告の中にあ
る情報は、どんなガンでも同じだと私は
確信しています。それは、午前中に働き
に出る看護婦と、夜中の11時や12時に
出かけて朝7時頃帰宅する夜勤の看護
婦に見られるガンの発生率を比較した
ものです。何がわかったと思いますか。
乳ガンの罹患率は夜勤で働く看護婦で
は約4倍も高かったのです。恐ろしいこ
とではありませんか。この発見にははっ
きりした答が出ていません。私は、これら
の発見は聖書の真理のためには非常に
良い含みのあるものだと思います。

私たちの体には、生物的サイク
ルがあります。科学者はこれ
を24時間サイクル、概日リズムと呼びま
す。そして素人はこれを生
体リズムと呼びます。生体リ
ズムは遺伝子の活動、細胞
の活動によって起こります。
細胞はいつもは日中活動し
ます。太陽が昇ると、細胞は
活発になってきて、日中、最

も活発になります。午後、遺伝子の活動
は徐々にゆるやかになってきて、日没後
や夜間は、細胞はたいてい休息をとる傾
向があります。私たちの細胞はこの24時
間サイクルの中で休むのです。というこ
とは、もし皆さんが自分の細胞、又は遺
伝子に夜間休みたいときに休ませなけ
れば、問題が起こるということです。そこ



にガンとの関係がいくらかあります。私はガンに関して調べてみて、体内の細胞は生体リズムに従って休むことができないと喜ばないことがわかりました。正常な細胞は生体リズムに従って休みますが、ガン細胞は生体リズムをなくして、いつ



でも働いています。ガン細胞には昼も夜も休みがありません。言い替えれば、ガン細胞は休む能力をなくしているのです。これは非常に興味あることです。

× リーランドのベセスダにある国立ガン研究所の科学者の一人は、正常細胞に比べてガン細胞はどれほど強いのかを知りたいと思いました。当時、科学者は、ガン細胞は正常細胞よりもはるかに強いと思っていました。どうしてでしょうか。ガン患者の中ではたいてい、ガン細胞が実際に広がって行き、正常細胞は攻撃に手も足も出ないからです。この科学者はガン細胞がどれほど強力に正常な細胞に影響を与えるのかをみたいと思いました。彼は実験室でガン細胞と正常細胞を一緒に同じ試験管に入れて数えました。2、3日後、正常細胞は全部ガン細胞になっているものと思いました。するとどうでしょう。期待とは逆に、ガン細胞が全部正常細胞

になっていました。面白いではありませんか。そういうわけで、ガンの治癒が時に起こるのです。

この研究中彼らは、休むことのできる正常細胞が、ガン細胞を休ませることのできるようにさせる非常に奇妙な化学物質を生

成することを見つけました。休むことは正常細胞によって生成されるある種の化学物質によるのです。科学者たちはこの化学物質がガン細胞を正常細胞に戻らせることから、この化学物質を反ガン因子と名付けました。この反ガン因子は明らかに正常細胞から出てくるのです。これは、正常細胞は反ガン因子を生成する遺伝子を持っているはずだということです。その遺伝子はp-53です。この遺伝子は反ガン因子という特殊な物質を生成します。神は私たちが必要とするものをすべて備えておられます。科学者たちは、正常な細胞はこのp-53が活動しており、ガン細胞にはこの遺伝子がなくなっていることを見つけました。そういうわけで、ガン細胞はこの反ガン因子を生成しないのでガン細胞になるのです。このp-53遺伝子は反ガン因子を生成することでどうするのでしょうか。細胞を休ませるのです。正常細胞の中のこのp-53遺伝子は休息因子を生成し、ガン細胞がこ

の休息因子を吸収し、休み、それから正常細胞になります。興味深いではないですか。休息は何をするのでしょうか。

皆さんは、ガン細胞とは何なのかを理解しなければなりません。ガン細胞と正常細胞との違いは何ですか。遺伝子の違いがあります。私たちは以前にはガンのことがよくわかっていませんでしたが、今ではガンのことを良く理解しています。正常細胞が休むことができるわけは、それらにはp-53遺伝子があるからです。ガン細胞は休むことができない、その意味はガン細胞のp-53遺伝子は消えてしまったか、壊れているということです。それで、もしガン細胞にp-53遺伝子があっても、たいていそれは壊れています。ですからうまく働いていません。今、科学者は、ガンは遺伝子の変容によって起こることを知っています。遺伝子が傷ついたら、その遺伝子は修復されなければなりません。さて、この事を考えてみて下さい。正常遺伝子も傷つきます。人々は煙草を吸います。これには、細胞に入って遺伝子を傷つける多量の発ガン物質があります。けれども、煙草を吸う人が全部肺ガンにはなりません。どうしてでしょうか。タバコの煙によ

って入ってくる発ガン物質は遺伝子を傷つけますが、たいていその傷は修復されるからです。

そうです、科学者は遺伝子は修復されることを見つけました。遺伝子はストレスのたくさんある状況下ではあまりうまく修復されませんが、人或いは動物が愛を受けると非常にうまく修復されます。たいへん興味深いことです。この事はもっともっと面白くなってきます。ニュースタートプログラムを実行している間に、私たちは多くのガン患者たちが愛を受けたことにより、また、遺伝子は愛と意味に対しどのように反応するかを理解することにより、正常に戻ったのを経験しました。神の言葉の意味を理解することによってです。聖霊が彼らの目を開くと、神が自分を愛しておられることに気がつきます。それは大きな衝撃です。私はこれを衝撃と呼びます。なぜなら、人々は失望しているとき、その失望は人工的な強い刺激で一時的に緩和



和されることがあるからです。聖書は「非常に刺激的」な書物です。たいへん啓発させられます。そうではありませんか。それにすばらしい本です。聖書は啓発するものだとなると、この聖書、神の言葉は皆

さんの体、皆さんの遺伝子に対して非常にすばらしいものになります。遺伝子は脳もコントロールします。ですから、神の言葉は心身にとってたいへんすばらしいものです。

さて、この大切な遺伝子、p-53遺伝子は大変有名な遺伝子であることがわかりました。これは1987年に発見され、1996年以来多くの注目を受けています。今、p-53遺伝子についてたくさんの方がわかっています。私はこれを反ガン因子とは呼びたくありません。休息因子と呼びたいのです。しかしそれから、このp-53遺伝子を安息日遺伝子と呼ぶのはどうだろかと気がつきました。きっとこの遺伝子は安息日を守ることと関係があります。いっそうわくわくしてきます。それから私は、正常な細胞が増殖するたびに先ず休まなければならないこと、それから分裂することに気がつきました。正常な細胞があります、核があり、染色体遺伝子があります。そしてこれらは休まなければならない。休むと何が起こるかわかりますか。染色体は非常にたくさん遺伝子からできていますね。[図を示して]これは染色体を形成するところです。しかし細胞が休んでいるとき、染色体はちょうど女性が髪の毛を整えるときのようにほどけています。ヘアスタイルはたいへん良く整えられています。女性が休日になると、先

ずすることは髪をほどいて新しく整え直すために洗います。傷んだ所が直されます、それはまるで愛という見えない手でなされているような修復です。遺伝子の「オン」スイッチを活性化させるのは、愛と呼ばれる、見えない手の様なものです。それが終わると、細胞は正常な形状に戻り、それからその細胞は分裂し、二つの別々の細胞になります。修復してもらえるように、いつも休むのです。

ある日私は、ヨハネ5章の、38年間病気でいた男のことを読んでいました。ついにイエスがおいでになって、安息日に彼をおいやしになりました。イエスが安息日に彼をいやしたので、大問題になりました。パリサイ人やユダヤ人はイエスの所にやってきて、なぜあなたは働くのか。なぜ安息日にそのようなことをするのかと言いました。ヨハネ5:16, 17。イエスが何と答えられたかご存知ですか。私たちアドベンチストはこの答を知りたいとは思いません。「わたしの父は今に至るまで働いておられる。わたしも働くのである」。さて、私たちの天の父は安息日に働いておられることがわかりました。イエスがそう言われたからです。安息日についての私たちの規則や規律によれば、安息日に私たちの父が働くので、私たちは皆働きに出なければならないことになってしまいます。私は、今までのような理解に従って

安息日を説明するのは止めるべきだとほんとうに思います。日曜教会の人たちが皆さんにこの聖句を示し、あなた方の父は安息日に働いておられるのだから、あなた方も働かなくてはなりませんね、と言うからです。そうなれば私たちにはどうしようもありません。神学的にはどうしようもありません。私たちは安息日に新たな意味を見つけなければなりません。

私はストレスの研究にとっても関心があります。科学者は人が7日目に休むことなく、6日間連続して同じストレスを受けていると、死亡しやすいことを見つけました。彼らは病気になります。第7日はストレスの回復のためにとっても大切です。感情的なストレスを受けると、それは皆さんの細胞に活性酸素を生成させるからです。活性酸素とは何かについては後ほど説明するつもりです。皆さんが非常に強いストレスにさらされる時にはいつでも、細胞が遺伝子を傷つける特別な酸素、活性酸素と呼ばれるものを生成します。6日連続してストレスを受けても、7日目に休息をとる限り、細胞はうまく回復します。これはよく知られている事実です。動物実験され、人間についても実験され、私たち人間も動物と同じように7日目の休息が必要であることが明らかになりました。けれども、なぜその日が土曜日でな

ければならないかを証明した人はだれもいません。だれも証明していません。私はこれを説明できません。

ある日私はこれを説明しようと決心しました。神に祈り、安息日にはとても重要な意味があるに違いありませんと言いました。私は安息日について調べ始めました。創世記2：3を読んでいると、「神はその第七日を祝福(された)」とありました。これを読んでいたその日に、神は安息日という言葉を私に説明して下さいました。私はいつも、聖書の中の「祝福」という言葉は神と人間との間に関わることだけだと感じていました。神は私たち人間を祝福することができます。そしてこの個所で、神は7日目を祝福されたと言っていました。私は独り言を言いました、「日がどうして祝福を受けられるのか。日は祝福を感謝しますと言えるだろうか」。それから私は、祝福についての自分の概念が、それについての聖書の概念と違っているのではないかということに気がつきました。

そこで私は祝福という言葉について調べてみました。少なくとも創世記の中では、祝福という言葉がどのように使われているのかを知りたいと思いました。びっくりしました。私自身も含めて、皆さんは、神から最初に祝福を受けたのはだれですかと聞かれたら、ア

ダムと言うでしょう。ご存じですか。それは違うのです。私は創世記1:21のところまで来て驚きました。ご覧下さい。読みましょう。「神は海の大なる獣と、水に群がるすべての動く生き物とを、種類にしたがって創造し、また翼のあるすべての鳥を、種類にしたがって創造された。神は見て、良しとされた。神はこれらを祝福して言われた」。神は魚と鳥を祝福なされたのです。私は、祝福は人間のためにあるのだと思っていました。神はすべてのものを祝福されます。魚や鳥を祝福し、日を祝福なさいます。これらの祝福は何をするのでしょうか。それから私はこのことがわかりました。22節で神は魚と鳥を祝福して言われました、「生めよ、ふえよ、海の水に満ちよ、また鳥は地にふえよ」。私は、「ワオ!祝福は生んだり増やしたりするために与えられるのか」と言いました。そう、遺伝子と関係があるのです。魚は祝福を受けていてもいなくても気にしませんが、増殖のためにそれらを祝福なさるのは神です。

この時点で私は、エレン・ホワイトが神の命令は約束であると言った時、何を意味していたのかが完全にわかりました。これなのです。神は祝福なさいます。そして神は生めよ増えよと命じられます。そして神はご自分の愛の力、愛のエネルギーをお与えになるのです。増やすのは神です。そうです。神の

命令は約束です。神は魚や鳥に彼らの遺伝子を増やすと約束しておられます。ですから彼らは生んで増えることでしょう。そうです。そこには信仰による義の基本的な原則があります。私たちは、神の命令を約束として理解しないと、律法主義者になります。私たちは恐ろしくなると、「神が私たちに命じておられる!」と言うのです。いいえ、神は私たちに約束しておられるのです。そして神は、ご自分がお命じになったことを私たちがすることのできる力を与えて下さいます。やっと創世記1章28節にきました。ここで神は人間、アダムとエバを祝福なさいました。「神は彼らを祝福して言われた、『生めよ、ふえよ、地に満ちよ』」。それから三度目の祝福、つまり神が第七日を祝福されたところにきます。それは第7日が神の力で満ちている、遺伝子を刺激する神の力でいっぱいだという意味です。これはたいへん興味深い日です。第7日は神のエネルギーで満ちています。

これはちょうど私の娘が自動車事故にあったときのようです。彼女はMRIを受けました。MRIの部屋は強い磁石があり、磁場、磁力で満ちています。娘は言いました「父さん、入って来て、お願い!」私はMRIのスキャンがもう始まっていることに気がつかなかったので、ドアを開けて足を入れました。すると技術者が私を見て叫び、出なさいと言

ましたが、遅すぎました。その部屋から出たときには、私のクレジットカードは全部使えなくなっていました。私は何も感じませんでした。私は何も感じませんが、クレジットカードの上にあった私に関するメッセージは変化しました。安息日はMRIの



部屋とそっくりです。皆さんは何も感じることはできませんが、遺伝子の中のコードを変えるのです。すごいではありませんか。皆さんはこの事を知るべきです。なぜならもし安息日に意味もなくただ休んでいれば、この力は働くことができないからです。ベルの音に意味がなければ、唾液の遺伝子には何もしないというパブロフ博士の実験のベルの音とそっくりです。皆さんがこの事を知ると、非常に意味深いものになります。安息日が来ると、皆さんは、「主よ、感謝します」と言います。すると皆さんの遺伝子全体、皆さんの全身が、「今日は安息日だ、だから私は安息日に休まなければ」と言うことでしょう。

私 は言葉調べを続け、とても興奮しました。この祝福は遺伝子の増殖と関係があるのです。創世記9:1。「神はノアとその子らとを祝福して彼らに言われた、『生めよ、ふえよ、地に満ちよ』」。創世記17章。びっくりさせましょう、い

いですか。これは驚きです。20節。神はアブラハムに向かって語っておいでになります。私たちが知らなかったことです。私たちは、神はイサクだけを祝福なさり、イシマエルは祝福されなかったと考えてはいませんでしたか。

「またイシマエルについてはあなたの願いを聞いた。わたしは彼を祝福して多くの子孫を得させ、大いにそれを増すであろう」。神はイシマエルも祝福なさいました。私たちは聖書を自分自身の観念に従って読むので、書かれていてもわからないのです。目が見えないのです。私たちは完全に自分自身の観念に支配されています。私は、神がイシマエルを祝福なさいましたことを知りませんでした。ですから、祝福という言葉が創世記に書かれているときは常に、増えること生むことに関係しているのです。私は創世記全体を調べ終わりました。もっとたくさんあるのですが、全部みていく時間はありません。

申 命記7:13は、神が「あなたを愛し、あなたを祝福し、あなたの数を増し、あなたに与えると先祖たちに誓われた地で、あなたの子女を祝福し、あなたの地の産物、穀物、酒、油、また牛の子、羊の子を増されるであろう。あな

たは万民にまさって祝福されるであろう。あなたのうち、男も女も子のないものはなく、またあなたの家畜にも子のないものはないであろう」とモーセが民に語っているところです。その祝福は明らかに増えることと関係があります。ですから私たちは安息日には休むべきなのです。神が私たちの細胞を増やすからです。いやしのために私たちには何が必要か知っていますか。新しい細胞をつくるために細胞の増殖が必要です。それがいやしです。ですから安息日はいやしの日です。これが、皆さんが休むべき理由です。遺伝子にとって増えることは、傷ついた遺伝子を修復することです。科学者が何を見つけたか知っていますか。細胞の遺伝子は私たちが休まないと決して修復されません。ですから細胞は修復されるために休むのです。それは問題の起きた自動車のようなものです。あたりを走り回っていながら修理屋になおしてくれと頼めば、修理工は先ず車を止めて下さいと言うでしょう。それが第4条です。

そう言うわけですから、第4条では、家畜、馬、動物も含まれているのです。それらの遺伝子もストレスで傷ついていますから、神はいやそうとなさって、動物たちも安息日に休むように命じておられるのです。神はこう言っておられます、「動物たちの遺伝子にも

触れさせて欲しい。そうすればいやすことができる」。ですから、人々が私のところにやってきて、安息日はユダヤ人のものだと言えば、私は今ではこう言います、「ユダヤ人という馬を見たことがありますか」。これは宗教的なだけの命令ではありません。この戒めは命の原則です。生物学上の原則です。そういうわけでイエスは、「わたしは道である」と言われるのです。これは命への道です。これはすべての男性、女性、しもべ、家畜にとつてさえも、命への道です。安息日の休み。「わたしは道であり、真理であり、命である」。この道は命の道です。これはすばらしいことではありませんか。私は今、それに非常に感動しています。私の遺伝子は活性化されているところです。皆さんもそうであって欲しいものです。今この時、皆さんのセロトニン遺伝子やエンドルフィン、心にある「アーメン」を声に出して表現すると、もっと活発になるでしょう。声に出して「アーメン」と言うことは、意味をもっと大きくしていることになります。意味をより大きくすれば、遺伝子はもっと反応します。安息日のために「アーメン」と言いましょ。よろしいですか。アーメン!すばらしいことです。エレン・ホワイトはこの事をあらかじめ言っています。彼女は安息日からはさらに真理が出てくると言いました。私は今それが始まったと思います。

私たちは安息日に休まねばなりません。休むべきです、そして働くべきです。天の父とイエスは安息日に働いておられます。質問します。なぜ神は創世記において安息日に休まれたのでしょうか。なぜでしょうか。その時には修復する仕事は何もありませんでした。まだこの世に罪は入っていませんでした。当時は遺伝子の損傷はありませんでした。神はストレスを望まなかったの
で休まれたのです。神は六日の間熱心に働かれました。ですから、なすべき仕事
がなかったのでお休みになりました。罪が入ってきてからは、どの安息日も忙しく
なりました。そして私たちは休まねばなりません。ところで、私はこうすべき
だと思います。安息日ごとに神にこう言う必要があります、「私のところで一生懸命
働いて下さい。私の遺伝子に触れて下さい、私のすべてはあなたのためにあり
ます」。これは信仰による義をもっともすばらしく描き出しています。「私のた
めにして下さい、私は自分のためにすることができません」。

安息日について最後に言いたいことは、神はその日を祝福なさったということ
です。これがどういう意味かわかりますか。神はだれも分け隔てしたいとは思
っておられないという意味です。その日から逃れることのできる人は誰も
いません。その日は何があっても皆

さんのところにやってきます。あなたが悪い者であっても、良い者であっても、あなたのところにやってきます。その祝福はあなたがどんな人であってもあなたのところにやってきます。皆さんがどんな人であっても、安息日を受け取って下さい、そうすればあなたは守られるでしょう。これは信仰による義を描いてはいないでしょうか。神は分け隔てをなさいません。私は、神がセブンスデー・アドベンチストやユダヤ人だけを祝福なさ
らなかったことをとてもうれしく思います。神は第七日を祝福なさいました。ですから神の祝福、神のいやしの力は、その日、だれのためにもあるのです。ですからそれは、「あなたがたとわたし」の間のしるしなのです。あなたがどんな人であっても、あなたが安息日を知るとき、それはあなたと神との間のしるしになるのです。美しい!これは新たな意味で、安息日についての生物学上の意味です。

私が、仏教徒、カトリック、バプテ
スト、長老派など色々違った種類の患者を持つとき、彼らに、どうして第4条の戒めだけが「覚えていなさい」で始まるのか知っているかと尋ねます。私たちは皆何か良いことを覚えていた
いものです。安息日はとてもいいものです。ですから神は、「わたしはあなたを強制したいとは思わない。ただ覚えていな
さい。わたしはあなたが安息日を覚えて



いられるようにもしよう」と言われるのです。安息日を覚えなさい。もしあなたが仏教徒であれば、行きたい日に仏教寺院へ行き、カトリックであれば行きたいときに教会に行ってください。バプテストであれば、行きたいときに教会へ行って下さい。けれども安息日のことを覚えていてくれませんか。あなたは安息日に、「修理のために車を止め」なければなりません。私の患者は皆、「ほんとうにありがとうございます」と言って、私を賞賛します。私は、「私を賞賛しないで下さい。安息日のために神を賞賛して下さい」と言います。美しいことではありませんか。安息日は馬も含めて、地上に生きているすべての被造物のためのすばらしいメッセージです。なぜ神は植物を祝福なさらなかったのでしょうか。なぜなら、植物は毎日休んでいるからです。しかし動物や私たちの社会は競争があり、罪の世界にいたので一生懸命に働かなくてはなりません。私たちには休みの日がぜひとも必要です。安息日は祝福されたいやしの日です。アーメン。

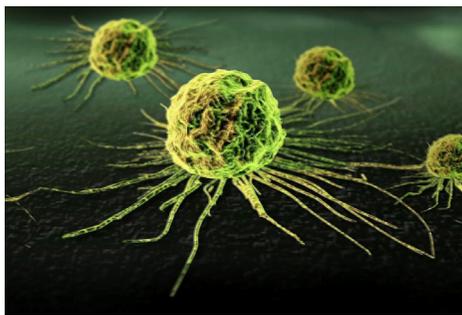
PART 2

ーガンは治せるかー

ガンは治るものでしょうか。皆さんはすでに答がおわかりだと思います。私たちは皆、正常で、健康な細胞をもっています。ガンというのは正常で健康な細胞のひとつがガン細胞になったという意味です。ひとつの細胞が成長して、腫瘍の固まりになるのです。どうして正常な細胞がガン細胞になるのでしょうか。

悪い遺伝子です。正常な細胞は完全に正常な遺伝子を持っています。だから正常です。この正常な遺伝子に何か起きて正常な細胞を変化させるのです。

こ存じのように、遺伝子は細胞の性質を決定します。もし遺伝子が変わると、細胞の性質が変わります。正常な遺伝子は正常な性質を維持しますが、遺伝子が異常になると細胞は異常になります。それをガン細胞と呼びます。遺伝子はどのようにして変わるのでしょうか。ちょうどティーンエイジャーと同じような具合に変化します。細



胞が変化するにはまず仲間内の圧力が必要です。仲間内の圧力がなければ、細胞はめったに変化しません。いったん仲間内の圧力が現れると、変化が起こります。ティーンエイジャーはドラッグをやってみよう圧力をかけられませんか。一度ドラッグをやってみると、若者は変化します。仲間内の圧力とドラッグの関係と細胞とはどんなふう似ているでしょ

うか。たいていの私たちは発ガン物質が遺伝子を変化させるのだと信じています。発ガン物質は遺伝子に対して作用し、遺伝子は異常な方向に変化し始めます。殺虫剤、防

腐剤、その他多くの種類の発ガン物質があります。しかし発ガン物質だけが仲間内の圧力、あるいは環境的な圧力となるわけではありません。正常な細胞の中の遺伝子を変化させるのは実際にはたいへん難しいのです。

韓国、中国、また日本では肝臓ガンと胃ガンが非常に多いです。

日本は胃ガンが原因での死亡率が世界で最高、また肝臓ガンでは第二位です。韓国は肝臓ガンによる死亡率が世界一、また胃ガンでは第二位です。どうしてこれらの国々では肝臓ガンや胃ガンの問



題がそんなに多いのでしょうか。アフラトキシンと呼ばれる発ガン物質があります。「ア」は、アスペーギルスと呼ばれるカビの名前からきており、「フラ」はフラバスからきています。アスペーギルスフラバスがこの毒素を出します。韓国や中国では、醤油のような、これらの毒素を含む製品を食べるので、多くのカビの菌があります。醤油は健康的なものではありません、味噌もそうです。先ず大豆をよく煮て、青や緑のかびを全面に生えさせます(日本の醤油や味噌は別物です)。それからカビが十分成長したら、塩水に入れて沸騰させます。大豆のソースというよりも、カビソースです。ですから韓国人、中国人のアフラトキシンの摂取量は非常に多いのです。

このアフラトキシンは、ガン、特に肝臓ガンと胃ガンを引き起こします。一人の例外もなく、韓国人は醤油を食べます。ではどうして全部の人がガンにならないのでしょうか。私はその答をすでに皆さんにお話ししました。アフ

ラトキシンは遺伝子を直接攻撃し、傷めます。この遺伝子の傷は、もし遺伝子が良い状況にあれば、非常に速やかに修復されます。科学者は発ガン物質によって傷ついた遺伝子は、その遺伝子が良い状況にあればすぐに修復できることを知っています。細胞の外部からの圧力が非常に重要です。

核のある細胞、そして遺伝子の入っている染色体を描いてみましょう。そこにアフラトキシンが入ってきて、遺伝子を傷つけます。遺伝子に傷を付けるのはアフラトキシンだけではありません。ここでは一例をあげているだけです。地上にいる人間はだれでも活性酸素という物質を発生させることがあります。酸素は非常に大切な化学物質です。もし5分間酸素を吸わないと、私たちの脳細胞は死に始めます。私たちが細胞に吸収する物質の中で、多分酸素は最も大切なものです。

酸素の特性のひとつは、誰かを抱きしめたいということです。言い替えれば、酸素は周りにあるものを何でも酸化してしまいます。酸化というのは酸素が結合する、あるいはさびさせるという意味です。窒素は何かを「窒素化」することはなく、水素のように一人でいることができます。けれども酸素は一人ではいたくないのです。私はこれを「



酸素のパーションナリティー」と呼んでいます。この「O(酸素)」はたいへんな寂しがりやで、誰かと離れた「O」ではいたくないのです。別の「O」と結びつくことさえあります。ですから「O」はひとつだけで存在することはありません。「O₂」の方が「O」よりもずっと安定しています。オゾンは「O₃」です。酸素はまるで女性のように振る舞います。三人の女性が一緒にいては、あまりうまくいきませんね。彼女たちは一人をはみ出させてしまうので、「O₂」と「O」がいることになります。そういうわけでオゾンはバクテリアを殺すのです。ひとつの「O」がはみ出し、とても寂しいので何かにくっつきたくなり、バクテリアさえも捕まえて、バクテリアの遺伝子を酸化させます。これが「O」の働き方です。この「O」は活性酸素と呼ばれます。この酸素はたいへん過激です。というのは何でも結びついて、抱きしめてしまうからです。「抱きしめる」のはよいことですが、残念なことには、この「抱きしめ」は他のものを変化させたり殺したりします。

も し、みなさんの細胞の中にあまりたくさん活性酸素があると、大きな問題です。というのは、この酸素

は細胞のどこへでも行こうとするからです。時には細胞膜と結びついて変質させます。けれども活性酸素が遺伝子と結びつくと、異常な遺伝子になります。これがガンの発達のステージを設定することです。正常な遺伝子の一部が酸化されると、その遺伝子は異常な遺伝子になります。これがガンの発達の最大の問題のひとつなのです。ほとんどの肺ガンは喫煙と関係していますが、1日タバコを3箱吸っていて肺ガンにならない人がおり、1本も吸ったことがないのに、どういふわけか肺ガンになる人がいるのを、誰でも知っています。それは活性酸素の差異によるのです。もしあなたが1日に3箱吸っていても、たとえ400種類のタバコを吸っていたとしても、あなたの細胞が活性酸素を発生させていなければ大丈夫なのです。あなたの細胞が活性酸素と縁がなければ、喫煙だけで肺ガンになることはまれです。私が言おうとしていることは、肺ガンの原因になるのは喫煙だけではなく、活性酸素の関与が必要だということです。あなたが1本もタバコを吸ったことがなくても、細胞内で多くの活性酸素を発生させれば、ガンになるでしょう。もし喫煙し多くの活性酸素を発生させていれば、喫煙をしていない場合よりもずっと肺ガンになりやすくなります。発ガン物質だけが問題を引き起こすのだとは考えないで下さい。その陰には活性酸素があるのです。

どんな状況が細胞内に多すぎる活性酸素を発生させることになるのでしょうか。最も健康な生活スタイルとは、活性酸素の発生が最も少ない生活スタイルです。最も健康な食事とは、細胞内で発生した活性酸素を中和する食事です。それが最高の食事です。これは私の私的な理論ではありません。医療科学者たちは、健康に対する最大の敵は活性酸素であると結論づけています。活性酸素はガンの原因、動脈硬化症の原因、またその他多くの問題の原因に関係ある、健康に対する最大の敵です。活性酸素は老化の最大の原因です。34歳の女性が活性酸素のせいで50歳の女性の顔の色つやであることもあります。それは皮膚を非常に年とったように見せます。活性酸素は私たちの最大の敵です。



食事の中にあるどんな化学物質が、細胞で発生した活性酸素

を中和することができるのでしょうか。抗酸化物の豊富な食事が活性酸素をうまく中和することができます。

活性酸素は細胞の外部から来ることもあるし、内部で発生することもあります。もし皆さんの細胞の中に十分な量の抗酸化物があれば、活性酸素が来たときに、その抗酸化物がそれらを「包み」込んで投げ出してしまいますから、遺伝子は影響を受けません。遺伝子が守られるのは、そういうわけです。遺伝子がしっかり守られ休息をとっている限り、愛のエネルギーで修復され何の問題もありません。愛のエネルギーは遺伝子を修復し活性化させます。

ガンというのは遺伝子が損傷を受けたという意味です。正常な細胞がすぐにガン細胞になるのでしょうか。いいえ、正常な細胞がガン細胞になるには長い時間がかかります。特定の幾つかの段階を経ます。ガン細胞が悪性になる前は、良性の腫瘍細胞です。皆さんが病院に行って、医者がしこりを見つけ生検を指示したとしましょう。後で、その医者が良性腫瘍だから心配しないでいいですよと言います。良性腫瘍とはどういう意味なのでしょうか。害はないということですか。どういう意味で害はないのでしょうか。それは転移しないということです。細胞が良性のステ

ジに達してから、悪性のステージに行き着きます。三つの違った良性のステージがあります、初期、中期、後期です。正常な細胞が悪性になるには、これらの良性ステージを経なければなりません。次のステージは、転移性の悪性腫瘍です。私が医学校にいたとき、間違っように習いました。たいていの人々は、どんな細胞でも悪性になると転移すると信じています。科学者たちは、ある細胞が悪性であっても、その場にとどまっているのを見つけました。肝臓ガンは別の遺伝子の変化が起こって、転移性になるまでは肝臓にとどまっています。

も し、例えばアフラトキシンや、活性酸素のせいで遺伝子にわずかな変化があり、一、二の遺伝子だけが影響を受けて、その遺伝子損傷が最小であれば、そのガンは初期のステージです。もし二、三の遺伝子が損傷を受けると、これは中期です。もし三、四の遺伝子が損傷を受けると、後期です。最後に、危険なステージはp-53遺伝子と呼ばれる特定の遺伝子が損傷を受けたときです。するとこの細胞は悪性になります。この細胞は非転移遺伝子が正常な状況にある限り転移はしません。この遺伝子は細胞が散らばるのを抑制しているので、科学者はこの遺伝子を非転移遺伝子あるいはnm遺伝子と呼んでいます。nm遺伝子がうまく働いているときは、ガン細胞

は散らばりません。nm遺伝子がなくなってしまうと、ガン細胞はあらゆる所に散らばっていきます。

体 内のたった1個の悪性ガン細胞の存在を発見することのできる医者は、この地上には誰もいません。理論的には可能ですが、現実には私たちの技術はまだそこまで達していません。この1個の悪性ガン細胞が体内にあるということは、医者からガンであると診断されるという意味ではありません。この1個の悪性ガン細胞は増殖を始め腫瘍の固まりを形成します。この腫瘍の固まりが十分に大きくなると、スキャンまたはX線で示されます。乳ガンは見えるようになるまでに8-10年かかります。もし皆さんの乳ガンが3年しか経っていないものであれば、その存在を発見できる人は誰もいません。もし60歳で肺ガンだと診断されたなら、その過程全体は40歳頃に始まったことを意味します。その20年の間、たとえ喫煙していたとしても、あなたは全く健康です。医者の所へ行きX線写真をとると、医者はガンに関しては陰性だと言います。皆さんは気づいていないのに、ずっと肺ガンが進行しているということです。これが現代医学の問題です。X線写真で見えないからガンではないとは言えないのです。X線で見えるようになるまでに10-20年を要します。腸ガンは5-10年か

かります。

医者が大丈夫だと言っても何もかも大丈夫だとは考えないで下さい。アメリカ人は自分たちの体を医者任せに任せるように訓練され過ぎていて、物事がうまくいかないと医者を訴えます。私は医者を訴える権利はないと思います。というのは、皆さん自身の健康責任をとらないのは皆さんの間違いだからです。医者もまた、はじめから進んで責任をとろうとしています。私たちは間違っただけで始めているのです。患者は言います、これは全部医者のせいだ、あなたは医者だと。そして医者は言います、「そうです私は医者です」と。ですから、医者は訴えられるわけですね。医者を訴えることでは何も保証されません。そうすることで健康を取り戻せますか。皆さんの健康を保証する最良の方法は皆さん自身の遺伝子に対する責任をとることです。

私たちは健康分野から神を締め出してしまったので、ひどい人工的システムを持っています。私たちは医者を神の座に置いています。ですから医者「神様」を訴えるのです。神が私たちの偉大な医者であれば、間違っただけは私たちなので医者を訴える必要はありません。これはたいへん面白いことです。私たちは間違っていると、医者を非難しま

す。しかし医者も患者も両方とも間違っているのです。私は一度訴えられたことがあり、ひどいものでした。患者は私を訴えようとは思わなかったのですが、家族が訴えたのです。その患者は心臓発作を起こしてしまい、私の指示を聞かなかったのが全くのところ彼女の失敗でした。彼女はよくない食べ物を食べ続けたのです。油っこい食べ物その他です。彼女はライフスタイルプログラムのことを知っており、そのプログラムに従っていれば大きな健康上の問題はないことを知っていました。彼女は自分がそのプログラムに従っていなかったことがわかっていました。その患者は私を訴えようなどとはしませんでした。彼女は発作を起こして話せなかったので、私を訴えたくはないと書きましたが、家族が訴えたのです。私は供述書を書かなければなりません。首が何と痛かったことでしょう。彼女の弁護士は、私が無能だった、そしてはなはだしい判断の間違いを犯したことを証明しようと努めました、それを立証することができませんでした。彼は一生懸命でした。後から、彼は、私が以前年間70万ドル稼いでいたこと、また、メルセデスを運転していたことを知りました。今では、私はホンダを運転し、こういうセミナーを無料で開いています。その弁護士は勝てないとわかり、結局あきらめました。彼は、「勝負にならない」と言いました。私は供述書を20頁

書き、弁護士と一緒に座って、多くの意地悪なひどい質問に答えなければなりませんでした。

今日ガンではないということは、何の意味もありません。皆さんのすべき最善のことは、この講義を聴いて今日から健康的なライフスタイルを始めることです。そうすれば、今、ガンのどんなステージにあったとしても、希望を持てるでしょう。時には良性腫瘍が増殖します。ひとつの小さな肝臓の細胞が良性の肝細胞になり次第にガン細胞になります。

私は仲間内の圧力について話してきました。遺伝子の最大の敵は発ガン物質と活性酸素です。活性酸素は細胞内に直接入り込むことがあります。もし喫煙をすると、活性酸素は燃えているタバコの中で発生し、肺の細胞に吸収されます。油っこい揚げ物は、高温に熱せられた油の中で調理されます。空気中の酸素は油脂と結合します。揚げたり、高温で調理された脂肪分の多い高脂肪食をしていると、多くの酸素が食物と一緒に入ってきます。そういうわけで、揚げ物を食べるのはほんとうによくありません。今日のティーンエイジャーはいつも活性酸素パーティをしています。彼らはフレンチフライ、コーンチップス、ポテトチップス、またピザを食べます。ピ

ザはどこがいけないのでしょうか。チーズは脂肪を非常に多く含んでいます。チーズを刻むと空中の酸素との接触を促します。特にチーズの固まりは、冷蔵庫に入れてある間は酸素とそれほど結合しませんが、刻んでピザの上に広げ、熱いオーブンの中に入れると、それが活性酸素パーティとなるのです。ハンバーグも、ひどいものです。これが韓国で流行っています。近頃、韓国人は経済的によくなってきたので、ファーストフードショップへ行くようになり、そこで楽しんでいます。ここアメリカにいる私たちが持っているものは何もかも、今韓国にあります。コーラやフレンチフライのようなものは全部、細胞の外部から来る活性酸素でいっぱいです。活性酸素は細胞内でも発生します。



また、怒り、特に誰かを憎むといったような感情的なストレスは体内での活性酸素の発生を引き起こします。

活性酸素を発生させるその他の条件は、過食（非常に健康的な

食事であっても)と運動のしすぎがあります。これらは直接遺伝子を害することはありませんが、細胞内で活性酸素を発生させるという間接的な害を及ぼします。感情的なストレス、怒り、憎しみ、恨み、恐れ、食べ過ぎ、休まず働き過ぎなどは、すべて間接的に活性酸素を作り出します。これを私は仲間内の圧力と呼びます。これらの仲間内の圧力と、タバコの煙やアフラトキシン(醤油からの)などの発ガン物質は、遺伝子をひどく傷つけます。

体内の細胞が全部正常な細胞であれば、決して固まりをつくることはありません。良性の腫瘍が固まり、あるいはしこりを形作ります。良性腫瘍の初期は遺伝子の変化があります。遺伝子が変わると、細胞は正常な性質を失っていきます。細胞の正常な性質は非常に興味深いものです。体内の細胞はどれも互いに傷つけあう事はありません。どの細胞も自分だけのために働くのではなく、いつも他のために働きます。面白いではありませんか。甲状腺は自分のためにではなく、脳のため、筋肉のため、心臓のために甲状腺ホルモンを分泌します。全身の益になるようにとホルモンを生じるのです。腎臓は決して自分のために働きません。腎臓、肝臓、その他は全身の益のために働きます。すべての器官が利己的ではなく、無我です。けれど

も細胞が良性腫瘍の初期のステージに入ると、利己的になります。

正常な細胞のグループを二つ実験室で培養し成長させると、互にくっつき合うようになり、層を形成します。医者が顕微鏡で組織標本を調べると、それらは美しい細胞の層になっていて、しこりまたは細胞の固まりではありません。細胞は共に働きあるものは上層部を形成し、あるものは底層部を形成します。良性腫瘍細胞の初期ステージでは、層ではなくしこりがあります。細胞は共に調和を持って働こうとせずに、上層部あるいは底層部になろうとして争います。ですから、しこりが形成されるのです。それは混沌としています。時間が経過するにつれ、それらはいっそう利己的になっていきます。利己的になるのはよいことでしょうか。いいえ、利己的になるというのは破滅です。利己的であるとだんだんに皆さんを殺していきます。ガンが人を殺すと、すべての細胞と一緒に死にます。

自分を利するにはどっちのやり方が最善でしょうか。無我であることが自分を利するのには最善なのです。この点がおわかりでしょうか。正常な細胞は実のところ最も自分を利する細胞なのです。私は神を知る前は非常に利己的でした。利己的であるのは間違

ったことだとわかりましたが、今はクリスマスチャンで、ほんとうに自分を利するにはどうしたらよいかを知っています。皆さんにもほんとうの意味で自分を利するようになってもらいたいと思います。

なぜ神は今日でもなお、この惨めな世界で人類を創造し続けておられるのかご存知ですか。コソボだけではなく、この世界はいつでも悲惨です。どうして神はコソボやアフリカで新しく赤ん坊を創造し続けておられるのでしょうか。皆さんは答をお持ちですか。なぜ神はあなたを創造されたのでしょうか。離婚を経験し、苦痛を知っており、多くの方々は惨めな人生を送っておられます。ほんとうに幸福ではありません。この不幸をあなたがたが経験することを神は望まれたのでしょうか。それが、神が皆さんを創造された理由でしょうか。聖書から、なぜ神は皆さんを創造されたのか答えて下さいませんか。[聴衆：神の栄光のために!]神の栄光のためとはどういう意味ですか。[聴衆：神の真のご品性を示すこと]。では神は、あなたがどんな経験をしようとかまわさない、ただあなたが神の真のご品性を表すことだけを望んでおられるのですか。[聴衆：神の喜びのために!]私はその答が気に入っています。どなたか彼女の答に賛成なさいますか。それこそ聖書が言っていることです。神は人類をご自分のために創造

されたのです。イザヤ43章でそう言っています。

またコロサイ人への手紙1:16にはこう書いてあります。「物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあって造られたからである。これらいっさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである」。このことをご存知でしたか。万物は御子によって御子のために造られた、ですから神は御子イエスを犠牲にしなければならなかったのです。それが彼のためだったのです。私たちは御子のために造られました。ですから神の喜びのために私たちが失いたくないのです。もし神が私たちが失えば、ご自分を失うのです。何が御子の喜びでしょうか。何が神の喜びなのでしょう。神は愛です。もし神が愛なら、神の喜びは愛することであるはず。特に神の喜びは愛なので、愛する誰かが必要です。ですから、神は与える喜びを得るために誰かを創造する必要があるのです。もし私たちが失えば、ご自分の喜びを失ってしまいます。ですから神は私たちが取り戻すために命を懸け、ご自分の一人子を犠牲になさいました。あなたがどれほど良い者であるかによってではなく、ご自分の喜びを失うことのないように命を懸けておられるのです。そう言うわけで神は創



造すればするだけ、もっと愛を与えることができるので、神にとって楽しみが増すのです。私たちが問題に巻き込まればそれだけ、罪が増し加わります。そうすれば恵みがなお増し加わるので(ローマ 5:20)、神にとってはよいのです。

ですから、この世が悲惨であっても、神は私たちを創造し続け、より豊かな恵みを与えることができます。これが多くの疑問を解決します。これを心に銘記していますか。これが信仰による義の土台です。神はご自分のために私たちをお救いになります。皆さんが誰であっても、どんな人であっても、どんな人になっていようと、神は私たちをご自分の喜びのために創造されました。これが私たちの信仰の基礎です。そうでなければ、私たちの信仰の基礎は私たちの姿勢、私たち自身の資質になります。神は愛です。ですから神は私たちを創造されました。神はご自分が創造な

さったものを失いたくはないのです。神はこの地上のすべての人を、ひとりひとりをご自身の喜びのために創造なさいました。これはいい土台ではないでしょうか。他に何かあるでしょう。他に私たちが創造された理由があるでしょうか。それだけが理由なのです。神は愛です。もし神が愛であって、「私は何も創造したくはない」と言ったとしたら、理屈が通るでしょうか。いいえ、そうではありません。神は、愛であるなら創造しなければなりません。愛は与えるものであるはずだからです。もし愛が与えないなら、それは愛と呼ばれるに値しません。ですから私は、「もし愛は表現されなければ、皆さんがどれほど心に愛を持っていても、それは愛と呼ばれるには値しません」と言います。もし夫が、「私の心にはおまえへの愛でいっぱいだ」と言っておきながら、それを表現しなければ、愛と呼ぶに値するでしょうか。ほとんどのご婦人は私に同意なさることがわかっていますが、男性たちは同意するにはかなりたいへんです。私もそうでした。妻はいつも彼女への愛を私が表現することに餓え渴いていました。

仲 間内の圧力は活性酸素を発生させます。韓国人は皆、醤油からアフラトキシンをとっていますが、活性酸素を発生させる人たちだけがガンになります。もし活性酸素の問題を解決

することができれば、多くの種類のガンになるのを恐れる必要はありません。私は皆さんが何でも食べることができると言っているわけではありませんが、一般的に言って、もし活性酸素の問題を解決できれば、ガンにはならないということなのです。また、もし皆さんが活性酸素の問題を解決するなら、かなり早くガンを治すことができます。後ほどこの話題に戻しましょう。

正常な細胞はいつも無我で、他のために働いています。人の生活スタイルの中でどんなものが正常な細胞にとってのストレスとなり得るでしょうか。正常な細胞は無我でありたいと思います。ガン細胞は利己的でありたいと思います。どんな種類の思考様式が正常な細胞をガン細胞にさせるのでしょうか。利己主義—もし皆さんがほんとうに極端に利己的であれば、細胞に利己的になるように強いているのです。他にもあります。正常な細胞はバランスのとれた栄養が好きです。正常な細胞を実験室で培養するとき、科学者たちはよくバランスのとれた栄養を与えるようにたいへん気を使います。良性腫瘍細胞の初期のステージでは、腫瘍細胞は栄養のバランスがとれていてもいなくてもかまわず、コレステロールを好みます。コレステロールは細胞が速く増殖するのに必要です。コレステロールは動物性製品

の中だけに見つかります。植物食にはいわゆるコレステロールはありません。ガン細胞は植物食を嫌います。コレステロールが全然入ってこないからです。転移性のガンを持っている人はコレステロールレベルが低いのですが、それはガンがコレステロールを好んで食べるからです。高コレステロール、高脂肪、肉の多い食事はガン細胞にはとてもいいのです。ですから、ある医者たちは放射線治療に入る前に肉をたくさん食べるよう患者に勧めるのです。もし皆さんが肉をたくさん食べると、ガン細胞にとっては宴会です。それらは増殖に増殖を続けます。ガン細胞は活発化し増殖し始めるとき最も無防備なので、放射線で打つのは好機なのです。

もし皆さんが非常にストレスに満ちた生活スタイルをしているか、食事がバランスに欠けていて、働き過ぎだとすると、活性酸素をたくさん発生しています。そこにアフラトキシン、またはタバコの煙、その他、何であれ発ガン物質を受け取ると、常に良性腫瘍が形成され、悪性腫瘍細胞になっていきます。ここにガン細胞の舞台を設定したわけです。

良性ステージの後期、すなわち細胞が悪性になる前のステージで、意味深長な変化が起こります。ガ



ン細胞はすべて利己的になり、どんな類の食べ物が入ってこようと構いなしになります。特にコレステロールでも、脂肪でも、彼らにとっては同じになります。そして、後期の良性ステージと悪性腫瘍細胞とでは違いがあります。正常な細胞から良性細胞後期のステージまでは、細胞は全部休むことができますが、いったん細胞が悪性になると、休むことができなくなります。科学者たちは細胞を休ませる非常に重要な遺伝子を見つけました。良性腫瘍の後期ステージと悪性細胞の間で、この遺伝子が致命的な傷を受け、不活性になるか、消滅してしまいます。その遺伝子はp-53遺伝子と呼ばれています。私はこれを「休息遺伝子」と呼んでいます。もしこの遺伝子がうまく働いていると、これらの細胞が全部良性腫瘍細胞になっても、まだ休むことができます。悪性腫瘍細胞は、細胞を休ませる遺伝子が消滅してしまっているので、休むことができません。この遺伝子

は細胞を休ませる非常に興味深い物質を生じさせます。医者が良性の腫瘍細胞を見つけたときに、心配しなくていいと言いますが、悪性腫瘍細胞を見つけると、大問題だと言います。なぜ医者は良性腫瘍細胞については心配するなど言うのでしょうか。良性腫瘍細胞は正常細胞に戻りやすいのです。いったん細胞が悪性ガン細胞になると、休むことができず正常に戻るのはいへん難しいのです。これが悪性と良性腫瘍細胞の主な違いです。

良性細胞は正常に戻る事ができるという現象はよく知られています。良性腫瘍細胞が正常に戻る事ができるというのはどういうことなのでしょう。傷ついた遺伝子が正常に戻るという意味です。良性腫瘍と悪性腫瘍細胞との間には遺伝子の損傷という点では何か違いがあるのでしょうか。何の違いもありません。ただひとつの違いはp-53遺伝子が傷ついたので悪性腫瘍は休めず、良性腫瘍細胞は休めることです。それだけが違いです。ですから、もし良性腫瘍細胞が正常細胞に戻る事ができれば、悪性細胞は正常に戻る事ができるのでしょうか。もちろんできます。悪性のガンや良性腫瘍は両方とも遺伝子が傷ついています。違いは遺伝子損傷の程度です。悪性ガンは、p-53遺伝子への損傷を含め、遺伝子の損傷の程度が高

いのです。ですから、遺伝子がどんな損傷を受けても、修復できるし、正常に戻れるのです。おわかりになったでしょうか。すべてのガンは、どれほど悪性であっても、理論的に言えば、正常に戻れるのです。

どうして医者らは良性腫瘍細胞については心配ないと言い、悪性腫瘍細胞については心配だと言うのでしょうか。それは悪性細胞が正常に戻るのには非常に困難なのが明らかですが、でも不可能ではありません。

転移性のガンでは、非転移性の遺伝子が消滅してしまっているのです。悪性ガンは転移性のガンになるのです。悪性のガンは正常に戻れるでしょうか。それは可能ですか。もちろん可能です。どんなに遺伝子が傷ついていても、あらゆる遺伝子の損傷は修復できます。パプ塗抹標本（剥離細胞染色による子宮ガン早期発見検査法の標本）は、エストロゲンの刺激次第で正常から異常へと行ったり来たりできます。どうしてエストロゲンを摂ることがガンの成長に関与するのでしょうか。

数年前のリンゴ騒動を覚えていますか。ワシントン中のリンゴを葉腋のせいで捨てなければなりませんでした。葉腋とは何でしょうか。またな

ぜそれが問題になったのでしょうか。葉腋は成長促進ホルモンです。葉腋は殺虫剤として使われましたが、それは実際には虫の成長を刺激するホルモンです。葉腋を虫を早く成長させて早く死なせてしまうために使用したのです。子供が葉腋をかけたリンゴを食べると、彼らの細胞が成長刺激を受け過ぎて活性酸素を発生し、ガンができます。ですから、どんなホルモンであっても、もし必要以上にあり過ぎると、細胞にとってストレスとなることがあります。それが活性酸素の発生を引き起こします。細胞は速く増殖し過ぎて間違いを起こし、遺伝子が異常な遺伝子になり、それがガン細胞になります。ですから女性が性ホルモンである避妊用のピルを使うと妊娠はコントロールできますが、ピルは、乳房の細胞、卵巣の細胞など女性の生殖器の細胞をすべて刺激し過ぎます。それで、エストロゲンあるいは避妊用のピルなどの性ホルモンを使うことは、刺激のし過ぎによるガンをつくる危険があるのです。

毛髪のパターンは面白いです。男性はテストステロンをたくさん生じると、それが毛髪の小胞を刺激し過ぎて殺してしまいます。十分なテストステロンを作り出さない男性は毛髪をなくすこともあります。少なすぎるホルモンも細胞を殺し、多すぎるホルモンも細胞を殺すのです。中庸が必要です。私

は、30年以上も頭がはげていた人で、ニュースタートプログラムをして頭髮が生え始めた人を数人見てきました。ホルモンレベルが一定になり細胞が楽になり、毛髪をつくることができるのです。刺激のしすぎは常にガンになる危険があります。刺激を受け過ぎた細胞は死ぬか、異常な状況に自らを適応させて異常な細胞になるのです。

この原則に従い、私たちの体内のどんな傷ついた遺伝子でも修復できます。ですから良性腫瘍細胞は正常な細胞に戻るのにたいへんなことはないのです。ここにおられるある人が私に、良性腫瘍の細胞すべて除去すべきかどうか尋ねました。どうして医者は良性腫瘍細胞の切除を勧めるのでしょうか。良性腫瘍細胞は悪性細胞になる可能性があるので、彼らは切除を勧めるのです。それはほんとうの原則ではありません。良性腫瘍が後期のステージにあるとしましょう、悪性になる直前のステージです。医者はその切除を選択しました。もし患者が、後期の良性腫瘍のステージという時点に到るまでどんな間違いをしてきたかを告げられなければ、彼らは以前と同じことを続けるでしょう。もし患者にそれを告げなければ、医者ができるのはその腫瘍を切除することだけです。患者の正常な細胞は容易に良性腫瘍に変わり、悪性腫瘍になる可能性

もかなりあります。もし患者が長い間、良性腫瘍をつくるような間違った生活スタイルで暮らしてきたら、正常な細胞がガン細胞に変わる過程は急速に起こり得るし、遅かれ早かれ、医者は悪性だと診断を下すことでしょう。ですから良性腫瘍あるいはガンを引き起こした原因が何であるかを知らないことは非常に残念なことです。皆さんの体内にどんな種類であれ腫瘍ができれば常に、生活スタイルを変えたかどうかにか気をつけるのがいいのです。

さて皆さんは正常な細胞がなぜ遺伝子障害を受けるのかおわかりになりました。ですから私はこんなに時間をかけて基本をお話したのです。もし皆さんがハンバーガー、高温で調理した動物性または植物性の油脂などからなる食事をしていたら、それは活性酸素の形成を促し、遺伝子の障害を起こさせているのです。最も多くの抗酸化物質を含んでいるということでどんな食物が最良でしょうか。抗酸化物質は何も特別なものではありません。最良の抗酸化物質はビタミンCです。ところでビタミンCを買いに健康食品店に走り込んだりしないで下さい。次に重要なのは黄色野菜に含まれるベータカロチンです。次はビタミンEです。これを覚えておく必要などありません、要は健康的な食事をすれば同時にこれら3つの抗酸化物質

をとることになるのです。ビタミンCは果物や野菜、ジャガイモやコーンなど皆さんが名を上げることのできるものすべてに、豊富に含まれています。葉菜、果物、コーン、カボチャ、これには皆ビタミンCがあります。少しでも黄色みのあるもの、カボチャ、サツマイモ、人参、コーン、キャンタローブなど、には全部ベータカロチンがあります。心配することは何もないのです。ビタミンEは何からとれるでしょうか。これは全麦、玄米などの

全穀粒の胚芽からとれます。どんな穀物にも胚芽があり、胚芽にはビタミンEが豊富です。もし皆さんが全粒粉のパン、玄米、新鮮な野菜、あらゆる種類の果物などを食べておられるなら、何か気を付

けなければならぬことがあるでしょうか。いいえ。抗酸化物質はそのようにとても大切な物質なので、神はそれらを大量にたくさんの食べ物の中に入れておられます。こういうものを買いに健康食品店に行く必要などありません。買うことなどは忘れて健康的な食べ方をしましょう。健康的な食事をしている限り、抗酸化物質のことなど全部忘れてもかまいません。健康的な菜食をすれば一番大事な抗酸化物質を全部得るでしょう。



乳房、子宮、卵巣に良性腫瘍ができてきやすいのは、ストレス、運動不足、脂肪分の多すぎる食事などです。もし家庭でライフスタイルを変えれば、遺伝子はずっと休むことができます。あちこちで生じて、酸化物質の入った食物が遺伝子を守ります。良性腫瘍細胞はまだ休むことができます。障害を受けた遺伝子は細胞が休んでいる間に修復されるので、休むことは決定的に重要です。良性腫瘍細胞はまだp-53遺

伝子があるので休むことができます。ですからそれらが休んでいるときに、そして皆さんが良い食事をし、コーラではなく水を飲んでいれば、遺伝子にとってより良い環境をつくるのを助けているのです。カフェインでしょっちゅう刺激

していることは反休息です。もし疲れたら、休むことが明らかに必要です。もし眠かったら、それは休むことが明らかに必要なのです。休息遺伝子は、体が眠るように言っているのに起きていると、蹴り出されてしまうこととなります。神は、休息遺伝子に細胞を休ませるようにとの信号を送っておられますが、もし皆さんが無理に目を覚ましていて、体を酷使うこととなります。ですからp-53遺伝子の存在を意味のないものにするので

す。P-53遺伝子は、存在の意味を見いださないと消滅してしまいます。良性腫瘍細胞の後期のステージは休むことのできない悪性ガン細胞になります。

悪性ガン細胞になると、それは正常な細胞とはとてつもなくかけ離れてしまっているのです、たいへんな問題に陥ります。良性腫瘍はまだp-53遺伝子があるので、正常に戻りやすいのですが、悪性細胞は休めません。ですから修復ができません。修復には休むことが必要です。悪性ガン細胞はどうやって正常に戻ることができるのでしょうか。多くの科学者たちは、悪性ガンは決して正常には戻れない、良性のガン細胞だけが正常に戻れると信じています。

ガン患者を非常に丁寧に調べた医者は、ガン細胞は正常な細胞よりも強いようだ と断定しました。というのは、ガン細胞は全身に素早く広がることができ、患者を殺すからです。科学者たちは、ガン細胞は正常な細胞よりも支配的であると考えています。ガン細胞がどれほど素早く正常な細胞に影響を与え、正常な細胞を圧倒し、正常細胞をガン細胞に変えてしまうのかを観察するためにたいへん面白い実験をすることにしました。科学者たちはガン細胞と正常細胞を試験管に入れ、ガン細胞が如何に素早く正常細胞を圧倒するかを

観察しようとしてしました。彼らは正常な細胞はみんなガン細胞になると予期していました。一週間後彼らは試験管を取り出して調べました。彼らが何を見つけたと思いますか。ガン細胞は全部正常になっていたのです。驚きでした。彼らは何が起こったのかわかりませんでした。これはとても興味深いことです。皆さんがこれをほんとうに理解すれば、もしガンであっても非常に確実な直る望みが持てるでしょう。科学者たちは正常細胞がガン細胞に影響を与える何らかの物質を出すに違いないと結論しました。

今度は別の試験管にガン細胞だけをを入れて、正常細胞を別の試験管に入れて培養しました。彼らは正常細胞が出した物質を別の試験管に移し、それから正常細胞をガン細胞と一緒に入れました。何が起きたと思いますか。何も起きませんでした。面白いではありませんか。正常細胞だけではガン細胞を変えるものを何も出すことはないのですが、悪性細胞と接触しているときに正常細胞が出した物質のあるものをガン細胞の入っている試験管に入れると何が起きたと思いますか。すると全部正常細胞になったのです。正常細胞だけではガン細胞を変える力は持たないのです。霊的にこれはどんな意味があるかご存知ですか。私はこれには霊的に良い意味があると思うのです。皆さ



んは何らかのトラブルのある生活をする必要があります。そうすれば悪いことを正常に変える力を持ちます。もしいつも「正常」であると力がありません。ですから、サタンがトラブルを引き起こしたら、それはあなたを強くするのでから喜びなさい。悪いことが何も起こらなかったときよりも、ずいぶん強くなるでしょう。そういう種類の苦しみはためになります。もし今ガンであれば、あるいはまた何らかの病気であれば、それは皆さんが以前にはわからなかったことを何か学ぶときです。これはほんとうに興味深い霊的教訓です。

科 学者たちはこの物質（ガン細胞と接触していたときに正常細胞が出したもの）がどこで造られたのかを知ろうと思いました。正常細胞だけでは、この物質を出しませんでした。科学者たちはこの物質を出させた遺伝子はp-53遺伝子であったことを見つけました。こうしてp-53遺伝子が見つかったのです。正常な細胞にはp-53遺伝子がありますが、必要ではないので特別な

物質は出しません。なぜこの特別な物質を出さなければならなくなるのでしょうか。遺伝子は意味に反応します。意味がなければなりません。意味があれば活性化します。正常な細胞だけの試験管でのP-53遺伝子は、この特別な物質を出すために起きる必要がないので眠っています。しかし正常な細胞がガン細胞の隣にきて、それが非常に忙しくて、疲れ、しょっちゅう働いているのに気がつくと、正常細胞はガン細胞に与えるために休息物質を出すようにとの神からの信号を受けます。するとやっとガン細胞は休むことができ、その遺伝子は神からの信号を受けて修復されます。主を賛美しましょう。これは実験室で常に起こります。悪性のガン細胞が正常細胞と混ざると、正常細胞が「休息」物質を出すようにとの信号を神から受け、そのいくらかをガン細胞に分けるので、ガン細胞は正常に戻ります。ガン細胞がこの休息物質を正常細胞から受け取ると、ついに神が愛の信号を送るときに休むことができ、修復されて正常に戻ることができます。

こ れは実験室で常に起こります。が、患者の体ではなぜいつも起こらないのでしょうか。試験管内の細胞は、電話で呼び出されることもなく、タバコの煙を吸うこともないからです。お酒も飲まないし、カフェイン飲料も飲みません。何にも悪いことをしません。

正常細胞とガン細胞との間の決定的な違いは休息要因であることを皆さんは学びました。私は繰り返し私たちの遺伝子は意味に反応するのだと話してきました。カフェインだけでは化学的に害を与えることはそれほどありません。もし皆さんがほんとうに眠いのにはコーヒーを飲めば、目が覚めて残りの仕事を終えることができるでしょう。しかしカフェインの意味が問題なのです。カフェインの意味は何でしょうか。休みは要らない。カフェインの意味は「ガンの持つ意味」です。このことにはほんとうに多くの意味があると思います。カフェインは発ガン性の化学物質としては、ガンとは直接それほどの関係がありません。問題は意味です。

意味は非常に力があります。私は講義をする度に、意味というのが遺伝子に対して如何に重要であるかを皆さんに思い出してもらうために、意味に関していくらかの時間をかけます。別の写真をお見せしましょう。水はたいへん興味深いものです。水は大した化学的な力を持っていません。ただのH₂Oです。H₂Oは化学的に言えば大したことはしません、シャワ



ーを浴びたりすると生化学的に何が起こりますか。体内に多くのことが起こります。血圧がゆっくりと下降し、脈拍数がゆっくりと下がり、アドレナリンとコーチゾンの生成がゆっくりと下降します。そういうわけで、すごくリラックスを感じるのです。水は体内に入っていくのですか。いいえ。水の中にいるというだけのことが、体内に劇的な変化を起こすのです。

水はとても慰めになるので、水のある風景のある家を買うためにお金を多く払ってもいいと人は思います。なぜ慰めになるのでしょうか。なぜ安らぐのでしょうか。水には安らぎ、平安な意味があります。皆さんの遺伝子は水に反応するわけではありません。水がもたらす意味に反応するのです。水はどんな意味をもたらすのでしょうか。皆さんは母親の胎内で9ヶ月を水の中で過ごしました。水は皆さんにとって愛を意味します。水は命を意味します。私たちの体がどれほど水の持つ意味に反応するかおわかりですか。ただ滝を見るだけで、とてもリラックスします。見るだけで、または水の音を聞くだけで、とても慰められ落ち着くという効果を引き起こすのであれば、飲んだらどれほど重要な効果をもたら

すと思いますか。水を飲むことはたいへん重要です。

私は、少なくとも何人かの方は他に何も変えなくても、これからはたくさんの水を飲むようにしてほしいと思います。「ドクター・リーの講義はとても面白かった。いい講義だった」と言ってほしいと私は思っています。たいてい人々はとてもよかったと言います。けれども何も変えません。もし私が皆さんにひとつだけをお願いできるなら、水をもっと飲んで下さいと言うでしょう。もちろん、水は薬草ではありません。ただの物ですが、重要な意味をもたらします。水とコーヒーの違い。それは「休む」と「休まない」の違いです。これはたいへんな対照です。もし水とコーヒーを化学的な言い方で比較すると、それほどの違いはありません。しかしどうか水を飲んで下さい。朝起きたときに、先ず水を飲んで、それから祈って下さい。祈ってから今度は霊的な水を飲んで下さい。コップ2杯の水を飲んで霊的な水を飲む備えをして下さい。この集会から学んだことがこれだけであっても、あなたの遺伝子には価値があったことになるでしょう。

もし皆さんが「ドクター・リーはすてきな人だ。彼のテープを買った、でも彼が勧めたことは何もしない」と言うのであれば、どれほど私を誉めて

くれても、講義のテープをどれほど買ってくれても、少なくとも水をたくさん飲み始めなければ何にもなりません。毎日食間にコップに6杯以上の水を飲んで下さい。朝食と昼食の間に2杯、昼食と夕食の間に2杯、夕食の後に2杯飲んで下さい。8杯飲むよう心がけて下さい。でも6杯でも少ししか飲まないよりはずっとましです。そうすれば皆さんの体はよく休みを得ることになります。皆さんの体は少なくとも一日6回シャワーを浴びているような感じを遺伝子に与えることでしょう。すると遺伝子は喜びます。そして休みます。これがほんとうに大きな違いをつくるのです。

なぜサタンはカフェインをあらゆる所にまき散らすのでしょうか。カフェイン自体はそれほど害を与えません、ただ人を覚めた状態にさせるだけです。そこで私は気がつきました。意味の違いが化学的な違いよりもずっと大きいのです。要点がつかめましたか。これはとても大切な点です。

休むことはとても大切です。ですから夜勤の看護婦はガンになりやすいのです。細胞はすべて日没後には休みたがります。細胞はほんとうに休みたいと思っているのに、体が無理に働かせようとすると、休息遺伝子のP-53は、自分たちが何のためにあるのかわか

らなくなります。もし誰かが一晩中働いていて眠くなるとします、それからカフェイン飲料を飲むと、化学的メッセージがきて休むなと言います。

細胞が実験室の試験管の中にあつてバランスのとれた栄養、新鮮な空気、水(コーラなどではなく、嫌な電話の呼び出しもなく)を得ていると、平安があります。神にとって遺伝子を修復するのはとても簡単です。実験室にいるのと、ライフスタイルプログラムをするのとどちらがいいですか。ライフスタイルプログラムをする方がいいのです。そうすれば皆さんは実験室で得られるよりももっと多くのことを得ます。神の言葉、意味と、講義を得ます。このようにすばらしい講義を、です。多くの意味を受け取り、「そうです、主を賛美せよ」と言うことでしょう。するといやしはさらにすみやかにやって来ます。

もし皆さんがライフスタイルにおいてほんの少し良いことをすると、免疫システムはほんの少し強くなります。もっと多くの意味、よりよい栄養を受け取ると、T細胞はガン細胞を探し出して眠らせます。この眠りは、皆さんのライフスタイルを少し改善することで得られます。何もかも一度にしたり、何もしないというようなことではなく、自分の環境を改善するためにできるだけ

ことをして下さい。ほんの少しライフスタイルを向上させるだけでも、免疫システムはほんの少し強くなり、ガン細胞は隠れます。科学者はこの隠れた状態をガンの休眠と呼びます。ガンの休眠は、変化することなく、またあなたを殺すこともなく、10年、15年、20年続きます。

多くの人々が、自分の家庭状況はひどくてライフスタイルプログラムをすることができないと言いますが、状況がどんなに悪くても、できるだけのことをして下さい。皆さんのT細胞をほんとうに強くしてガンを休眠させるようにさせましょう。そうすればガンを持ちながらも問題なく10年、15年生きることができます。T細胞が強くなると、そして神の言葉の意味、神があなたを愛しているという事実がわかると、あなたの正常細胞はガン細胞に休息物質(例のp-53)をもっともっと与え始めるようになります。ガン細胞は正常細胞になります。このようにして神はガンをいやされるのです。アーメン!

PART 3

—免疫システムをいかに向上させるか—

免疫システムはきわめて重要です。今の時代、免疫システムが危機にあります。赤ん坊は種痘を受ける必要があります、10歳か12歳くらいに成長してからまた受けます。再種痘しなければなりません。免疫システムは種痘を記憶します。今日、免疫システムはあまりよく種痘を記憶できません。私は病気の予防接種をしました。しかしそれに対し免疫がずっとあります。しかし今日多くの人々に、そういう効き目がありません。人々は再び予防接種を受けなければなりません。免疫システムはあまりうまく働いていないのです。また、ガンがととも増えています。遺伝子が悪くなっているので、特定の細胞がガンになります。免疫システムが十分に強く、ガン細胞になる異常な細胞を認知できれば、免疫システムはそれを攻撃して殺せます。しかし今日、免疫システムはあまりうまく機能していません。



アレルギーの問題が頻繁に持ち上がっています。多くの人々が喘息や様々な種類のアレルギーで苦しんでいます。彼らの免疫システムがうまく機能していないからです。免疫システムが十分強ければ、アレルギーの問題はありません。しかし、今は私がかつてそうだった喘息のようなアレルギー問題があります。私は喘息の専門医でした。以前のことで、30歳までは、何ともなかったのですが、喘息で苦しみました。27歳の時にアメリカに来て、どういうわけか私の免疫システムはずっと弱くなりました。免疫システムが弱まると、私の身体は環境にとっても敏感になりました。免疫システムが強ければ、どんな環境にあっても問題はありません。何か悪いものが体内に入っても、身体は心配しません。それが入ってきたら処理できます。ところが免疫システムが弱いと、身体はそれを処理できないので、くしゃみが出たり、涙目になったり、鼻水がたれたり、咳き込んだりします。何もかもが戸を閉めて、環境の中の悪いものが体内に入ることができないようにと一生懸命になります。それは、免疫システムが弱いときの身体の防衛メカニズムです。最後には、息をすると



きに、気管支が閉じてしまいます。気管支が広がっていれば、呼吸するのに問題はありません。空気の出入りはとても簡単にできます。ところが喘息になると、免疫システムがあまりにも弱いので、身体はその人を守ろうとします。気管支は閉じて狭くなり、呼吸がとても困難になります。それでゼイゼイという音が出ます。私はその音をうまく出せます。経験があり、そういう音を出していたからです。

最 近では、自己免疫と呼ばれる免疫問題の分野があります。自己免疫疾患は、免疫システムがその本人を攻撃するのです。皆さん自身の器官組織が皆さんを攻撃します。関節を免疫システムが攻撃すると、関節リウマチと呼ばれます。これはよくある病気です。多くの人々がアリゾナに来たがります。気候のせいなのかどうかほんとうには知りませんが、とにかく彼らは晴れた日の多い州に来てよくなったと感じます。それはほんとうに太陽のせいなのでしょう。私にはわかりません。これからそれをはっきりさせましょう。免疫システムが甲状腺

を攻撃すると、甲状腺炎と呼ばれます。これもよくあり、特に女性によくあることです。後でなぜだかおわかりになるでしょう。目を攻撃すると、眼神経と眼筋が悪くなります。子供では、免疫システムが膵臓、特にインシュリンを生成する細胞を攻撃し始めると、6、7歳であっても糖尿病になります。そういう種類の糖尿病は若年性糖尿病と呼ばれます。これは自己免疫疾患です。

自 己免疫疾患は非常にありふれたものになってきました。一時は原因がわからなかったのですが、今では、自己免疫疾患だとわかっているパーキンソン氏病など多くの病気が他にも、もっとあります。神経伝達物質、或いは神経ホルモンと呼ばれる多くの様々な脳の化学物質があることがわかってきました。その一つがドーパです。ドーパは動きを調和させるのに大変必要なものです。ダンサーやバレリーナは身体の動きを調和させるのに、脳に豊富なドーパがあるに違いありません。ドーパが生成されないと、動きはとても不安定になります。文字を書くことはかなりの集中を要求し、筋肉の調和が必要です。ドーパを生成しないと、指が硬直することがあり、震えます。多発性硬化症、MS、これは免疫システムが神経組織を攻撃したときに起こります。全身性エリトマトーゼスは免疫システムが血管を攻撃したと

きです。脳の血管が攻撃されると、それは別の形の狼蒼です。免疫システムが肝臓の血管を攻撃すると、狼蒼腎炎になります。

今日、どうしてなのか、免疫システムは少しおかしくなっています。自分が何をしているかわからないのです。弱くなってきていて、皆さんを守ることができません。免疫システムは攻撃的な活動をしますが、まだガン細胞、或いは肝炎又はエイズを攻撃するほどではありません。外から来た有機体を攻撃せずに自分の身体の組織を攻撃して、ある種の自己免疫疾患の原因となっています。ある人々は特定の部位の毛髪が抜けます。例えば、コインサイズの毛髪が抜けると、円形脱毛症と言います。科学者は、それもまた免疫システムが特定の部位の自分の毛髪細胞を攻撃して脱毛させていることを見つけました。

多くの種類の自己免疫疾患があります。最近、科学者は、ある種の緑内障は実際は自己免疫疾患の一つだということを見つけました。乾癬のような多くの皮膚疾患は実際には自己免疫疾患です。自分の免疫システムが弱いせいで、多くの問題を私たちは持っています。同時に、私たちの免疫システムは間違ったやり方でプログラムされています。敵を攻撃する代わりに、私たちを

攻撃します。それを自己免疫疾患と呼びます。

アンチローシス脊髄炎は、脊髄に並ぶ関節、特に首と背中に沿った関節、その部分の炎症で、関節炎の一種です。多くの若い人たちがこの種の病気になっています。たくさんの種類の自己免疫疾患があり、体内のどこでも起こり得ます。腎臓にも、肝臓にも、心臓にも、肺にも、その他どこにでも起こり得るのです。

健康を維持するために、誰もが自分たちの免疫システムに注意をはらう時です。免疫システムは完全に独立したシステムではありません。体の健康に関する他の分野すべてに依存しています。健康を向上させる上で最大の問題は、「アメリカ人のメンタリティ(考え方)」或いは還元主義のメンタリティと呼ばれるものです。医学はこの種のメンタリティを伝えました。今の人々は、自分たちの身体を、相互関係を考えずに区分します。免疫システムを他のシステムから分離します。他のシステムとは別のものだと考え、独立したシステムだとします。ところがそうではないのです。

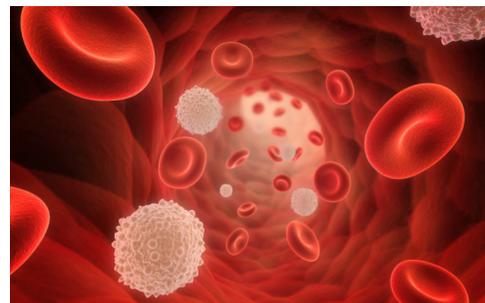
多くの人たちが私に、免疫システムにいいことは何ですか、と尋ねます。大変知的な質問に聞こえます

が、実はとても愚かな質問です。誰もがそういう質問をします。健康産業は健康を商品化し、そういう愚かしいメンタリティを容認しています。ですから彼らはハーブを箱詰めにし、これは免疫システムに良いと言うのです。そんなものではありません。免疫システムの全体像を理解し始めれば、そんなことは何も言えないことがわかるでしょう。人々があるハーブが良いですよという時、これは還元主義のメンタリティだということを認めなければいけません。全体を見る方法で先を見るべきです。

健康の全体像を見るには、遺伝子の性質をよく理解する必要があります。昨日、遺伝子について学びました。私たちの遺伝子は愛に反応します。遺伝子は外から来るエネルギーを受けねばなりません。残念ながら、電気はそんなに賢い方法ではありません。電気は遺伝子をどのくらい刺激すればいいかわからないので、たいていの場合遺伝子を破壊します。でもどういうわけか、電気は遺伝子をいくらかは活性化させます。最も賢いエネルギーは愛と呼ばれるものです。愛自体非常に知性あるものです。神が愛のエネルギーをお送りになるからです。愛は、日光のように無言ではありません。カーテンを開けると、日光はあなたに何も尋ねることなくただ入ってきます。とても不作法です。ところが愛

は皆さんに尋ねます。皆さんの許可を求めます。愛は不作法ではありません。愛はとてもやさしいのです。愛は皆さんの許可を求めます。それは、神は、皆さんの許可なく中に入ってきて、「仕事をする」ことはなさらないからです。それが愛の性質です。愛は強制しません。私たちの遺伝子はそういう風に造られています。

免疫システムを理解するには、遺伝子の性質を理解しなければなりません。免疫システムは私たちの白血球から来ているからです。血液をいくらか採取して顕微鏡で調べると、多くの赤血球といくらかの白血球が見えます。白血球には幾種類かあります。一番重要な白血球はT細胞です。赤血球や血小板を含む血液細胞は全部、骨髄で造られます。今日、私たちは幹細胞移植、骨髄移植その他で幹細胞について聞いています。骨髄は、実際は幹細胞を生成します。そしてそれらが赤血球、或いは血小板、またはT細胞やB細胞、様々な種類の白血球になります。約八種類の白血球があります。



さて、面白いのは、皆さん自身の健康を維持するには、血液細胞の正確な割合、特に白血球の割合を維持しなければならないということです。身体はある種の白血球を35-40%、あるものを30%、あるものを0-1%、あるものを1-5%維持しなければなりません。もしあるものが正常とは違ったレベルになると問題です。けれども皆さんがその割合をコントロールしているのですか。皆さんはどのような割合であるべきかささぐ存じありませんが、適正にコントロールされているのです。骨髄はただ幹細胞を造っているだけです。科学者はこれらの幹細胞の中に8つの異なった種類の遺伝子があることを見つけました。8種類の血液細胞があります。赤血球遺伝子、T細胞遺伝子、B細胞遺伝子、血小板遺伝子、中好球遺伝子、その他があります。誰かが皆さんの必要に応じて、幹細胞の中の特定の遺伝子を目覚めさせています。誰でしょうか。皆さんはご自分の血液細胞の必要をご存じありませんし、私も知りません。もし私が自分の血液細胞の正確な割合を維持しなければならなかったら、頭がおかしくなってしまうことでしょう。「私のT細胞は幾つあるだろうか」と考え続けることでしょう。私たちがそうする必要はないのです。他の誰かが私たちを見守り、血液細胞を数え、それぞれの割合に保っているからです。もしそのかたが私たちに

はもっとT細胞が必要だと見れば、T細胞遺伝子を刺激する信号をお送りになります。そうするとその幹細胞はT細胞になります。すばらしいではありませんか。

これが現実の第一天使の使命です。神は、私たちの血液細胞を正確な割合に保っておられます。第一天使の使命で最も重要なことは「神に栄光を帰せよ!」です。神とは創造者です。神に、創造主に、栄光を帰しなさい。私たちは、神学的には第一天使の使命とは何か知っていますが、現実には学校で幹細胞がT細胞になるのだと教えます。神を全く除外しています。幹細胞に栄光を帰しています。「幹細胞はとても賢いなあ」と言うのです。幹細胞はどのタイプの血液細胞になるのか知ることができるでしょうか。いいえ。幹細胞の中に幾つかの遺伝子があって、それを目覚めさせるには外から来るエネルギーを受けなければならないことがわかっています。幹細胞自体にはこれはできません。

どのように免疫システムを向上させるか学ぶ前に、遺伝子についてなじみになっていただきたいのです。皆さんはとても驚かれ、その後は、第一天使の使命について違った考え方をするようになるでしょう。このとても美しい絵をごらんに入れましょう。今日、だ

れもがクローニングのことで興奮しています。あらゆる製薬会社がクローニングに興奮しています。今では、化学薬品の合成物はうまく働かないことに気がついてきたからです。彼らはほとんどすべての病気が遺伝子の問題から生じる事を見つけました。特定の遺伝子があまりうまく機能していないのです。遺伝子は特定の遺伝子産物を生み出すはずですが、ある人々は特定の遺伝子に問題があり、特定の種類の合成物を生み出しません。製薬会社はある人々に欠けているものを生成するために遺伝子を使いたいと願っています。

例 えば、アメリカは今日大変な肥満国家です。人々は体重が増えるのを心配します。科学者は最近、脂肪細胞の中にレプチン遺伝子と呼ばれる遺伝子を見つけました。「レプト」とは細いという意味です。「イン」はある種の物質という意味です。レプチン遺伝子は、エネルギー源として用いられるように、脂肪細胞から脂肪を血流に送り込ませます。科学者は、肥満の人々のレプチン遺伝子は「オン」になっていないことを見つけました。それらはぐっすり眠り込んでいるので、脂肪を送り出すことを忘れていているのです。脂肪を受け取ることしか知りません。それが問題です。明日は鬱と肥満についてお話しするつもりです。そのときに、これについてもう少し詳

しくお話ししましょう。肥満でさえ遺伝子の問題なのです。皆さんが私をごらんになると、私のレプチン遺伝子はとても活発であることがおわかりでしょう。活発すぎるかも知れません。ある科学者が私のレプチン遺伝子に大変興味を持って、私の脂肪細胞からレプチン遺伝子を取って取り出して、大腸菌の中に入れます。大腸菌はとても速く増殖するので、2、3日で私の一つのレプチン遺伝子は数百万のレプチン遺伝子になり、大腸菌の中でレプチンを生成し始めます。科学者はそのレプチンをとって、純化し、瓶に入れ、肥満の人たちに注射すると彼らの脂肪細胞が大きな刺激を受けて、血流に脂肪を送り出します。これは期待できますか。アメリカ人はできると言いました。それがアメリカ人のメンタリティだからです。それは効き目がありますが、問題の解決にはなりません。それについて明日お話しするつもりです。

医 学界の人々は、遺伝子の内部に探りを入れる事に注意を向けました。今日、人は遺伝子を商品化します。これは深刻な問題です。どうしてこれが深刻なのでしょう。そのうちにおわかりになるでしょう。だれもが遺伝子の複製に関心があります。そうするために、クローニングする必要があります。クローニングでは、そっくり同じ固体が作り出されます。そっくり同じ固体はそっく

り同じ遺伝子を持っています。そこで科学者は、そっくり同じ遺伝子を増殖することができ、同一遺伝子製品を医薬目的に作り出すことができます。人々は、クローニングはよいことだと考え、その結果医薬品を作り出すことができると思っています。それは事実です。

昨日、私は事実対真実についてお話ししました。真実は事実プラス愛です。愛していて、「君は僕の妻だ」という時の事を思い出して下さい。それはうっとりする、一番美しい、意味のある瞬間です。愛がなくて「君は僕の妻だ」と言えば、「それがどうした」ということになります。無意味です、醜くさえあります。真実は愛を含んでいるはずです。

今朝、私たちはマルチン・ウェーバー長老から、「律法」とではなく「イエス」といかに結婚すべきかを説明する説教を聞きました。イエスは聖であり、義であり、あわれみ深くもあります。「律法だけ」では事実ですが、イエスは「律法プラス愛」です。イエスは真実、真理です。ですからイエスは、「わたしは道であり、真理である」と言われたのです。アドベンチストには問題があります。私たちは事実を真実と呼びます。私たちは律法的事実を大変よく知っています。ですから自分たちのことを真理の民と呼びます。でも私たちは、愛とあわれみ

を含めなければなりません。

愛はエネルギーです。そしてこの愛は意味と美を創り出します。遺伝子は意味と美に反応します。すべて美しいものには意味があります。何か意味のあるものは美しいです。何かがいくらかわいくても、無意味であれば、醜いです。私は、この愛、意味、美は三位一体だと言いたいのです。これは三つの異なった事柄ですが、ほんとうは一つであり、一体なのです。愛、意味、そして美が遺伝子を刺激します。

正常な妊娠とクローニングとの違いは、正常な妊娠には遺伝子の混合があることです。母親の遺伝子と父親の遺伝子とが混ざり合います。母親の卵は母親の遺伝子を運び、父親の精子が卵に行きます。精子が父親の遺伝子を卵に注入し、母親の卵は一つの細胞になります。母親の遺伝子と父親の遺伝子が一緒になって一つの細胞になります。

ところがクローニングでは、科学者は混合された遺伝子を欲しません。彼らは一人の人間の遺伝子が欲しいのです。質問しましょう。私は先月で56歳になりました。56年前のある夜、私の許可なく、私は身ごもられました。母の胎内で母の卵と父の精子が会っ

て、私は一つの細胞になりました。私は単細胞として形作られましたが、神の祝福により増殖を始めました。神は祝福であるご自分のエネルギーを、私が増殖するように送って下さいました。サングリーの一つの単細胞は増殖を始めました。神の祝福無しでは、増えるということはありません。わかりやすくしましょう。この単細胞が100万の細胞になりました。それらは全く同じです。9ヶ月の間これが続けば、母は細胞のかたまりを出産することでしょう。これらの細胞がどうやってひとりの人になるのでしょうか。これらの細胞は互いに違ったものになりました。

ある細胞は脳細胞になり、他のものは皮膚細胞になりました。それらはちょうど骨髄の中の幹細胞のように、元は皆全く同じだったのです。

様々な遺伝子を刺激するのは神です。神がT細胞遺伝子、赤血球遺伝子、血小板遺伝子、B細胞遺伝子その他を造るように遺伝子を刺激するのです。幹細胞中の8つの遺伝子は全部眠っています。それらはぐっすり眠っています。神はご自分の信号、光を幹細胞に送って必要な遺伝子を目覚めさせ

ます。そのようにして神は、皆さんがどうやってこうするのか知らなくても、白血球の正確な割合を維持なさるのです。神は一秒一秒、私たちのために働いておられます。それがエレン・ホワイトの言っていることなのです。



自動的に存在するものは何もありません。多くのクリスチャンが自動発生主義を信じています。私もそうでした。皆さんが遺伝子をほんとうに深く研究すれば、神なくしては遺伝子は機能しないことがわかります。後でクローニングの物語を聞けば、ショックを

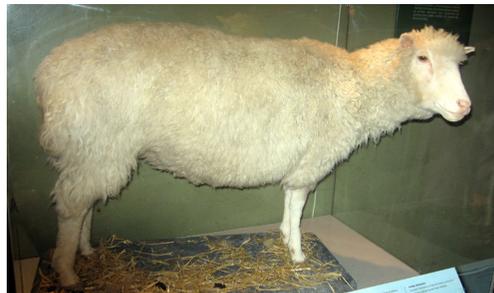
受けることでしょう。

この単細胞が母親の胎内で100万の細胞になるまで、細胞はみんな同じでした。すべての遺伝子(脳細胞、腎細胞、肝細胞、肺細胞、皮膚細胞)が皆ぐっすり眠っていたからです。次の段階で、100万の細胞が200万の細胞になります。どの細胞も分裂するからです。細胞が200万になる瞬間に、細胞は互いに少しばかり違って見えるようになります。ある細胞は脳細胞のように見え始め、あるものは肝細胞のように見え始めます。100万から200万への分裂の過程

で、ある種のエネルギーがやって来て、特定の遺伝子が特定の細胞になるように目覚めさせます。これは驚きではありませんか。正常な妊娠の間に、これらの細胞が変わるのは、単に自動的に起こることではありません。私たちは、これは事実だと言い続けており、それが真実だと信じています。第一天使の使命は、私たちが事実の代わりに真実を知るようにと、神が告げているのだと思います。それが第一天使の使命の重要な点です。

い替えれば、もし誰かが、私の皮膚の細胞の一つを取り出したとします。それには、私の遺伝子がすべてありますが、脳遺伝子、肝遺伝子、肺遺伝子、腎遺伝子などはすべて私の皮膚細胞の中では眠っています。ただ皮膚遺伝子だけが目覚めているので、この細胞は皮膚細胞なのです。

その科学者が、私の皮膚細胞を一つとって核を取り除いたと想像して下さい。それから、彼らはある女性の卵をとって遺伝子を取り除くとそれは空っぽの卵になります。その科学者が私の皮膚細胞の核をその卵に入れます、それからこれをその女性の胎に入



れます。それは増殖し始めます。皆さんは何を期待しますか。科学者は私のコピーを得たいのです。これと同じ処置が45年ほど前に、オックスフォード大学においてカエルで行われました。3週間後に、見事なオタマジャクシが生まれました。これはどういう意味でしょうか。すべての遺伝子、脳遺伝子、肝遺伝子、腎遺伝子、その他が目覚めてきました。ですから見事なオタマジャクシがそこに現れたのです。科学者は同じ事が哺乳動物でもできると確信しました。ところがネズミやウサギで試みたところ、そうはできないことを発見しました。当時、オックスフォード大学は、クローニングは哺乳動物ではなく、は虫類レベルでできると結論づけました。しかし今や、哺乳動物でもクローニングをしています。ドールと名付けられた羊のことを私たちは知っています。どのようにドールが誕生したのでしょうか。私は詳しく調べてみて、とても驚くべき事を見つけました。科学者が初めて羊のクローンを試みたとき、うまくいきませんでした。ドールの母親は細胞のかたまりを産み続けました。遺

伝子は目覚めませんでした。なぜカエルの遺伝子は目覚めたのに、哺乳動物では目覚めなかったのでしょうか。そこで科

学者はそれについて考えました。

昨日、私はセロトニン遺伝子やエンドルフィン遺伝子を刺激する電気ショックについてお話ししました。科学者は怠けて眠っている遺伝子を起こすために、羊の遺伝子に電気ショックをかけることができることに気がつきました。彼らはどのくらいの電気ショックをかけるべきか決めなければなりませんでした。276回試みて失敗しました。ついに、その次でうまくいきました。遺伝子が目を覚ましました。そのようなわけで彼らはドリーを得ました。私はこれを発見したとき、「主を賛美せよ」と言いました。なぜこう言ったのでしょうか。私がこの講義のある患者グループにしていたときに、一人の患者が目に涙をためていました。この実験は、すべての遺伝子は目覚めるために外部からのエネルギーを必要としている事を証明しました。なぜ正常な妊娠においては、電気の刺激が必要ないのでしょうか。なぜクローニングでは電気が必要なのでしょうか。正常な妊娠においては、何も感じません。神がご自分の祝福、愛を送り続けているからです。ですから赤ん坊が生まれるのです。クローニングでは、神は、「わたしはこれには興味がない。わたしのエネルギーを送ることはできない」と言われます。人間はひたすら試みを続けます。やっと、偶然の一致で、彼らは正しい

電圧を見つけました。彼らは神の秘密を盗みました。これは非常に危険な時代です。私たち人間は、遺伝子のあるところ、すなわち至聖所に侵入しました。細胞の核は遺伝子のあるところなのです。これは神の領土であるべきところです。ところが人は至聖所をコントロールしたいと願っています。これは荒らす憎むべきものが、医学的に言って至聖所に立った時です。これが私たちの生きている時代です。

私たちは自分の遺伝子を神にコントロールしていただくかなければなりません。これが信仰による義です。私たちは神に対し、「あなたは創造主ですから、あなただけが私の遺伝子をコントロールする権利をお持ちです。あなたは私の主です。私は自分の主ではありません」と言う必要があります。神が私たちの遺伝子の主であり、それをコントロールできるのだということを認めなければなりません。今日、人は自分でコントロールしたがついています。

最大の問題、今最もありふれた問題の一つは、肥満です。女性は誰でも自分の体重をコントロールしようとしています。ですから、ダイエットが盛んになるほど、太った人が増えてくるのです。自分の体重をコントロールしたいと真剣になればなるほど、太ります。ど

うしてそうなるのか私は説明しました。遺伝子と神との関係が無視されているからです。私たちは何もかもが自分の手の中にあると思っているので、自分の体重をコントロールできると考えます。神があなたをごらんになっていて、どのくらいの体重が必要か知っておられます。神は、あなたの必要に応じて、より多くT細胞をつくり、より少なくB細胞をつくり、もっと多く赤血球をつくります。私たちは、「私にはもっとT細胞が必要だと思う。私は自分で体重のコントロールができると思う」と言います。これが遺伝子のシステムを混乱させます。

先程私が話した、クローニングの講義を聴いていて目に涙を浮かべた患者は、その後私のところに来ました。彼は、「私は糖尿病です。でも私の糖尿病は普通の糖尿病ではありません。私の糖尿病は10年前の自動車事故が原因です」と言いました。彼は事故にあったとき、肋骨を折り、それが膵臓を押しつぶしてひどい出血を起こしました。彼は入院し、医者は膵臓の75%を切除しなければなりません。膵臓の「尾」の20%が残されました。それで彼はインシュリンをつくることができませんでした。インシュリンは膵臓の「頭」の部分でつくられます。彼には残った「尾」の部分しかありません。どうして彼は目に涙を浮かべたと思いますか。過去10年間、彼

は毎日、朝に夕にインシュリン注射をしなければなりません。医者は、死ぬまでインシュリン注射をしなければならぬと言いました。これは科学的事実です。私たちは事実も正しく把握せねばなりません。事実を否定したいとは思いませんが、すべての事実が真実ではありません。いったん膵臓のインシュリンをつくる部分が切除されたら、その人は糖尿病になるので、死ぬまでインシュリン注射を受けなければならないというのは科学的事実です。しかし、これは真実でしょうか。この人は事実を信じて、希望をなくし、残りの生涯毎日インシュリン注射をしなければならぬと信じました。彼は事実の信者になりました。彼の糖尿病には、神はいませんでした。事故があり、膵臓の切除があり、インシュリンがあっただけです。それで終わりなのです。私たちは事実に従って考えます。神を忘れます。

この人が私のクローニングの講義を聴いていたとき、彼は正常な妊娠では、様々な遺伝子を刺激して、あるものを脳細胞にするのは神だということがわかりました。眠っている脳遺伝子、眠っている腎遺伝子を起こし、腎細胞、脳細胞、また骨の細胞その他にするのは神です。この人は、自分にはまだ残った膵臓がある、眠っているインシュリン生成遺伝子があるに違いないこと

に気がつきました。神はその眠っている遺伝子を起こすことができないだろうか。それで彼は泣いたのです。彼は聖霊に感化されました。私たちはこれをzap(電波攻撃)を受けたと言います。彼は、神のことを忘れていたのに気がつきました。彼が神を信じていなければ、膵臓の眠っているインシュリン遺伝子を目覚めさせることはできません。イギリスへ行って、そこで眠っているインシュリン生成遺伝子に電氣的刺激を受ければ目覚めるかも知れませんが、今、彼はイギリスへ行く必要はないことを知っています。神はイギリスにだけいるのではないからです。神はどこにでもおられます。ですから彼は泣いたのです。彼は神の声が、「わたしの息子よ、わたしはお前の膵臓で眠っているインシュリン遺伝子を起こすことができます」というのを聞きました。彼は100%信頼することができなかつたので、私のところに来て、私がそれを信じるかどうか尋ねました。私は、「クローニングの物語に従えば、私はそれを信じます」と言いました。妊娠しているときでさえ、神は、胎内で赤ん坊を文字通り造っておられます。神は遺伝子をコントロールし、脳細胞を造り脳を形成し、すべての脳細胞を一個所に集めます。神は肝細胞を一個所に集め、すべての血管を接続します。すべての神経を接続します。神が赤ん坊を造っておられるのであって、皆さんが赤ん坊を造っている

のではありません。私たちは自分がつくると言いますが、そうですか。いいえ違います。皆さんの免疫システムはこうやって強められます。

何らかのハーブを摂取することで免疫システムを強化することはありません。そういうことをするハーブは存在しないのです。なぜ人々が、あるハーブが皆さんの免疫システムを強化すると言うのかそのわけを言いましょう。それは事実すぎず、ほんとうの真実ではありません。

膵臓が20%だけしかないこの人は、とても気持ちが解放されました。彼は、高血圧の問題のある奥さんをプログラムに連れて来ていました。それまでの彼は、奥さんにプログラムについて文句を言い、彼女のためにだけ自分はここにいるのだと言っていました。彼は健康的な食事をしたり、うんざりするような水を飲みたくはありませんでした。自動車事故のせいになった糖尿病に役立つとは思わなかつたので、規則的な運動もしたくありませんでした。ただ、自分の残りの生涯ずっとインシュリン注射をするのだと信じているだけでした。彼は自分の食べたいものは何でも食べることができると言いました。基本的に、彼は事実を信じたので希望がありませんでした。

今日、全世界が事実で毒されています。科学界が神よりも権威を持ち、愛の力よりも権威を持っているからです。これが大問題です。ですから、終わりの時に、神は、この傾向を反転させようとしておられるのです。神は、真実を事実の上に置こうとしておられます。もし皆さんが真実と事実をほんとうに理解すれば、聖書をもっとよく理解することができます。

簡単な聖書の物語をお話ししましょう。

創世記9章に、とてもばかげた物語があります。私はいつもこれはばかげた話だと思っていました。何で聖書はこのばかげた話を載せているのだろうか、と思っていました。これは酔っぱらったノアが裸をさらした話です。それはとても恥ずかしいことでした。ハムは裸のノアを見て、セムとヤペテに見たことを告げました。セムとヤペテは手に上着を持って後ろ向きで歩き、ノアの露出した部分を覆いました。彼らは父親の裸を見ませんでした。ノアは目を覚まして自分が覆われているのを見、正気をなくす前に自分がそうしたのではないことに気がつきました。それから、彼は何が起こったかわかりました。彼は、「ハムは呪われよ」と言いました。私は、「これはばかげた話だ。ハムのどこが悪いの

か」と思いました。この物語をどのように解釈するのでしょうか。ハムは何も悪いことをしていません。ただ見たことを兄弟に話しただけです。なぜハムは呪われたのでしょうか。私には理解できませんでした。もしこれが現実なら、自分だつて呪われるかもしれないと思いました。ハムのしたことは何がいけないのでしょうか。それをはっきりさせることが私にはできませんでした。私はいろいろ調べてみましたが、この物語に触れた本はありませんでした。それは明らかに、この物語はとても簡単でばかげているからです。知的な神学者はこの物語を扱いたがりません。やがて私は真実と事実の違いがわかり、「これだ」と言いました。間違っているかも知れませんが、私の理解によれば、真実と事実とを結ぶ公式に従えば、この物語は美しい話です。ハムは父親の裸を見て、父親が裸だという事実だけを話しました。これは、ハムには愛が欠けていたということです。ハムは、「これはいけないことだ」と父親の悪口を言いました。彼は兄弟に、すばらしいと思っていた父親がそれほどすばらしくはない、行って見てみると言いました。こういうことは教会の中で度々起こります。ある人が牧師のところに行って、「先生、私はこの人が悪いことをしているのを自分の目で見ました。私はうそを言っではいません」と言います。この人には愛が欠けています。クリスチャンは事実

に即しているだけではいられません。クリスチャンは愛で満ちているべきです。私たちは事実で満ちるのでなく、真実に満ちるのでなくてはなりません。聖書は単に嘘をつかないように命じるだけでなく、真実に満ち、愛を持って行動する事を命じています。

セムとヤペテはハムの言ったことを聞き、信じました。彼らは父親を愛していました。そして彼らは父親が裸でいる事実を知りました。彼らは事実を事実としてだけ見たいとは思いませんでした。彼らは事実を愛を加えたいと思いました。そうすればそれは真実になります。セムとヤペテは真実のある人々でした、彼らはハムの言ったことを信じたからです。彼らは事実を否定しませんでした。上着を取り、後ろ向きに歩いて父親を覆いました。聖書は、彼らは父の裸を見なかったと言っています。



私たちは皆罪人です。私たちはいつも裸を神の前にさらしています。もし神が私の裸を見て、「サング・リー、お前を見なさい」と言ったらどうでしょうか。けれども神は決してそういうことはなさいません。神はいつも私の方に後ろ向きで歩いて来られます。神は私を怖がらせたいと思いません。それは神のあわれみ、恵みです。神は、私が罪人であることをご存知です。私に覆うべき罪のあるのをご存知です。それで、神はおいでになるときに、いつも義の衣、イエスの血を持ってこられます。神は私たちの方に後ろ向きで近寄り、決して私たちを非難なさいません。私の方に後ろ向きでおいでになるということは、イエス・キリストにあって責めないという意味です。神はただ私たちを覆って下さいます。それから神は向きを変えて、「サング・リー、あなたはひどい、だが今では義とされた。私はあなたを愛している」と言われます。私は、「ありがとうございます、父よ。私は罪人です」と言います。神は、「いや、あなたは義とされた」。「私は罪人です」。「あなたは義とされた」。これが罪人のためのイエス・キリストの義です。私は自分が罪人であると知っています。真実には意味があり、美しいものです。真実は、事実プラス愛に等しいのです。これは美しいので、私の遺伝子は目覚め始めるのです。皆さんが美を見ないと、この物語に意味を見ないと、遺伝子

は動きません。ちょうど第1日目のパブ
ロフ博士の犬のようです。パブロフ博士
がベルを鳴らすと、犬はベルの意味がわ
からなかったのでよだれを出しませんで
した。彼らは唾液をつくりませんでした。
同じように、聖書のこの物語は意味で満
ちています。ですから私は、神のみ言葉
が病気をいやすことを知っています。神
の言葉は遺伝子を活性化します。

膵臓が一部しかなかった私の患
者に何が起こったかご存知で
すか。彼は今では神を信じ信頼していま
す。彼はそれまで教会員だったことはな
かったし、信者でもありませんでした。彼
は正常な妊娠の間に何が起こるか、そ
れに対しクローニングでは何が起こる
かを学んだ後、もはや神の存在を否定
することができませんでした。今ではど
うして否定できるでしょうか。クローニ
ングにおいては、科学者は外部から電気
を与えなければなりません。それは
正常な妊娠では絶えずエネルギーが
注入されているという意味です。神無し
には、正常な妊娠は説明できません。彼
は私に、「今、私は神の存在を知っていま
す、そして今、私にはインシュリンを止め
ることができるという希望があります」と
言いました。そのちょうど1週間後に、こ
の人は低血糖症のショック状態になりま
した。彼は汗をかき始め、震え、虚脱状
態になりました。インシュリンが多すぎ



たのです。彼の膵臓の小さな「尾」がイン
シュリンを生成し始めました。主を賛美
せよ。さて、以前、彼はなぜインシュリン
を生成しなかったのでしょうか。彼が真
実に信頼していなかったからです。彼は
事実を信じこみました。彼は科学者だけ
を信じこみました。彼には、眠っている遺
伝子を起こして彼をいやす神がおりませ
んでした。これが今日起こっていること
です。これはクローニングから学ぶこと
です。これはとても大切な教訓です。私
は彼のインシュリン注射を半分の量に
減らさなければなりません。次の
週、彼はまた低血糖ショックになり、私は
彼のインシュリン注射を全く止めねばな
りませんでした。今、彼はインシュリン生
成に何の問題もありません。

これが働いている第一天使の使
命です。神に栄光を帰してくだ
さい。あなたの遺伝子を創造された神を
礼拝してください。事実を礼拝してはい
けません。今日、私たちは事実を礼拝して
います。神を事態から取り除いています。

今朝私は、ニューライフ園で、患者に、豚について話をしました。飼い豚と野生の雄豚についてです。野生の雄豚を飼い豚にするのはほとんど不可能です。ずっと長い間、まだこれに成功した人は誰もいません。科学者が飼い豚を野生に入れると、三、四代で牙が戻ってきます。人々は、それは環境のせいだと言うことがあります。私は環境の変化が人間に働くことがあるとは思えません。

例えば、ある人が今、皆さんと同じニュースタートプログラムに來たとします。彼は、私が教えたことを信じませんでした。それはよい環境で健康的な食事、よい水、運動、きれいな空気、その他、何もかもそろっていました。ところが彼は神に信頼しませんでした。彼は神の祝福を受けようとしませんでした。神は、決して強いて皆さんの中に入っては來られません。皆さんが神を招き入れなければなりません。心を神に開いて下さい。それはただ環境のせいではありません。皆さんと神との間に起こる何かなのです。相互関係です。

私は、別の女性に、味について話をしたことがあります。彼女は、甘いものがとても好きだったけれども、しばらく食べるのを止めようと決めた、と私に言いました。3、4ヶ月後、彼女

はまた甘いものを食べました。そして甘すぎると感じました。彼女は、味覚が変化するとはこういうことかと思いました。多分、皆さんがこれに何も間違ったことをごらんにならないでしょうが、私は間違いを見つけました。彼女は神が味覚遺伝子を変えたことを忘れていました。私は、「姉妹よ、あなたは神を忘れています。あなたは栄光を自分に帰しています。あなたは甘いものから遠ざかることで良いことをなさいましたが、あなたは自分で味覚を変えたと思っておられます」と言いました。

豚が、牙が戻るのをコントロールしたのですか。いいえ、長い間眠っていた牙の遺伝子を刺激したのは神です。神があらゆる段階に関わっておられます。これが第一天使の使命のエッセンスです。神学的土台で第一天使の使命を知っているだけでは役に立ちません。それは私たちの日常生活に関係しなければなりません。現実における神の行動を経験するために、私たちには健康メッセージがあるのです。ちょうど今、毎秒、神は私たちの中で働いておられます。神は私たちの遺伝子に働きかけておられます。この瞬間でさえ、皆さんが私のお話を聞いている間も、神は皆さんのT細胞を数えておられます。神は皆さんのT細胞を強めておられます。これが第一天使の使命です。

私は、皆さんにハーブが何でも治すと考えるのを止めて欲しいと頼みます。ハーブは特定の症状があるときに必要です。痛み、頭痛、不眠、その他を和らげるからです。ハーブは非常にマイルドな薬物です。それらはいやすのではありません。症状からの解放をするだけです。薬物を使う代わりに、ハーブを使った方がいいのです。エレン・ホワイトが言っていることはそういう意味です。彼女はハーブがいやしの源だと言ったことはありません。いやしは神ご自身からのみ来ます。私たちはこういことで混乱してはなりません。私たちは単に気分が良くなる事だけでなく、真のいやしを願います。

臍臓が一部だけになったこの患者は、神が彼に触れられたこの経験を通じて教会員になりました。私たちは事実をずっと信じてきましたが、それがバビロンです。事実から出てきなさい。創造主を信じなさい。神に栄光を帰しなさい。それが第一天使の使命です。皆さんは信仰による義を得ることでしょう。それが第三天使の使命です。それはちょうどこのように働くのです。私は、ほんとうに健康使命を実行するよう強くお勧めします。そうすればただ血圧が下がるだけではありません。多くのアドベンチストが私のところにやってきて、「リー先生、私はこれを全部やりました

が血圧は下がりません。ですからあきらめました」と言います。それはよくありません。血圧が上がっても下がっても、それは問題ではありません。健康メッセージを実行することにより、あなたは第一天使の使命を、行動で、現実に体験するのです。それが目標であるべきです。そうすれば血圧は下がるでしょう。ですからイエスは、「まず神の国と義を求めなさい」と言われたのです。高血圧からの解放を第一に求めるのではありません。神は、あなたが神を求めれば、血圧を下げ、健康的な血糖値にして下さいます。これが正しい順序です。

さて、ここで遺伝子がどのように機能するかについての理解へのよい舞台設定ができました。免疫システムに入る準備ができました。T細胞は私たちの免疫システムにおける最も重要な白血球なので、免疫システムの強さは、それらがいかによく機能するかにかかっています。T細胞は多くの異なった遺伝子を持っており、それらの遺伝子はウイルス、ガン細胞その他を殺す多くの異なった物質を生成します。T細胞の中のすべての遺伝子がともうまく機能していれば、T細胞は強く、免疫システムは健康です。免疫システムが弱いということは、T細胞と神との間に問題があるという意味です。どうしてT細胞と神との間に問題があるのでしょうか。神は何

の間違いもなさいませんね。以前、私が講義を終えたとき、ある人がやって来て、どうして異常妊娠があるのでしょうかと質問しました。神が異常な赤ん坊をおつくりになったのでしょうか。いいえ、神には異常な赤ん坊をおつくりになるつもりなどありません。それは人が神の邪魔をしたのです。私たち人間が神と遺伝子との間に介入したのです。T細胞は、皆さんが邪魔をするのでうまく機能しません。神は、T細胞を正常に機能させるために、T細胞の遺伝子に正しい信号を送り続けておられます。しかし、私たちがそれを邪魔します。

どのように人間がそれを邪魔するかご存じですか。まず第一に、T細胞のためによい環境を提供しません。ですからT細胞はいつも問題を抱えています。皆さんは半分酔っぱらっていて、私の講義を聴くことができますか。私は悪い講義をしていませんが、もし半分酔っぱらっていたら、とにかくあなたには良い講義にはなりません。そういうようなものです。神は完璧な、強い信号をお送りになるのですが、人間が神に反対して識別します。神の邪魔をします。私たちはサタンからの信号を受け取りやすいのです。

遺伝子は細胞の中に位置しています。T細胞の中には多くの

異なった遺伝子があります。そこにインターフェロンと呼ばれるものがあります。皆さんが、肝炎またはC型肝炎などのウィルス性の病気になると、医者インターフェロンを使いたがります。インターフェロンとは何かご存じですか。インターフェロンはT細胞が生成する特殊な物質です。もしT細胞の一つを開くことができれば、インターフェロンを生成する遺伝子を見るでしょう。肝炎になると、ウィルスを殺すインターフェロンを自分で生成することができません。それで医者は誰か他の人のインターフェロンを使います。ところが他人のインターフェロンは、本人が生成するはずのものほどよくありません。それに少しばかり違います。ですから他人のインターフェロンを使うと、非常なアレルギー反応を起こします。痛み、熱、嘔吐。なぜこういうことが起こるのでしょうか。あなた自身のインターフェロンではないからです。私たちの身体は、他人の蛋白質が入ってくるといつもアレルギー反応を起こします。インターフェロンは、T細胞が生成する蛋白質製品です。弱い免疫システムとはT細胞のインターフェロン遺伝子があまりよくなく、弱いという意味です。

私はこういう講義を医学校にいた頃を受けていたらと思います。私たちにはこういう考えはありませんでした。私が皆さんをうらやましく思

うのは、また少し怒りたくもなるのは、皆さんがこういう講義を無料で聴いているということです。私がアドベンチストになったことを神に賛美して下さいね。私の診療室でこの話を聞くとしたら、一時間200ドル払うことになるでしょう。でも私は皆さんに請求書を送るつもりはありません。皆さんはもう、お金では買うことのできない多くの祝福を私に下さったからです。それはすばらしいもので、私はとてもうれしいのです。この講義を医者たちにすると、ある人は私がどうしてこんな考え方ができたか質問し、それは驚きだと言います。ある人は、私が彼らの事業を追いやると考えて、怒るでしょう。しかし、正直な医者は、「すごい」と言います。

私はロマリダで正直な医者の一一人に、会ったばかりです。彼は分子生物学者で、頭の良い人です。彼は去年ロマリダの医科大学を卒業したばかりです。ロマリダはM.DとPh.Dのプログラムを結びつけてきた、この国では数少ない医学校の一つです。それは医学校を卒業すると、M.Dの称号をとると同時に、専門分野でのPh.Dの称号をとることができるという意味です。たいてい、このコースは将来教授になろうとしている人たちのために提供されます。お金を得るために診療医療に出る時には、Ph.Dは必要ではなく、M.Dだけ

が必要です。たいてい、このコースをとる人々はお金にはあまり興味がなく、研究や教えることに興味があります。これはやり遂げるのにとてもきついコースです。レー博士は卒業するときにM.Dと共にPh.Dをとりました。彼の分野は遺伝子の専門です。どのように遺伝子が信号を受けるか。私たちはこれを信号変換と呼びます。信号変換システム研究は、今日、分子生物学では最もエキサイティングな分野で、彼はこの分野を研究してPh.Dをとりました。彼が、ある人に勧められて、ボランティアとして私のプログラムにやって来たとき、私の講義を聴いて、「リー先生、私たちは信号がどこから来るのか知りませんでした、あなたは信号変換の研究を終えられましたね。今、私は信号はすべて神から来ることがわかりました。やりました」と言いました。彼は6月1日に私たちの働きに加わったばかりで、このプログラムに関する基本的研究をすることになっています。そして彼はもうすぐ本を書き上げるところです。正直な医者、正直なPh.Dの人たちは、私たちが話していることがわかります。彼らは第一天使の声を聞きます。神を礼拝します。栄光を神に帰します。

ですから、私たちの健康メッセージはまさにそれなのです。エレン・ホワイトは健康メッセージを受けました。良い栄養、運動、よい水、日光、節

制、新鮮な空気、休息。これら7つの事柄は、神からの信号を邪魔するものを取り除きます。脂肪の多すぎるものではなく、良い栄養をあなた自身に提供して下さい。多すぎる脂肪は良くありません。動物性脂肪に限らず、多すぎるオリーブオイルも皆さんに良くありません。

あ まりにも多くのアドベンチストがこの頃ではニンニク臭が強すぎます。私はこれを医学的メンタリティと呼びます。ニンニクを礼拝しているのです。ニンニクは皆さんをいやしません。それはある症状をなくすでしょう。でも、症状をなくすためにニンニクのようなものを使うと、T細胞を弱めます。T細胞はバランスの良さを欲します。症状をなくすために必要以上に何かをとると、どこか他のものを犠牲にしなければいけません。それはちょうど薬物のようなものです。ニンニクは自然な形のもう一つの薬物なだけです。でも料理で、ほどほどにニンニクを使うのはかまいません。私たちの健康メッセージはニンニクメッセージやバーリーグリーン(大麦若葉)メッセージになっています。人々は神よりも被造物を礼拝しています。私たちアドベンチストは、これらの被造物礼拝のモードから目を覚ま

なければなりません。もちろん、バーリーグリーンは良いものですが、どんな病気もいやしはしません。バーリーグリーンはある症状をなくすことができても、遺伝子に働いていやすことはできません。遺伝子に触れていやすことのできる化学物質は何もありません。遺伝子をいやすのは神の愛、神のエネルギーです。これを理解すべきです。

健

康的な食事をする
ことがいやすので
はありません。食事はいや
しません。それは細胞に良
い環境を提供し、細胞を良
い状態に保つのです。高脂
肪食では、血液は粘り濃く
なります。血液が粘り濃くな
ると、循環が遅くなり酸素を
運ぶ赤血球が互いにくっつ
きます。それはちょうど都会
での交通ラッシュアワーの



ようなものです。動きません。T細胞は十分な酸素補給をしてもらえません。高脂肪食のせいで酸素補給の具合が悪いので、T細胞は適切に機能できません。T細胞は自分で酸素を発生させなければならず、たいへんなストレスでいっぱいになります。それは活性酸素を生成するという意味だからです。皆さんが怒ったり、誰かを憎んだり、感情的にストレスを受けると、そういう怒りや憎しみは細

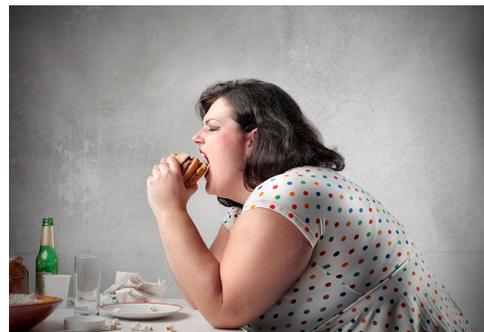
胞全部に活性酸素を発生させます。酸素はすべての細胞にとって欠かせることのできない重要なものですが、酸素が多すぎると、問題があります。空中には21%の酸素がありますが、人が30%の酸素を取り入れると、T細胞は弱くなっていきます。人は酸素をたくさん供給されると、より多くガンになります。これは実験室でのネズミでよく証明されています。実験室では、酸素はコントロールできます。ネズミを違ったコンテナに入れ、酸素の割合を増やすにつれて、ネズミは早く死に、また、とてもガンになりやすくなります。多すぎる酸素は遺伝子を酸化します。

遺 伝子はDNAと呼ばれる化学物質でつくられます。DNAは多すぎる酸素で酸化されます。空中の酸素は中庸です。マイルドな酸素です。どんな種類の酸素でも、何か他のものと結合し、酸化します。酸素は一人であるのが嫌いなので、いつもペアを組みます。ですから空中の酸素はO₁ではなくO₂で存在しているのです。

皆 さんが恐ろしい感情的ストレスを経験したり過食をしたり、或いは働きすぎたりすると、大量の活性酸素が生成されます。これらの活性酸素は全く役には立ちません。それらは遺伝子を撃ち、傷つけるだけです。もしあまり

にも多くのダメージを受けると、それらはガン遺伝子になります。そしてガンになります。もしT細胞が十分に強く、よく見張っていれば、内部に異常遺伝子を持つ異常な細胞を認識できます。そうすれば、それらは異常なガン細胞を攻撃して殺します。ところがT細胞が疲れていてよい栄養を供給されなかったり、食べ過ぎたり、働きすぎたり、とても大きな感情的ストレスを受けると、T細胞は弱くなっていきます。そういうわけで、神の刺激を邪魔しないことが決定的に重要なのです。

私 たちは最高の、できる限り理想的な環境を自分の細胞に提供すべきです。そういうわけで、みなさんによい水を飲み、運動していただきたいのです。もちろん、運動は循環をよくし、脳の機能をよくしますが、水を飲むことはとても大切です。もし私がこの植物にコーラを1缶かけたらどうなるでしょうか。死んでしまいます。コーラは毒ではありません。どうして植物は死ぬのですか。



ようか。コーラは水でできていますね。でも何か他のものが水の中に入れてあります。最大の問題はそれが凝縮されすぎていることです。塩が多すぎる、糖が多すぎる、コーラが多すぎる、コーヒーが多すぎる、何であってまあまりにも凝縮されていること、それが問題をつくります。濃厚な液体は問題をつくりません。水のない孤島に漂流して、喉が渇き死にそうになったとき、海水を飲むのはいいことですか。いいえ、それではもっと早く死んでしまいます。海水は水ですが、塩が濃いのでよくないのです。自分の尿を飲んだ方がまだましです。尿は血液とかなりよく似ています。体細胞の内部では、塩分濃度は0.9%です。私たちはこれを生理的塩類溶液と呼んでいます。どの細胞も0.9%です。海水は3.4%が塩です。3.5倍の濃度です。血液の塩分濃度が上がると、細胞は水を失っていきません。水は細胞から血液へと移動します。そういうわけで、塩気が多い食べ物を食べた後では喉が渇くのです。コーラは、塩分濃度は高くありませんが、化学物質濃度が高いので、私たちは水を飲むべきです。水は味が無いと言わないで下さい。植物は水に味が無いなどと文句を言いません。どの細胞も水が大好きで、私たちの細胞も同じです。水を細胞から取り除くと、脱水症状になります。皆さんが自分を脱水させると、遺伝子は外部からの信号に反応して機能しません。神は

完全な信号を送っているのですが、遺伝子が応答できません。遺伝子の環境がよくないので、気分が良くないからです。ですから私たちは自分の遺伝子により環境を提供する必要があります。よい栄養、運動、水、日光、節制、新鮮な空気、そして休息が必要です。働き過ぎは活性酸素を生成します。

遺 伝子により環境を提供した次の段階は、神の力に信頼する事です。神の愛の力に信頼して下さい。そうすれば皆さんは神の信号に遺伝子が応じる備えをさせ、いやしが始まります。私たちをいやすのは、よい健康的な食事や水ではありません。よい食事や水はよい環境を提供するのです。

あ る人たちは、私が、神がどの瞬間にも信号を送っていると教えるので汎神論者だと非難します。彼らは私の講義を誤解しています。水はいやし手ではありません。ただ細胞の環境をよくして、いやしの力が遺伝子に働いていやせるようにするだけです。ケロッグ博士が汎神論になったのは、彼がこれを忘れたからです。彼は水にいやす力があると言い始めました。ということは神が水の中におられるという意味です。ですから彼は水を礼拝するようになりました。彼のいやしはほとんど、全的に水治療法に中心が置かれていました。

彼は様々な種類の水治療法をするためにたくさんの器具や装置を考案しました。今日、私たちはそれらを使っていません。彼にとって、水はいやし手でした。人々は、アメリカにはとてもよく効く水治療法をする人(ケログ博士)がいる、と言っていました。患者はこの汎神論の考えに沿って、水のいやしの力を信じました。福音は忘れられました。神の力は忘れられました。み言葉の力は忘れられました。そして水の力が賛美されました。それは単なる事実です。水治療法を受けた患者がよくなると、神は忘れられました。それは真実ではなく、事実でした。それが、彼が汎神論の主題を発展させたやり方です。それは彼の意図ではありませんでした。彼は熱心に汎神論を否定しましたが、彼の書いたものを読むと、彼が汎神論的アイデアを持っていたことがわかります。多くの人々が今日、どうしてケログ博士が汎神論になったのかわからないでいます。彼らは説明ができませんが、私は、彼の医療のやり方の中に汎神論的アイデアを見ることができます。

私は、私たちの健康メッセージの中に神の力を回復したいのです。私たちはまるで食事や運動がいやしているかのように、食事を宣べ伝え、運動を宣べ伝えます。ですから、バーリーグリーン(大麦若葉)その他のある特定の

ものが真のいやし手であるかのように信じるようになってしまうのです。それらは治療法であって、いやし手ではなく、治療です。治療といやしとは違います。

私が医学校にいた頃、人々は病気が何か理解していませんでした。今日、ほとんどどんな病気も何らかの遺伝子の問題に関係があることがわかっています。ところが同時に、遺伝子について何もわかっていません。私たちはガンが遺伝子と何か関係があるとは思っても見ませんでした。今ではガンは遺伝子病だと知っています。ですから、いやしとはどういうことなのかかつては知りませんでした。今日、いやしとはどういうことなのか正確にわかっています。いやしとは遺伝子の修復という意味です。皆さんの遺伝子が活性化していないのなら、遺伝子の再活性化の結果がいやすことになります。もし遺伝子の損傷があれば、遺伝子の修復がいやしです。今は、それを科学用語で正確に定義できます。ただ一つの疑問は、何が遺伝子を修復するかです。それが科学者に残された唯一の疑問です。私たちは答を知っています。神がいやし手です。神の力が遺伝子の障害を修復しています。

私は、皆さんに、どのようにして免疫システムを強くできるかについて全体像をお見せしましたが、皆

さんを守るべきT細胞が、なぜ今皆さんを攻撃しているか説明しなければなりません。これは今日とても重要な問題です。ほんとうは何が自己免疫疾患を引き起こすのでしょうか。今まで、私は何回も遺伝子は意味に反応すると言ってきました。T細胞内の遺伝子は意味に対してとても敏感です。神は、皆さんを守るためにT細胞の遺伝子をどのように刺激するかご存知ですが、どういうわけか神のメッセージが無視されて間違ったメッセージが遺伝子に届いており、T細胞は皆さんを攻撃しているのです。神から来る本来のメッセージはT細胞が身体を守るようにというものでしたが、今日多くの人たちは、攻撃しろ、殺せという間違ったメッセージを受けます。なぜですか。私たちのT細胞は脳から来るメッセージにとても敏感です。T細胞は、実は体内の他のどの細胞よりも脳に対してずっと敏感です。これにはいくつかの適切な説明を要します。

ある人々は、内心で非常に強い罪悪感を感じています。たいてい自己免疫疾患はとても立派な人々、立派な女性たちに起こります。だれもが、「ああ、彼女はとても立派だ。彼女は天使のようだ」と言います。ところが彼女は関節リウマチなのです。たいていこれらの人々は、他人を責めるよりも自分を責めようとします。こういうタイプの人たちは

いい人なのですが、自分自身に間違ったメッセージを与えます。普通彼らは幼い頃に自分は良い子だと信じるのですが、やがて成長して大変困難な状況に直面します。韓国で、もし、あなたが良い子だとします。成長して結婚します。誰もが、「彼女はなんていい娘なんでしょう。きっと良い嫁になることでしょう」と言います。それから、彼女は姑がとても意地悪なことに気がつきます。けれども彼女は良い子のはずです。そして姑とは一緒に暮らすことはとてもできないと感じても、多くの場合、韓国では妻は姑と一緒に暮らさなければなりません。彼女は姑を自分の家に迎えねばなりません。大変な状況です。この特別な姑は、「これは私の息子だ」と言い、彼が夫であるという事実は姑には関係ありません。姑がこういう立場をとると、二人の女性の間に変なことが起こります。しかしこの良い子には、その問題のために姑を非難することはゆるされません。彼女は姑が交通事故で死ねばいいとさえ思います。彼女は非常な罪悪感を感じ、そんな風を感じるので自分は罰せられるべきだと思います。良いクリスチャンにはこういうタイプの問題があります。こういうタイプの問題から逃れるただ一つの方法は、罪はイエスの血によって覆われたことを認めることです。あなたの考えることがどれほど悪くいけないものであろうと、イエスの血のゆるしは何よりも大きいのです。

私は、20歳年上の男性と結婚したある女性に会いました。実は、二人は法的には結婚していませんでした。そして20年間一緒に暮らし、夫が卒中になりました。彼女は夫が早く死ぬばいい、そうすれば遺産がもらえると考えました。彼女はとても罪悪感を覚えました。毎朝彼女は夫の寝室のドアを開き、夫が死んでいてくれたらと思いました。彼女は立派な女性でしたが、お金の力が彼女を圧倒しました。ついに、彼女は不眠症、そして関節リウマチになり、自分自身を罰しました。彼女はひどい有様になり、効き目のあるものは何もありませんでした。彼女はニュースタートプログラムに来るようになって、私は彼女の問題に気がつきました。聖霊が私に、彼女は自分を罰しているのだと告げました。ですから彼女のT細胞はサタンの側からの間違ったメッセージを受け取っていました。「あなたは罰を受けなければならない、あなたは悪い子だ」。



そこで私は彼女にマタイ26章のイエスとユダの物語を示し

ました。イエスは、弟子の一人が自分を裏切るだろうとその夜言いました。誰もがイエスのところに来て、「それは私ですか」と尋ねました。イエスは、「いいえ」と言いました。11回こういうことがあって、12回目にユダが「それは私ですか」と聞きました。もし私だったら、彼に止めさせようとしたでしょう。ところがイエスは、「そうだ、それはあなただ」と言いました。すぐにイエスはパンを裂き、そして、「これはわたしのからだです。とって食べなさい」と言いました。イエスは彼に救いを与えました。それからイエスはブドウ汁を杯に注いで持ち上げて、「あなた方は皆この杯から飲みなさい」と言いました。これはユダもという意味です。私がこの事をその女性に言うと、彼女は手を上げて、それには自分も含まれるのかと尋ねました。私は、「もちろん。あなたはユダよりも悪いでしょうか」と言いました。この女性は、「ありがとうございます、リー先生。私に違ったイエス様を紹介して下さい。私の教会は、まず私が自分を清めなくてはならない、それから飲むことができると教えていたのですが、今あなたは、私が罪人だから飲むことができる、そして私はゆるされるとおっしゃいました」と言いました。私は、「行きなさい、そして飲んで下さい」と言いました。彼女は、「ありがとうございます。主を賛美せよ」と言いました。

ついに神の信号が彼女のT細胞にやって来て、彼女のT細胞は神によってプログラムし直され、彼女を攻撃するのを止めました。彼女は自分の関節組織を罰するのを止めました。彼女の関節リウマチは完全にいやされました。彼女は家に戻り、夫に、「あなたのお金はありません。私には神がいます」と言いました。夫はとても感動して、「お前に何が起こったのか」と尋ねました。彼女は、「私はイエスを見つけました。そしてニュースタートを見つけました。あなたはいやされますよ。あなたの卒中はだいじょうぶです」と言いました。彼女は夫のために働き、夫は健康的な食事をしたと思い、彼女がニュースタートプログラムでしていたのと同じ事をしたと思いました。その夫は歩くようになり、回復しました。彼らは美しいカップルになりました。ついに彼らは結婚しました。お金のために結婚したのではなく、愛によって結婚しました。

これが私たちがニューライフと呼ぶものです。私たちは、終わりの日にあつて、私たちの社会でこういういやしを促進したいものです。これこそ健康メッセージにおける三天使の使命なのです。アーメン。



PART 4

—鬱と肥満の扱い方—

午後のトピックは「鬱と肥満の扱い方」です。クリスチャンはふさぎ込んでいいものでしょうか。そうであってはならない、でもそうなる、違いますか。特にローマ人への手紙7章を開くと、パウロがどれほど葛藤したか見ることができます。彼は、自分はしたくないことをしていると告白しています。私たちはふさぎ込むのはいやですが、でもふさぎ込んでしまいます。それが、ローマ人への手紙7章でパウロが言っていることのひとつだと思います。私たちは嫌っていること、したくないと思っていることをしています。

科学者が最近アフリカでとても奇妙な現象を見つけました。キリンが、死んだ動物の骨を食べているのです。彼らは骨を噛んでいました。キリンを麻酔銃で撃って血液サンプルを採取してみると、そのキリンにはカルシウムと燐が欠乏していることがわかりました。キリンたちはカルシウムが必要だったので、骨を食べていたのです。これには何か奇妙なところがありますか。まず、キリンはカルシウムについて何か知っ



ているでしょうか。いいえ、彼らはカルシウムが何なのか知らないし、自分たちにカルシウムが不足していることさえ知りません。医者がキリンたちに告げたのでしょうか。血液検査をしたのでしょうか。いいえ、キリンはカルシウム不足のことも、骨にカルシウムがあることも知りません。また、前にはこんなことをしたことがありません。皆さんはこういう現象を何と呼びますか。人々は「本能」だと言います。お尋ねしますが、「本能とは何ですか」。本能とは何かを説明しなくてはなりません。本能がないと、私たちは死にます。私たちを生存させているのは本能です。私はナショナルジオグラフィック誌に、びっくりするような記事を見つけました。アフリカ海岸から離れ、限られた種類の植物しかない小さな島（島の名は忘れてしまいましたが）に住む特別な種類の猿についてです。

そこには蛋白質を多く含むイチゴ類が一つあります。猿は蛋白質が必要になる度に、イチゴの所に行って食べ、その度に土地の人々がある

種の炭をつくる場所の大きな木の切り株の所に行きます。猿は炭を取って、噛み、いくらかを飲み込みます。なぜですか。科学者はそのイチゴにはある種の毒があることを見つけま



した。猿は他の物を食べる時には決して炭を食べませんが、その特別のイチゴを食べた後だけは炭のかけらを探しにその木の切り株にやって来るのです。他にはそんなことをする猿はいません。

私は、チンパンジーを研究した有名な人類学者ランギュラー博士が書いた、ハーバード大学出版の研究誌を読みました。彼は、チンパンジーが17種類の薬草を知っているのを発見しました。多くの種類の細菌感染があり、これらの細菌と闘う幾種類かの抗体があります。特定の細菌には特定の抗体が求められます。多種類の細菌があり、違った種類の細菌と闘うのに同じ抗体を使うことはできません。これらのチンパンジーは、自分が持っている細菌のタイプに従ってどの薬草を使うかを知っています。驚きではありませんか。チンパンジーは細菌が何なのか、抗体が何なのか知りませんが、どういうわけか、普段は持たないある種の特別な食欲を持つようになるのです。私たちはこれを本

能と呼びます。それは彼ら自身の知識から来るものではないからです。彼らは自分のしていることがわかりませんが、そうします。

人々は喉が渇きますが、そ

れは体内の水分の必要、水分のレベル、細胞の水和作用のレベルを絶えず測定しているからではありません。しかし、皆さんに水が必要になると、渇きを感じます。もし特定の脳細胞が傷つくと、水が必要になっても、渇きません。脳細胞には特別の遺伝子があって、それが活性化すると、渇いていることがわかります。私たちは体内の水分が減ると渇きます。これは、私たちが水の必要になったことがわかったという意味ではありません。何か別のことがそこに必要です。皆さんにはカルシウムが必要になったことがわからないし、また水が必要になったことがわかりません。絶えず皆さんを見守っているのは神です。そして、皆さんに水が必要だと知っているのは神です。そして皆



さんに渴きを感じさせるため、特定の脳細胞の特定の遺伝子を活性化する信号を送るのは神です。そういうわけで、渴きを感じたらいつでも「主を賛美せよ」と言う必要があります。なぜなら、私たちはもし渴きを感じなければ、水を飲もうとはしないからです。もしその種の脳細胞が傷つくと、皆さんは渴きを感じる事がなく、水を飲まないで死んでしまうでしょう。私たちを生存させているのは神です。神は生きていて、私たちにご自分の愛の信号を送っておられます。



鬱を理解するには、この種のメカニズムをよく理解しなければなりません。アフリカの猿は、胃の中の毒を炭が吸収することを実際には知らないことがわかりました。ケニア、セレンゲティ国立公園のチンパンジーは、抗体とは何か、細菌とは何かを知らませんが、突然、いつもはない食欲を持つようになります。彼らは特定の木の特定の葉以外は食べたいと思いません。とても興味あることです。ランギュラー博士は一つの特別な出来事を報告しています。チンパンジーはある種の大腸菌で汚染された食物を食べ、ひどい胃の痛みや下痢を起こすと、何も食べようとしません。しばらく断食した後、森の中に入って行

って、普段は触れることのない木から特別な種類の葉を摘みます。古すぎず、若すぎず、中位に若い葉を摘むのです。一枚の葉を摘んで口に入れます。チンパンジーは普通噛むことではチャンピオンですが、ある種の細菌に汚染され、感染した時には、葉を噛みません。一枚の葉を口に入れて、飲み込むだけです。科学

者は、この葉には特別の種類の細菌に対する抗体があることを見つけました。ほんとうに面白いことです。なぜ葉を噛まないのでしょうか。噛むことで、短時間に多すぎる抗体を吸収するからです。チンパンジーは葉を飲み込むだけです。もしその葉が古すぎる

とか、固すぎると、抗体を十分得ることができません。その葉が若すぎると、毒なのです。彼らはどうやってどの葉がいいかわかるのでしょうか。葉を噛むと抗体が多く吸収され過ぎるので、彼らは噛みません。葉を飲み込むので、抗体は胃の中でゆっくりと吸収されます。こういうことを何と言うのでしょうか。奇跡的ですね。

とてもびっくりすることをお話ししましょう。科学者は最近、とても小さな面白い脳虫と呼ばれる虫を見つけました。これはとてもとても小さいのでアリの胃の中に住むことができま



す。たいてい12—20匹の脳虫が1匹のアリの胃の中で住めます。これらの脳虫は、卵を産むためには羊の胃の中に移動しなければなりません。アリの胃の中では決して卵を産みません。きっとそれでは窮屈すぎるとわかっているでしょう。これらの脳虫は、羊がどんなものか知っていると思いますか。私はそうは思いません。脳虫は羊を見たことはありませんが、羊の胃の中に移動します。どうやってそうするのでしょうか。脳虫がそのことで心配するのは賢明だと思いませんか。「どうやって羊の胃の中に入ろうか。卵を生まなくちゃいけない」。それはちょうど私たちが、「どうやって天国に入ろうか」といつも言うようなものです。私は多くの人々が、「どうやって天国に行くか」と尋ねるのを聞いてきました。「あなたにはできません」と私は言います。脳虫が羊の胃の中に入っていくことができないように、だれか他の者が皆さんのためにそれをしなければなりません。皆さんには決してできません。

それで、何が起るかわかりますか。これらの脳虫が卵を産む時期が来ると、急にアリの胃の中にいる20匹のうち1匹の脳虫がおかしくなります。何が起るかというと、この一匹の代表の脳虫が、きっと彼は預言者かもしれませんが、脳細胞の一つを活性化する神からの信号を受けて、少しばかり分別をなくします。きっと回心するでしょう、わかりませんが。ちょうどアブラハムが故郷の町を出る決心をしたように、この脳虫は急にアリの胃を出て、脳に行きます。そういわけでこの昆虫に脳虫というあだ名がついたのです。そこで神は脳虫の別の遺伝子を刺激します。するとそれは、アリの脳の特定の個所を刺激する奇妙な化学物質を生成します。そのアリは頭が変になります。アリはたいてい仕事中毒で、働きに働きますが、このアリはもう働こうとしません。このアリはある特定の草を探し始めます。この草を食べる羊こそ、脳虫が入っていきたい羊ということになるのです。そのアリはこの特別な草を見つけると、草のてっぺんに這い上って歯でぶら下がり、羊がその草を食べに来るのを待ちます。きっとそのアリは自分を犠牲にして、胃の中の脳虫が天国つまり羊の胃の中に行けるようになるのかもしれませんが。美しい物語ではないですか。私たちには少なくとも一人の預言者が必要です、そうでしょう。羊がその草を食べに来ると、そのアリは羊の胃

に飲み込まれます。脳虫は羊の胃の中で生き残り、卵を産みます。卵を産んだ後、その脳虫の成虫は死にます。

さて次の世代は孵化して生きるために、アリの胃に戻らなくてはなりません。卵はアリの胃に戻る方法を知っているのでしょうか。いいえ知りません。さて、羊の糞を好むカタツムリがいます。そのカタツムリは羊の糞を食べ、脳虫の卵を飲み込みます。カタツムリは地面を這いながら、アリの好む濃い、白い粘膜を分泌します。アリがそれを食べると脳虫の卵はアリの胃の中に収まるのです。こういうことは以前には見つかっていませんでした。ごく最近の発見です。主をほめよ。

こういうことを調べるといつでも、だれでもすばらしい創造主が今も働いておられることを見、眺め、目撃しているのに、目が見えていないのだと思えます。彼らは栄光を脳虫に与えるのです。「脳虫がこうするのだ」、と彼らは言います。私たちは「行いによる義」にあまりにもはまりこんでいます。神が彼



らを動かしていることを忘れています。私たちは神を見ようとしません。キリンが骨を食べる時、神を見ることなく、「キリンは賢い」と言います。キリンはどれほど賢いと言うのでしょうか。脳虫はアリと羊の中に入ったり出たりすることができるほど賢いと思いますか。違います。賢いのは神です。脳虫のためにそれをしているのは神です。キリンがカルシウムをとれるようにしているのは神です。神を忘れています。

私たちは第一天使の使命を忘れていています。「おお、ニンニクを食べて私はよくなりました」と言います。私たちはニンニクの使命を持っています。神に栄光を帰するひまがありません。もし皆さんがよくなったとすれば、神が傷ついた遺伝子の修復をなさったからよくなったのです。治したのはニンニクではありません。ほんとうの第一天使の使命を知る必要があります。神はいつも置き去りにされています。「わあ、バーリーグリーンはいいよ、すごくよくなったように感じる!」もしよくなったとを感じるなら、そうさせたのは神です、ほんとうに。神を賛美し、神に栄光を帰しましょう。これがほんとうの第一天使の使命です。

本能とは何でしょうか。本能というものは神を抜きにした言葉です。それは人間には理解できない現象

を定義するための言葉にすぎません。何の説明もしてはけません。人間は神を抜きにして、それを本能と呼ぶのです。本能とは何ですか。脳虫が賢いのではなく、キリンが賢いのも、チンパンジーが賢いのもありません、それは神の賢さなのです。愛する兄弟姉妹の皆さん、神のこの賢さを私たちは何と呼びますか。それは神の知恵です。神の知恵は、遺伝子を刺激し食欲を調和よく組み合わせます。普通は、猿は決して炭のかけらへの食欲はありません。しかしそれが必要になるといつでも、神はその猿にそれが必要だと知っておられて、特定の遺伝子を刺激するので、その猿は、「フーン、どうして今日は炭を食べたい気分になるのかな」と言います。今日アフリカではキリンが骨を食べています。科学者は、それはどうらや酸性雨のせいだと考えつきました。ヨーロッパの深刻な空気汚染が雨をひどい酸性にします。この酸性の水が土からカルシウムを溶脱し、キリンは木の葉を食べますが、その葉には酸性雨のためカルシウムが欠乏しています。そういうわけでキリンはカルシウム不足になり骨を食べるのです。キリンには知識はありませんが、神の知恵があります。人間は多くの知識を持つと、神の知恵を拒みます。人間は彼らと反対のことをしています。私たち人間は知識を拝しますが、キリンや猿は神の知恵を受けます。これが私たちの健康に関わる今

日のほんとうの問題です。私たちは自分自身の知識に従って食べ、神の知恵に従いません。

私が大学にいた頃とても落ち込みました。それは自分の人生に何の意味も見なかったからです。人生とはただ食べて、働いて、眠るだけだと考えました。食べて、働いて、眠る。次の日もその次の日も私たちは同じことをします。食べて、働いて、眠る。食べて、働いて、眠る。3回食べて、それから眠って、それから働く。「ワア!私は一生の間これをくり返すのか」と自問しました。それが全部です。これは人生について何を語っているのでしょうか。人生の事実です。眠って、食べて、働く、これを否定できる人はだれもいません。否定し得ない事実ですが、人生の真実ではありません。ところが当時の私は真実と事実との違いを知りませんでした。私は否定し得ない人生の事実を真実だと考えました。食べて、働いて、寝る、それがすべてだ。

当時、同じことを言って自殺したドイツの哲学者の本を私は読みました。私は、「こいつは一番正直なやつだ。偽善者ではないのは彼だけだ。彼は真実を語って、それから自殺した。彼は自分の信じたことをした」と言いました。私は彼にならって自殺しようと思いました。このドイツの哲学者が私の神で

した。私はどうやって自殺しようかと考え始めました。鉄道に飛び込むこと、崖から海に飛び込むことを考えましたが、海は冷たすぎます。真剣に自殺の仕方を模索しました。また、私は髪の毛を切らないことにしました。それは意味のないことだと決めつけました。髪の毛を切ったとしても同じことをするのは、食べて、眠って、働く。何で髪の毛を切らなくてはいけないのか。シャワーも使いませんでした。ひどい状態でした。私にはこういう傾向があったのですが、今では髪の毛を切るし、1日2、3回シャワーを使います。私は全く変わりました。

私は真剣に自殺したいと思いましたが、自分の知った真実に正直でありたかったからです。他人はみなばかに思えました。彼らは人生の真実を見るべきだと思いました。食べて、働いて、寝る。それを繰り返し続けるとは何とばかげたことか。彼らはどうなるというのだろうか。ただ年をとり、ストレスを受けただけです。そして私は自分の論理、否定しがたい人生の事実を確信していました。私は当時真実がわかっていませんでしたので、自分が自殺できることを確かめたいと本気で望んでいました。

でもまた、私はベートーベンを聴くのが大好きでした。他の曲は読書をしたり食べたりしながら聴くこと

ができましたが、ベートーベンとなると、食べるのも、読書も何もかも中止して音楽だけに集中せずにはいられませんでした。それから私はすごく吸い込まれていき、恍惚としてきて、ほんとうにエキサイトしました。そのようなことが私の人生で続いていました。

ある日、私はひどい流感にかかって高熱を出しました。体が痛み、せき込み、頭痛がし、汗をかき、そこで私が何に気がついたと思われませんか。「私は死にたくない。私は生きたい!」とても困惑しました。自分がわからなくなりました。自分の不正直さ、ばかばかしさに失望してしまいました。なぜ死にたくないのか。人生には何もないとわかっていました。ただ食べて、眠って、働くだけです。それなのに私は死にたくない、生きたいのだということを正直に認めました。突然自分の中に二つの異なった願望があることに気がつきました。私は死にたい、そして生きたい。フーム、これはとても興味あることです。私には自殺願望があることがわかっていましたが、この生きたいという願望はどこから来るのだろうか。私は混乱しました。

当時私は神を知りませんでしたので、この生きたいという願望がどこから来るのかわかりませんでした。生きたいというこの新しい願望がど

こを起源としてくるのかはっきりするまで、自殺を延期することに決めました。風邪をひく度、自分の中に生きたいという願望があることを思い出しました。私は、これは全くおかしいことだと考えました。風邪をひくのが楽しい感じになっていきました。ひかないことを喜ぶように努め、常にいつかは自殺しなければならないと自分に言い聞かせていました。ところが風邪をひくと自殺したいとは思わなくなるのでした。こういう相反する願望が私のうちにありました。私はこれを明確にすることができませんでした。

細 胞の絵を描いてみましょう。これはあなたで、私でもあります。物質的に言えば、私たちは単なる細胞の集合体にすぎません。それが私たちのすべてです。私たちは脳細胞や肝細胞その他の集まりです。ただの構造物です。これは核で、これは染色体です。そして染色体の内部には異なった種類の遺伝子があります。それが私たちのすべてです。

キ リンを思い出して下さい。骨を食べたいという新たな食欲を細胞に与えたのは神の知恵です。キリンは骨が何のためにあるのか知りませんが、このキリンがカルシウム不足だと知っているのは神です。もし皆さんが、自分の細胞と神の知恵と一緒に働いてい

る自覚があれば、問題はありません。そうすれば、素晴らしい生活ができます。

残 念ながら、私には自殺願望がありました。多くの人々は、生きたい、また自殺したいという相反する二つの願望を持って生きています。喫煙者は食後にタバコを楽しみますが、そのうち気持ちを変えてタバコを止めたいと言います。二つの違った願望があります。彼らは真剣に禁煙したいと思うのですが、真剣に喫煙もしたいのです。二つの全く相反する願望。皆さんはアイスクリームを食べる人たちにもこの闘いがあることがわかりでしょう。この闘いはだれの中にもあります。この闘いは、私たちの人生のどんな小さな局面においてもあります。私たちの生活における様々な分野でのこの大争闘を認識することが、鬱を理解するのに重要です。

先 程の話に戻りますが、この神の知恵が私に命を与えました。自殺はしたくない、生きたいと私に告げたのは神の声でした。そこで私は生きたいのだけいうことを認めようと思いました。私は当時無神論者でしたので、この願望がどこから来るのか何の答えもありませんでした。「私は」という言葉について話してみましょう。「私は」自殺したいと思いましたが、私たちは人生の最初に、「私は」という概念を持っていますか。いいえ、大

きくなるにつれて、次第に「私は」になっていくのです。これを個性と呼びます。私は韓国人です。それで皆さんは「キムチ」と呼ばれる韓国の有名な食べ物を食べたことがあるでしょうか。ドイツ人のネットワークアウトよりずっとひどいものです。たいへんな代物です。ニンニク臭く、トウガラシ味で、塩辛いと人は言うでしょう。いったんその魅力にとりつかれると、たいへんおいしい物です。でも、そうでなければ、我慢なりません。アメリカのセブンスデーアドベンチスト韓国人教会は、「キムチ」のせいでたいへんな目にあっています。韓国人は自分たちの教会を設立するといつでも、それを自分の教会と呼びます。彼らはたいへい、アメリカ人のセブンスデーアドベンチスト教会のホールを友好の交わりのために利用し、いつでも「キムチ」のせいで追い出されてしまいます。パトラックがあるといつでも、アメリカ人は「キムチ」を食べてみて、後で委員会を開き、そこで私たち韓国人を締め出す決議をします。アリゾナでは、あまり多くの韓国人はいませんから、皆



さんはそういうことをご存じでないでしょうが、ロサンゼルスではいつものことです。ロスでは、韓国人教会が10あります。この「キムチ」は恐るべき物です。いつも問題を引き起こします。臭いがひどいのです。

韓国人の赤ん坊が生まれ、最初彼らは「キムチ」など欲がりません。どうしてですか。それは遺伝子に悪く、細胞によくありません。「キムチ」を食べると、非常に濃厚なので細胞を脱水状態にするせいで、喉が渇きます。「キムチ」を食べたがらない時、韓国の赤ん坊はだれの言うことを聞いているのでしょうか。だれが韓国の赤ん坊にそう言っているのでしょうか。そういつているのは神です。赤ん坊は脱水というようなことは知りません。彼らには知識がありません。赤ん坊は神の知恵を受け取り、洗ってない「キムチ」を食べるのを拒むのです。

私は、洗ってない「キムチ」を食べる決心をした日のことをはっきりと覚えています。5歳でした。母は5人姉妹の長女でした。これは私には4人の叔母がいたということです。4番目の叔母はとてもきれいな女性でした。私は5歳で、彼女は18歳ぐらいでした。私は彼女に夢中になり、彼女と結婚しようと心に決めました。私はいつも彼

女が家に来るのを待ちこがれていました。彼女が入ってくるといつでも、私は違った少年になりました。とてもいい子になったの



です。一人前の男のように振る舞いました。ある日彼女は入ってきて、私が洗った「キムチ」でご飯を食べているのを見て、まだ洗った「キムチ」を食べているのかと尋ねました。私は彼女を見つめ、これは、私がまだ洗った「キムチ」を食べているようなら私とは結婚できないという意味でそう言うのだと解釈しました。彼女は私のことを、大きな子ではなく、まだ小さな子だと言っているのだ。さらに彼女は、昨日友たちの家へ行ったけれど、その弟は5歳で洗っていない「キムチ」を食べていたと言いました。「オーツ！5歳の男の子でも男なのだ」。私たち男性はたった5歳でも、プライドをいっぱいもって生きています。私は大きな子でなければなりません。そのどこかの少年は洗ってない「キムチ」を食べているからちゃんとした男子でした。私は黙って、厳かに、明日の朝の食卓で

は洗ってない「キムチ」を食べようと決心しました。それで、一晩中眠れずに、洗っていない「キ



ムチ」のせいで胃が爆発する悪夢を見ていました。しかし私は決心し、母に、「今朝はぼくのキムチを洗わないで」と言いました。母はとても驚いて「お前、そりゃ、お前にはあんまりだよ」と言いました。「大丈夫だよ」と私は答えました。私は叔母を見、彼女は私を見ました。「サング、今朝は大きな子になるつもりなの？」「見ていてよ」と私は言いました。それで、私は洗っていない「キムチ」を取りました。恐ろしく見えました。私は口に入れ、噛んで飲み込みました。ひどい辛さでした。私の叔母がどうしたかおわかりですか。彼女は手をたたいて私に、あなたはなんて大きな子だろうと言いました。それはひどい味でしたが、叔母がおいしかったかどうか尋ねると、私は「うん」と言いました。ここに「私は」というのがやって来たのです。おわかりですか。



ついにこの新たな「私」は「キムチ」を愛する者を造り上げたのでした。事実、私は「キムチ」が嫌いでしたが、「キムチ」を愛しました。どうしてですか。みんなが私は大きな子だと言ったからです。「キムチ」は大きな子の食べ物です。神の知恵は私に食べるなど言ったのに、なぜ「キムチ」を食べるようになったのでしょうか。私のプライドです。プラ

イドが私の「自己」を再構築したのです。私は偽りの「自己」をつくり始めていました。それが「私は」です。

「私」は「喫煙を好みます。だれも赤ん坊の時にはタバコを吸いたいとは思いません。だれもかれもが皆さんを混乱させ始めます。どっちが私なのだろうか。たいていの人には、まるで真の「自己」であるかのように偽りの「自己」を選びます。私たちは真の自己と偽りの自己との間でひどく混乱しています。これがストレスの土台であり、鬱の土台です。皆さんが、どっちがほんとうの自己なのか、どっちが偽りの自己なのか混乱する限り、ひどい問題が始まってくるでしょう。もちろん、その「私」はプライドによって構築されます。このプライドはルシファー、サタンから来ます。ここに大争闘の様相を見ることができます。これは真の自己であり、偽りの自己です。

聖書は真の自己と偽りの自己について語ってはいません。聖書はこれを、肉の人と霊の人として描いています。他には、古い人と新しい人、世の人と内なる人です。この違いは聖書で最も徹底的で、最もハッキリ区別しています。聖書は、ある人は死んでおり、ある人は生きています。神



は生ける神です。

私はこれを理解する前は、いつも聖書を読んでいる時に混乱しました。神は、「わたしは…アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神、わたしは生きている者の神であって、死んだ者の神ではない」と言われます。アブラハム、イサク、ヤコブはみんな死んだのに。だが神は、自分は生きている者の神だと言う。私はほんとうに混乱しました。今では、アブラハムは死んでいるけれども、生きているということがわかります。今日この地上の人々は生きてはいるけれども、死んでいます。なぜなら偽りの自己、肉の人にあって生きているからです。彼らは自分の中にいのちをもっていません、真理を持っていません。神の知恵よりも、知識で生きています。これが問題です。

皆さんは真の自己と偽りの自己との隔絶を見ることができません。私たち自身は分裂しており、この隔絶がほんとうに大問題を造り出します。これがまさにパウロがローマ書7章で語っていることです。パウロは二つの異なった自己について、「私は自分のしたいことせず、自分の嫌っていることをしてしまう。私は落ち込むのはいやだ、私は怒るのは嫌いだ、だが怒ってしまう」と語っています。私たちが怒るのは、この二つ

の異なった、相反する自己の問題があるからです。多くの人々は生きたいのですが、生きたいと思いません。

私がまだ2歳半だったころのことを覚えています。2歳ころに経験したことを何もかも覚えている人は多くありませんが、私は一つのことをとても鮮明に覚えています。私が1歳7ヶ月の時に弟が生まれました。私は5月生まれで、弟は翌年の11月生まれでした。弟は母の腕の中でお乳を飲んでいました。そのすばらしい平安はずっと私のものでしたが、もう違います。私は拒絶されているというひどい感じがしました。もちろん母は私を拒絶したのではありませんが、そう感じたのです。ある日、母が弟に熟柿をスプーンで食べさせていました。私はその熟柿を見ていたらとてもほしくなりましたが、母は赤ん坊に食べさせることだけに一生懸命でした。その時私がどう感じたかおわかりですか。私は世話をやいてもらわねばならない。そこで私は重い病気になり、母の注目を得ることができました。



私たちの中には明らかに病氣願望があります。拒絶されていると感じるとその願望が生じます。母親が決して拒絶したりはしていなくても、拒絶されたと感じることがあります。母は

私を拒絶したことはありませんし、私を愛していましたが、しかしそれでも、私は拒絶されていると感じたのです。それから私は死にたいと思いました。少なくとも病気にならなくてはと感じました。そうすれば注目してもらえるだろう。皆さんが病気の時、注目されなければどうなりますか。死にたい感じになり始めます。これはなぜですか。死にたいというこの願望はどこから来るのでしょうか。私たちには生きたい願望があるし、死にたい願望もあります。今では、私たちは皆これらの願望がどこから来るか知っています。生きたい願望は神から来ます。死にたい願望はサタンから来ます。私たちの中には争いがあります。私たちはこれをうまく扱うことができるでしょうか。この争いを制御することができますか。私はそうは思いません。どうにかして私たちは選ばなくてはなりません。これが選択ということです。どちらの道を行くべきでしょうか。受け取りたい願望はどちらでしょうか。

私はまた、母と話をしないことに決めました。母が私を拒絶したので話をしないのだということを知ってほしい。私がとても悲しんでいることを知ってもらいたいと思いました。しばしば私たちがコミュニケーションできないのは、プライドのせいです。私たちは感情を間違った方法

で表現するだけです。それが鬱の実体です。皆さんはだれかとコミュニケーションできます。問題を解決できます。しかし、もし問題について話せないとすれば、それはプライドのせいです。

結婚した時、私はまだ26歳でした。結婚についても愛についても何もわかっていませんでした。私はばかみたいに熱烈な男っぽい韓国男性でした。妻についての私の考えは、妻は夫のために何でもすること、でした。当時は賢い医者だけがアメリカに来ることができたので、自分が医者であることを誇っていました。アメリカ人が韓国に行き、ECFMGと呼ばれる特別の試験をします。それはとても難しい試験だったので、賢い者だけが通ったのです。もしこの試験に通ると、その人は落ちた他の医者を見下します。ECFMG試験に通ればナンバーワンになるのです。私は養子になる選択をしました。それから妻を探し始め、とてもかわいい人を選びました。「よろしい。お前は、ECFMGに通ったすばらしい夫のしもべになるんだよ。私はアメリカへ行く。私と一緒にアメリカへ行きたいかい。よろしい、すてきな、結構だ」。それが夫とし



ての私の態度でした。ひどいものです。私は妻を愛していると思っていましたが、その愛は実のところ私のプライドでした。自分を愛する愛でした。それがわかった時は大覚醒でした。妻が何かのことで愚痴を言ったり、注目を要求したり、怒ったりするといつでも、私は決して自分の弱みを彼女に見せまいとしました。いつも、彼女は何と偉大な夫を持っているかということを見せつけ、自分の弱さを見せようとしませんでした。当時私は親密になることがどういう意味か全くわかっていませんでした。互いに無防備であることの意味がわかっていませんでした。プライドでいっぱいだったからです。

私は妻と少しもコミュニケーションがとれませんでした。私はいつも彼女を見下しました。彼女が何か言うと、「女は黙っている!」と言うのでした。女は静かにしているべきという韓国の格言があります。彼女に、女だから静かにしているべきだと告げるのでした。彼女が間違いをすると、彼女は私の足の下にいるしもべであることを確かめさせるために、過度に押さえ込みました。ある日、彼女は靴下を脱いで、爪が何だか変だと言って見せました。私は、「なんて醜い足をしているんだ」と言いました。その日以来、彼女は決して私の前で靴下を脱ぎませんでした。これはひどいではありませんか。私は、偉大な夫としての立場

を守るために、プライドを養っていました。私は親密さというものがわかりませんでした。それが、離婚の主な理由です。彼女が私といっしょにウイマーに行き、神の働きをしたくなかったとか、私を捨てたとか、姦淫したからではありません。真実は、私たちは決して真の親密さを築くことがなかったからです。コミュニケーションがありませんでした。私は妻に自分の弱さを決して見せませんでした。私は妻の前では、ちっちゃな男の子にはなりません。ウイマーに移った1982年以来私は長い混迷を経て、1983年に彼女は私の所から去りました。5年後彼女は戻ってきて2年間私の所にいて、また去って行きました。私はこの間一人で三人の子供の世話をしました。やっと、昨年再婚しました。今、私はほんの少し結婚についてわかったところです。

セミナーのために中国へ行く途中の飛行機で、私はとても疲れました。ふと、私は彼女にもたれかかっていることに気がつきました。頭が彼女の肩ののっていました。こんなことは以前には決してなかったことです。韓国の男らしい夫はこんなことはしません。女性は男性にもたれかかることはできません。男性は女性にもたれることなどできません。彼女が私の頭を支えて落ちないようにしていることに気がつきました。とてもいい気持ちになりました。私は彼女の

赤ん坊でした。私がプライドを捨てたので、やっと私たちは、いくらかの親密さを築いているのでした。



さて、私は「愛とは何か知らなかったが、真の愛はプライドを越えるので、今ではほんの少しは愛について知っている」と言えます。プライドを越えて人を愛さなければなりません。もし、プライドという限界の中で妻を愛しているとしたら、真に親密なコミュニケーションを持つことができないでしょう。親密なコミュニケーションにあこがれているのに得られないと、鬱になります。注目とは何ですか。多くの人々が子供たちに多くの注目をしていると言いますが、その子らが鬱になったり、また奥さんに多くの注目を払っているけれども、彼女が鬱になったりします。私はそこに真の親密さが無いことに気がつきました。真の親密さが無いと言うことは、夫或いは妻に、プライドを越える真の愛がないという意味です。愛の表現が儀礼的になって距離ができます。そこには意味がありません。夫と妻の間に無意味が置かれ始めます。意味は遺伝子を活性化する力です。もし彼らの間に意味がないと、遺伝子は次第に不活性になっていきます、愛

から来る意味という力がないからです。何も無い、愛がない、プライドのせいです。

今、「私はプライドを越えて夫を愛しているだろうか」とほんとうの自己吟味をする時だと思います。もし、プライドを越えてあなたの夫を愛していれば、自分がどう感じているかを夫に告げるでしょう。あなたがどう感じているかを彼に告げると、夫はまるであなたが小さな女の子のようだと感じるかもしれません。そういうわけで多くの人々は女性の言い分を聞こうとしないのです。

— 度それが私に起こったことがあります。ある日、母が韓国からやって来て2、3ヶ月私たちの所に滞在しました。妻はひどいストレスの下にありました。私がある日オフィスから戻って、妻と母が互いに話をしながら楽しくやっているのを見るのは美しい眺めでした。私はドアを開けて喜びました。二人は笑っていました、一緒にいるのを楽しんでいました。私は一人考えました、「今夜はほんとうによく眠れるだろう」。それから、母が「お前、昼食を食べたかい」と言いました。私は「はい」と答えました。

「昼食はどこで食べたの」。

「病院の食堂で」。

「何を出してくれたの」。

「エビの揚げ物とポークチョップですよ」。

「しっかり食べたかい」。

「はい」。

「しっかり食べればよかったのに」。

「しっかり食べましたよ」。

「ほんとうにしっかり食べたの」。



そうだともう言ったのに、彼女はさらに3、4回もそれを確かめるために尋ねました。「味はどうだったの。どんなふう料理してあったの」。私は、「なかなかよくできていましたよ」と言いました。こういう会話を20分ほど続け、それから何だか変だと気がつきました。妻がそっとキッチンに行き、おかしい音を立てました。彼女は普通、皿をととても静かに扱いますが、今は皿がひどく大きな音を立てています。私は鈍くて何が起きているのかわかりませんでした。どこかがおかしいと感じました。しかしなぜなのかわかりませんでした。私はキッチンに行き、どうかしたのかと尋ねました。彼女は、「あっちへ行って。行って。行ってよ」と言いました。

私は内心、これはおかしいと思いました。分裂病患者と結婚したように感じました。彼女は20分前には幸福だったの



です。それから彼女は二階へ上がってしまいました。私は母と居間でさらに話を続けました。

それから妻の後から二階へ行く
と、真っ暗闇の中で彼女がベッドカバーを被ってベッドに座っているのを見つけました。彼女はふさぎ込むことを選び、自分から引きこもりました。彼女は、私との親密さを感じなかったの
こうしたのです。私と母との間に流れる親密さを見て、それは彼女のものであるべきだと感じたのです。私は鈍くてそれがわかりませんでした。どうなっているのかわからないので、いったいどうしたのかわかりました。女性にと

ってこういうことを説明するのは簡単ですか。いいえ、とてもたいへんです。男性は女性がこのように分裂病患者のように振る



舞うと面目を失います。女性は男性が理解できるように頭の中で何が起きているかを見せるべきです。彼女は「あなた、私は女です。あんな風にあなたとお母さんがお互いに話しているといい感じがしないの」とでも言うべきです。女性と

いうのは、男性が何が起きているのかをわかるべきだと思っていることに、私は気がつきました。信じて下さい。私たち男性は鈍いのです。何も言ってくれなければ、私たちは何がどうなっているのかわかりません。女性は私たちに期待し過ぎます。私たちには何もわからないのです。私たちは母親をととても丁寧に扱いますし、そうしようと努めます。私たちは妻に自分たちを理解するよう頼り過ぎます。

親密さは非常に尊いけれども、
時には、妻と夫だけの間のものであるべきです。多くの人々はそう感じています。だから、親密さを表現するために、時には行動が必要になります。妻が親密さにほんとうに渴いている時は、私に「愛してる？」と尋ねます。彼女がこう尋ねるといつでも、私の愛がわからないなんて彼女は鈍いに違いないと思うので、侮辱されたと感じました。私は彼女への愛でいっぱいでした。どこですか。心の中で、ちょうどコップが水でいっぱいのように。妻はちょうどここにある植物のようで、コップに

「私を愛している？」と聞いています。私は、「私は水でいっぱいなのがわからないのかい？」と答えるのです。私はそれに気がつきました。



彼女に水を注がなければなりません、
どうやってそうしたらいいかわかりませ
んでした。この水を彼女の心に注いで、
エンドルフィンを生成し、喜びを造るた
めに遺伝子を活性化する必要があります。
私は愛を注ぐ必要がありました。愛はエ
ネルギーだと申しました。エネルギーは
与えることによって、表現することによ
って、移さなければなりません。



私たちはアジア男
性として、あまり
愛を表現し過ぎるものではないと教え
られました。もし表現し過ぎると、頭がお
かしいと思われるから気をつけなさい、
と。それで、彼女はいつも、「あなた、私
を愛している?」と聞きました。私は、「わ
からないのか。私は稼いだお金を全部
持ってくるから、お前は銀行にあずける
ことができるじゃないか。少しでも自分
で取ったことなどない。それが私がお前
を愛している証拠だ。私はごまかしたこ
とはない。他の女性の所へ行ったことも
ない。お前を愛している。わからないの
か」と答えました。外見では、私がよい夫
である証拠がありました。けれど内面、
心の中では、ほんとうの親密さがあ
りませんでした。真のコミュニケーションが
ありませんでした。鬱は実のところ、真
のコミュニケーションを持ちたいという願
望だと思えます。

ある人は、自分は仕事中毒で妻
が重病だと言うかもしれません。
私はその奥さんがなぜ病気なのか
わかります。アジア人の妻たちは夫が仕
事中毒であるのを見ます。お金がとて
も重要なので、お金と引き替えに親密
さを受け取る願望を犠牲にするよう訓
練されています。

親密さはお金よりもずっと大
切だという発見は、私には
大覚醒でした。たとえお金をもうける
のが少なくなっ
ても、親密さを築く
ことが第一にすべき
ことだと私は考えま
す。これが幸福を築
く方法です。



ある男性た
ちはなぜ仕事中毒になるのか
よく吟味しなければなりません。内心で
プライドが強く働かせいで、時に多くの
男性が親密さを表現したりコミュニケー
ションをすることを恐れるようになります。
親密であること、妻に弱さを見せる
ことは、少年の頃に受けた男としての訓
練に反します。男の子は泣くものでは
ない。男の子は強くなければならぬ、そ
れで私たちは強さに対する完全な中毒
にかかっているのです。この強さは、と
ても不合理です。私たちは強さを押し

す。ですから、自分が弱いを見る度に、自分が恥ずかしくなるのです。サタンはすぐこう言います、「お前を見る。お前は弱い。お前は泣いている、弱いやつだ。眼に涙がある」と。私たちはこういう欺きから自由になれません。ですから多くの男性は親密さをどうやって築いたらいいのかわからないのです。多くの男性は偽りの自己の中で生きています。

ずっと前に、私は母を軽べつしたことがありました。母が友人に、私のプライドを傷つけるようなことを話しているのを見つけました。今、私には女性はこういう風に互いに親密になるのだということがわかっています。彼女たちには秘密がありません。私はどうして女性は秘密を守れないのか不思議でした。それは秘密を守ることができないのではなく、秘密を守る能力を失わせるのは、親密さへの願望であることが今ではわかっています。私はこれを大目に見ることにしました。親密さを築くことは秘密を守るより大切だからです。私たちはたいていプライドのゆえに秘密を守ります。

私たちは鬱になることによって、プライドを持って信号を絶えず送り続けます。「あなた、私にもっと注目して下さい。もっと親密にして下さい」。親密になることは、私には時にとても

難しいことです。いつもタフであるのがモットーだったのでやさしくなるのはとても難しいのです。どうしたら二つを一緒にしてそれを美しくできるのでしょうか。それが男性としてほんとうに私の仕事です。多くの男性はタフであるということでは立派ですが、やさしくあること、弱くあることでは全く駄目です。女性はこれを理解しなければなりません。なぜなら女性はやさしくあることは容易ですが、タフであることは難しいからです。私たちは互いに正反対です。だから互いに理解するのがそれほど難しいのです。

もし皆さんが遺伝子を活性化する主なエネルギーは愛であることを理解して、優先順位を正しくすると、真の強さとは何かが変わり始めます。私は何が神の強さであるかを理解し始めているところです。神の強さはそのタフぶりにあるのではなく、愛の中に、憐れみの中にあります。これは私には新たな啓示ですので、妻に対して愛すべき者でありたい、ゆるし、できるだけ理解する者でありたいと願います。それが真の強さです。それがタフな愛です。こうしたやり方は男性にとっては非常に難しいです。柔らかくあること、弱くあること、あわれみ深くあること、愛ある者であること。私はまだまだ一生懸命やらなければなりません。

今 私は、妻は自分の車のようだということがわかりました。もしガソリンスタンドに行き満タンにしても、それだけでずっといつまでも走り続けることはあり得ません。時が来ると、またガソリンスタンドに行かねばなりません。私は以前にはこのメカニズムが全くわかりませんでした。妻は私に話ができないので非常にふさぎ込むようになりました。彼女は、自分がなぜベッドの所に行って暗闇の中でベッドカバーにくるまっているのか説明できませんでした。彼女は説明できず、私は彼女を見つめてどうしたらいいかわからずにベッドに座っていました。彼女は泣きます、すると私は心理学者のところに彼女を連れていくことを考えます。私は、「お前、カウンセラーが必要ではないのか。心理学者が必要じゃないのか」と尋ねます。そうなのです。私はそういうメンタリティで生活していたのです。

会 話とはどういう意味かご存知ですか。問題を理解するという意味です。弱さの中にあっという間に強くあつたらいいかを理解することです。私たちは自分の遺伝子を強くするやり方を学ばねばなりません。遺伝子を強くし幸福にするただ一つの方法は、イエスの愛を理解すること、受けることです。これ



が、私が今クリスチャンであることを喜んでいる理由です。それはあらゆるものに対する私の関係を変えましたが、特に妻との関係を変えました。私はやっと結婚とはほんとうは何であるかを理解しました。私は妻が幸福であってほしいと願います。私にはよいアイデアが必要なので、それを与えて下さいと神に祈り続けています。

も し妻がまた、同じことをしたら、私には計画があります。神が計画を与えて下さいました。あの時には私は、「お前、どうかしたのか。カウンセラーが必要か。心理学者が必要か。これはほんとうにおかしな態度だよ。私にはわからない。こんな態度をとるわけを話さなくちゃ駄目だ」と言いました。事実には傾き、表面ばかり見ており、彼女の態度は、私には完全に不合理でした。ですから彼女は一層私から距離を置くようになりました。今は、もし彼女がそういう態度をとったら私には新しいプランがあります。それはベッドカバーの中に入ることです。すると彼女は私を蹴り出すでしょう。少し後で私はもう一度やります。過去に彼女は私に、「下に行ってお母さんと一緒に暮らしなさいよ!」と言いました。今では私には準備があります。私は、「母さんと暮らしたくはない、君と暮らしたい」と言うつもりで

す。その後また、ベッドカバーの下に入ります。彼女の抵抗が少なくなることでしょう。これが、私が考えついた新しい戦術です。私は妻をふさぎ込ませないようにする準備をしています。

遺伝子と神についてももう一つの話をしましょう。ドイツにブラックカプツ(頭黒鳥)と呼ばれる鳥がいます。この鳥はドイツとスペインの間の渡りをします。9月16日にすべてのブラックカプツはスペインへ行きます。それから翌春彼らはドイツに戻って来ます。オックスフォードの鳥類学者の一人がこの鳥にたいへん関心を持ちました。ある年の10月に、彼はオックスフォード地域を飛んでいるブラックカプツを見つけました。スペインだけにいるはずの鳥です。そんなに多くはいませんでした。何羽かのブラックカプツがオックスフォード地域にいました。彼はなぜだろうかと実に好奇心に駆られました。翌年、もっと多くのブラックカプツが戻って来ました。何羽かのブラックカプツがスペインでなくイギリスにやって来たので、彼はとても興味が湧き、非常に好奇心がそそられました。

彼はオックスフォード地域のブラックカプツを幾羽か捕獲して、大きな鳥類飼育場を建ててあるドイツへ持って行きました。彼はそこで鳥を

飼って二代目を得ました。この鳥たちはドイツで生まれたのでイギリスへ行ったことはありませんでした。翌年、9月16日に、これらの若鳥たちはどうしたと思いますか。イギリスに飛んで行ったのです。鳥たちは父母の助け無しでイギリスへ飛んで行きました。これはどういうことでしょうか。遺伝子が鳥の渡りをコントロールするという意味です。もし鳥の親たちがイギリスから来たら、その子供はイギリスへ行きます。親鳥と一緒にいく必要はありません。子供たちは正確に親が来た所へ行きます。人々は、鳥には写真でとったような記憶があるのだとずっと考えてきました。私は、それはたわごとだと言います。人は鳥の脳だと言います。鳥がどうやって覚えることができるのでしょうか。鳥たちには私たちよりいい脳があるのですか。私たちには写真で取ったように覚える記憶力はありません。時々、賢い科学者が全くばかみたいになります。

鳥類学者は、遺伝子がスペイン遺伝子からイギリス遺伝子に変異していたことについて気がつきました。それでこのイギリス遺伝子は次の世代に引き継がれたのです。9月16日がやってくると、渡りをするようにとの神からの信号が送られます。鳥は暦を持っていません。いつが9月16日なのかを知るために暦を見ません。けれども9月16日

に渡りの遺伝子が活性化されるので、どこか他の所へ飛んでいきたくになります。今では科学者は、渡りの引き金となる遺伝子があることを知っています。それが渡りを誘い、スペイン又はイギリスへ向かわせるのです。科学者は、過去に鳥たちはイギリスへ行ったことがないのを知っています。それは、鳥たちにはイギリス遺伝子はなかったという意味です。今は、その遺伝子が変異したことがわかっています。スペインのブラックカップトの遺伝子の幾つかが、イギリス遺伝子に変異しました。

遺伝子とは実際には何だかご存じですか。遺伝子とは実際には文字です。書かれた文字です。遺伝子はメッセージです。これを皆さんにお見せしましょう。まだ今日のテーマの一つである肥満の話に入っていませんが、もし私が今日、肥満の話に入らなかったら明日お話しします。体重のコントロールの仕方を皆さんがよく理解するには皆さんに準備をしてもらわなければならないからです。体重のコントロールの方法を知っている人はだれもいません。体重をコントロールしようとする人はだれでも体重を増やします。行いによる義は決してうまくはいきません。信仰による義の原則を土台にして体重のコントロールをします。そうすればうまくいきます、信じて下さい。ですから皆さんは遺伝子

と神との関係をよく知る必要があるのです。それがはっきりしないうちは、何をしてもうまくはいきません。健康面で何をしても駄目です。糖尿病のコントロール、高血圧のコントロール、これもまた遺伝子と関係があります。今は、私たち医学者はこのことを知っています。

これがDNAの鎖、或いは渦巻き線です。(絵を見せて)これを真っ直ぐな線にのばすとすると、二本の真っ直ぐな線になります。DNAは二重のらせん、二つの別々の鎖でできているからです。これは二つの柱のある梯子のようだと言ってもいいでしょう。一つはこっちで、もうひとつはそちらです。二つの柱の間に横木があります。これらの横木が重要です。これらの横木の上にモールスコードがあります。文字はモールスコードで書かれています。もちろん、正確にはモールスコードではありません。けれどもそこには基と呼ばれる4種類の化学物質があります。アデニン、シトシン、グアミン、チミン。名前は気にしないでいいです、モールスコードと呼んで説明した方が簡単です。コードは遺伝子が受け取るある種の振動、或いは電気信号に従って書かれています。例をあげましょう。モールスコードは短点(・)と長音(ー)からなっています。だれかが電気信号を送るとすれば、コードはこうなります「・・・ー」。

50年前なら、フィーニックスにいるあなたのお母さんがプレスコットにいるあなたに電報を今すぐ送りたいとすると、郵便局に行って信号を送る必要があります。彼女は文字で書いたメッセージを郵便局員に手渡し、それを見た局員はその文字をモールスコードに変換します。モールスコードが飛んで行きます。それは電気エネルギー、或いは電波です。プレスコットの郵便局ではどうなるのでしょうか。突然、機械が動きまわります。モールスコードを印刷し始めます。この場合、だれがフィーニックスの信号発信者ですか。神です。あなたはプレスコットの受信者です。神のメッセージがあなたの遺伝子に書き込まれます。そういうわけで聖書は、あなたがたは手紙だと第二コリント3章3節で言っているのです。神はご自分の律法を肉の板にお書きになりました。神はご自分のメッセージをお書きになります。

事 実、ブラックカプットの渡りの遺伝子には、渡りをするよう書かれています。もし渡りの遺伝子が不活性であれば、その鳥は渡りをしません。しかし9月16日になると、渡りの時です。鳥たちはスペインへ飛んで行きたくなります。今まではイギリス遺伝子を持ったことがありませんでした。どういうわけか神は違った信号をお送りになります。神がスペイン遺伝子を消去すると、イギリ

ス遺伝子になりました。

ところで、人々がどうしてそんなに太るか、肥満になるかご存知ですか。レプチン遺伝子と呼ばれる遺伝子があります。この遺伝子は乳酸塩と呼ばれる物質を生成します。レプトとはどういう意味かご存知ですか。レプトとは細いという意味です。この物質は皆さんを細くします。皆さんの脂肪細胞に、脂肪を血流に送り出させてエネルギー源として使えるようにさせます。これはとても大切な遺伝子で、レプチンと呼ばれる重要な物質を生成させます。私を見て、こう言うことができます、「リー先生。あなたは優秀なレプチン遺伝子を持っていますね」。もし皆さんの体重が多すぎれば、皆さんのレプチン遺伝子は、今とても眠くなっているのを知る必要があります。あまり多くのレプチンを生成していません。どうしてなのか突き止めなければなりません。どうして皆さんのレプチン遺伝子は、一生懸命働いてレプチンを生成する気にならないのでしょうか。それが要となる質問です。

ブラックカプットの話をついに完結しましょう。脳虫、猿、キリン、そしてブラックカプットについての話を理解せねばなりません。どうして私がこういう話をするかという、こういう話を聞くことで皆さんが神の力に信頼するようにな

ってほしいからです。神はキリンの健康にさえ関心があるのです。神はキリンのカルシウムレベルさえも見守っておられます。鳥類学者に戻ると、彼は後に、なぜブラックカプットの遺伝子がスペインからイギリスへ変わったのか発見しました。最初、どのようにしてそれが起こったのかわかりませんでした。遺伝子が変化したことはわかりました。彼らはスペインではこの鳥の住みかが開発によって破壊されたことを突き止めました。多くの建物、工場、アパートが鳥たちの住みかを破壊しました。科学者はついにその鳥のための食物が不足していたことに気がつきました。食料を十分に補給できなくなっていました。特別な種類の虫が十分でなくなっていました。科学者は同じ種類の虫がオックスフォード地域にいることに気がつきました。

面白いではありませんか。ブラックカプットが集まって食料探しの委員会を組織し、自分の遺伝子を変化させることに決めたとお思いますか。もちろんそうではありません。鳥たちはスペインでどのくらいの食料が手にはいるか知りませんでした。鳥たちはそれを突き止めることはできません。神だけがそれをご存じです。神はもしすべてのブラックカプットがスペインへ移動したら、そのうちの何羽かは餓死するのを知りました。それでブラックカプットの遺伝

子の10%を変えることに決めました。神は信号を送りました。フィーニックスが信号を送りプレスコットが受け取りました。

ですから、このことを知らずに、9月16日に、みんな渡りを始めます。しばらくの間鳥たちは皆同じ方角へ飛んでいます、ところが、15分ぐらいすると、群のほとんどは南西に向かい、その他は北西に飛んで行きます。鳥の中のだれかが言うに違いありません、「おい、君はどこへ行くつもりなの?」「どこへ行くつもりかとは、どういう意味?」これが私たちが信仰による義と呼ぶものです。私たちにはなぜだかわかりませんが、よいことをしているのです。どうしてなのかわかりませんが、菜食家になります。一生懸命に健康的な食べ物を食べるように努力しても、うまくはいきません。

ある時点で、何かが起こります。昨日私がお話した臍臓を除去した患者のようです。彼は菜食家になりたいと思ったことはありませんでした。健康的な食事をしたいと思ったことはありませんでした。彼はいつも不平を言っていました。彼は町へ出かけて行き、ステーキを食べてサニタリウムへ戻って来ました。彼は、妻が自分の高血圧の原因だと不平を言いました。「こんな

ひどい拷問を受けなければならないのはお前のせいだ」と言いました。しかし、神がおられること、眠っている遺伝子を起すことができ、インシュリン注射から彼を開放することができる神がおられることを知った時点で、どういうわけか彼の食欲遺伝子は変わりました。この患者は神に対して心を開き、「神様、私は自分の食欲を変えることはできません。ほんとうはステーキが食べたいのですが、あなたはそれを変えて下さいますか。私はあなたの精気を受ける備えをしたのです、そうすればあなたは私の臍臓の眠っているインシュリン遺伝子を起すことができます」と言いました。ご存知ですか。神はこの祈りに答えられました。それが、この患者が健康的な食事を楽しむようになり始めた時です。彼は、「うわ、玄米はおいしい」と言いました。

私たちの味覚はどの遺伝子が働いているかによります。神がご自分の知恵の信号をお送りになると、キリンは骨への食欲を持つようになりました。カルシウムレベルが正常にまで上がると、神はその信号を切ります。するとキリンはもう骨への食欲はなくなります。食欲は完全に神のコントロールの下にあります。皆さんの食欲は自分のものだと思いますか。そうだからコントロールできないのです。皆さんは神のコントロールの下にあります。ところが残念なが

ら、私たちには別の違った信号源があります。私たちはプレスコットにいて、フィーニックスから来る信号だけを受けるはずですが、フラグスタッフの郵便局が別の信号を送っています。これが問題の理由です。私たちはフラグスタッフからの信号を受け取る方に、より興味があります。フラグスタッフは、「あなたは体重を減らすことができます。神は体重には何も関係ありません。もし自分を変えることができれば、体重を減らせませう」と言うのです。フラグスタッフはダイエットをするように言います。断食をすると、力がなくなってどんな運動もできません。

レプチン遺伝子の存在の主な目的は何でしょうか。レプチンは脂肪を脂肪細胞から取り出してエネルギー源として使うために用いられるようにします。運動すると、神はその人には余計にエネルギー源が必要だとわかります。食べ物は実際には脂肪細胞に蓄えられるエネルギーです。神がレプチン遺伝子を刺激すると、脂肪細胞はレプチンを生成し始めます。すると脂肪細胞はさらなるエネルギー源を供給するために脂肪を送り出し始めます。

もしそうではなく、皆さんが何の運動もせずに、おなかを空かせていると、もちろん、脂肪細胞は脂肪を送り出すように強制されます。脂肪細

胞はしたくはないのですが、毎日の食べ物で供給しないので、せざるを得ません。これが飢餓です。これは悪い状況です。これは緊急手段でしかありません。

ですから、トロント大学で、科学者が肥満について研究を始めた時、とても奇妙なことがネズミに起きていることを見つけたのです。彼らはネズミを二つのグループに分けました。最初のグループでは、ネズミに欲しいだけ食べさせました。ネズミは毎日同じ量を食べ、同じ体重を維持しました。次のグループのネズミは周期的に飢えさせました。5日間餌を与え、次の2日間は餌を与えるのを止めました。それから10日間食べさせ、3日間飢えさせました。6ヶ月後、第二のグループはずっと重くなっていました、食べ物の量は少なかったのにどうしてでしょうか。

第一の理由は、代謝率が変化していました。もし毎日同じ量の食べ物を食べて同じ活動をしていれば、同じ燃焼率を維持することでしょう。ところが飢え始めると、食べていた時と同じように燃焼させることはできません。十分な食べ物が入ってこないからです。あなたの身体は緊急事態にあります。あなたの身体は空腹を飢餓と解釈し、持っているものを保存しようと努めます。そしてとてもけちになります。レプチン遺伝子

はフラグスタッフからの、緊急事態だから活動を控えるようにというメッセージを受け取ります。フラグスタッフは、体重を減らすために断食するよう言います。つまりあなたには自分の体重をコントロールすることができるということです。神は、「いや、いや、私にさせなさい。あなたがすることは私に信頼することだけだ」と言います。高カロリー、高脂肪、糖分の多い食事を続けている時に、どうやって体重のコントロールをすることができるでしょうか。私たちはしたいことをしたいと思います、そしてまた、願うとおりの体重にしたいとも思います。これではうまくいきません。まず、真の自己である必要があります。

私たちは真の自己と偽りの自己について学んだばかりです。何も食べないと身体にとってはほんとうに緊急事態です。レプチン遺伝子は、「われわれは脂肪を送り出せない、得たものを保存しなくては。だから身体が余計にエネルギーが必要になった時に、要求に応じて最小限送り出そう」と言います。ですからいったん空腹になり、また二度目、三度目となると、レプチン遺伝子は、なぜ活動するか意味が見えなくなるので、非常に不活性になります。今はこのことが理解できますか。遺伝子は存在の意義を見失います。運動をすればレプチン遺伝子は存在することがうれしくなり

ます、それは働く時だからです。神はもつと余計にエネルギーが必要なのがわかるので、レプチン遺伝子は一層活発になります。レプチンが生成され、脂肪細胞に脂肪を送り出させます。これが私たちのシステムの働き方です。もし神が存在するのがわかれば、脂肪細胞と神との関係がわかります。皆さんにはレプチン遺伝子や脂肪細胞をどうすることもできません。皆さんのレプチン遺伝子を神のみ手にあずけなければなりません。これが真の医学です。

レプチン遺伝子は1年半程前に発見されたばかりです。これはほんとうに新発見のものです。だれか科学者が私のレプチン遺伝子のサンプルを取りに来たとしましょう。私のレプチン遺伝子はとても活発です。彼らがやって来てお金をいくらか差し出さないものかと思います。もし活発すぎるくらい私のレプチン遺伝子を取り出して、これを大腸菌の中へ入れると、とても速く増殖するでしょう。1個のレプチン遺伝子が2,3日後には数100万になるのです。それらはレプチンを生成します。彼らはそれを純化して瓶に入れ肥満の人にあげます。実際、彼らはこういうことをネズミで研究しました。ネズミを肥満にさせておいて、レプチンを注射しました。この肥満のネズミたちは急速に体重を減らし始めました。これを聞いてうれしいですか。

私はネズミにはこれはとても効き目があると思います。けれども人間にはうまくいかないと思います。考えてみて下さい。今、皆さんにはたくさんの脂肪細胞があります。体重が多すぎるからです。そしてもし体重を減らすためにレプチン注射に期待するとしたら、ほんとうにそうなるでしょうか。皆さんはまだ安楽椅子に座っていたいのです。ソファに座って、テレビを見、太るようなあらゆる種類の高脂肪の食べ物を食べたいのです。これは矛盾だとは思いませんか。

注射とライフスタイルは両立しません。注射の効き目があるようにするには、ライフスタイルをその注射に合わせなければなりません。しかし人々は、自分たちのライフスタイルを押し切るような魔法の注射を期待していません。そういうものは決してありません。これがネズミにどうして効き目があったかわかりますか。ネズミにはテレビがありませんし、アイスクリームも食べません。だから効くのです。私たちは目を醒まさないければなりません。人々は夢を見て莫大なお金を得るつもりでいます。全く夢にすぎません。彼らは後5年でレプチン注射が実現すると言います。これは行いによる義の究極です。「あなたがたは同じライフスタイルを続けることができます。ポテトチップ、コーンチップ、アイスクリーム、何でも食べたいものを食べてい

て下さい。私たちがあなたの問題を解決します」。これはフラグスタッフから来る信号ではありませんか。フィーニックスも信号を送っているのに、この信号が発信され続け、私たちはそれを受信し続けるのです。

今は天の聖所の清めの時です。天の聖所の清めは2300年の終わりである1844年に始まりました。その後すぐ、神は一つのメッセージをお送りになりました。フィーニックスはエレン・ホワイトに新しいメッセージ、健康メッセージを送りました。その健康メッセージは今日のための宮清めのメッセージです。準備しましょう。私たちの宮は今清められる必要があります。私たちにはフィーニックスから来る新しいメッセージが必要です。

あなたの体重、糖尿病、そのすべては神のみ手の中にあります。もし私たちが自分自身、神の宮である身体を、コーラやコーヒーなどではなく水で清めるなら、神は新しいモールスコードを送り、私たちの遺伝子を新たにすることができます。すると、レプチン遺伝子がついに活性化し始め、体重を減らしたいと思わなくても、体重が減ります。私はそういうことをニュースタートプログラムでたくさん見てきました。これをウイマーでも、私のニューライフ園での働き

でも見てきました。

患者が、自分の体重に関して自分では何もできないことがよくわかったとき、それが始まりです。神の働くチャンスです。私たちにできることはレプチン遺伝子を神のみ手にあずけることだけです。患者がそれに気づくと、彼らの遺伝子は新たな意味を受け取る備えができます。以前には、だれもが体重を減らすのは自分の仕事だと考えていました。それは遺伝子に何の意味も与えませんでした。意味と言えば、クリスマスパーティのドレスが着られるために体重を減らすということだけでした。それは無意味な減量です。宮清めのためではないからです。自分の姿のためだけです。自己崇拜です。神に栄光が帰せられていません。もし私たちが、私たちの宮、神の宮、すなわち身体を清め始めれば、私たちは神のメッセージとなるでしょう。栄養、運動、水、日光、節制、新鮮な空気、休息、神への信頼。これらのことがなされると、フィーニックスは信号を



送ることができます。すると、眠っている間にも、夜中ずっと、レプチン遺伝子は活発にしているレプチンを生成するでしょう。脂肪細胞は脂肪を送り出し始めます。これが信仰による義の原則によるウェイトコントロールです。それは神のみ手にあります。神はこのすばらしい健康メッセージを送って下さいました。私たちがしなければならないことは健康的な栄養、運動、新鮮な空気、水などを楽しむことだけです。すると神は皆さんの遺伝子に働きかけてくださいます。

そういうわけで、イエスは、鳥や野の百合を見よと言われたのです。彼らは何の心配もしません。神は彼らを養われます。神は、それよりもどれほど多くのことを皆さんのためにして下さいましょう。神は喜んで皆さんの遺伝子の中に入れてくれます。どうして扉を開かないのですか。神を招き入れましょう。そして私たちのレプチン遺伝子をいやしていただきましょう。アーメン。

短くお祈りします。愛する父よ、私たちは体重を減らすために一生懸命やって来ました。私たちはまるで自分で体重をコントロールする力があるかのように、これをウェイトコントロールと呼んできました。やっと私たちには自分の体重をコントロールすることはで



きないこと、私たちのレプチン遺伝子をコントロールなさるのはあなたであることに気がつきました。父よ、今私たちの心をあなたに対して開きます。私たちにできるのは、新鮮な空気、新鮮な水、すばらしい健康的な食物のすべて、あなたが与えて下さった果物や野菜を楽しむことだけです。これを楽しませて下さい、そうしている間に、どうかあなたの働きをなさして下さい、そうすればあなたの力によって体重を減らすことができます。イエスの御名によってお祈りします。アーメン。

必要はありません

PART 5

— 高血圧をどうするか —

高血圧をどのように扱うかについてお話しします。高血圧とは何ですか。血液には圧力はありません。血圧はポンプの圧力という意味です。ポンプは何でしょう。皆さんの心臓がポンプです。ですから、血圧は心臓がどれほど一生懸命血液を押し出しているかということなのです。ほんとうは、これを心臓圧と呼ぶべきですが、どうしてもか血圧と呼ぶようになっています。それで誤解が生まれます。どんな状況が心臓のポンプ機能をきついものにするでしょうか。典型的な状況は運動です。運動をすると血圧が上がります。心臓が一生懸命に押し出しているの上がるのです。運動をするといつでも、全器官のシステム、特に筋肉がもっと血液を必要とします。それで心臓は筋肉へもっと血液を送り出さなければなりません。運動をしないで静かに座しているときには、筋肉があまり血液を必要としないので、心臓はそれほど働く



血圧について話すといつも、多くの人が多少混乱します。血圧はひとつの数値だけではありません。もただひとつの数値であれば誰もが理解できるでしょう。ところが二つの数値があるのです。心収縮期圧と呼ばれる上の数値、そして、心弛緩期圧と呼ばれる

下の数値です。心収縮期圧とはどういう意味かごぞんじですか。心収縮期は心臓が収縮しているときの事です。心弛緩期とは心臓がゆるんでいるときです。私はむしろ血圧を収縮圧と弛

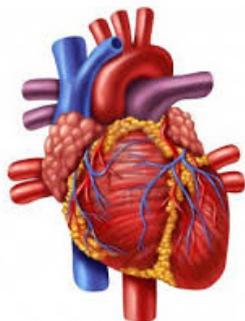
緩圧と呼びたいと思います。その方が簡単ですが、あまり賢い響きがないのが問題です。人はプライドを求めるのですよね。プライドのせいで、人には理解できないような言葉を使うのです。私は少し足りない感じがしても、単純な言葉を使いたいのです、そうすればわかりやすいでしょう。

正常な血圧は120/80です。血圧には二種類の数値があります。どうして二種類の圧力があるのでしょうか。二つの異なった相があるからです。血圧はたいてい腕で測定します。実際に

は、血圧を血管のレベルで測定します。心臓レベルでの血圧測定は簡単にできません。正確な血圧は血管レベルでの測定では測れませんが、心臓でなら測定できます。医者は正確な圧力を測定するために、心臓に面白い仕掛けを送ることができます。

心 臓のポンプ状況を腕で測定する時、実際には血管レベルでの圧力を測定しているのです。心臓は、実際は血液でいっぱいになっている、閉じられた組織です。圧力は心臓がどれほど一生懸命にポンプの様に働いているかによって違ってきます。上の数値は心臓が収縮し終えたときの測定値です。これは、血管が血液で一杯になったときで、一番高い圧力です。一番低い圧力は心臓が完全に弛緩した時です。最高圧は心臓が持っていた血液を全部押し出した時ですから、血管内に最も多くの血液があり、それが血圧の一番高いときです。最低圧は心臓が弛緩している時、心臓に血液を引き込んでいるときです。弛緩の終わりの時点では血管内の血液は最も少なくなっています。

も し心臓が休んでいるとすれば、それは押し出しているときと弛緩しているときの中間です。それは



120/80ではなく、多分90くらいでしょう。そして動きません。その状態では、皆さんは生きることができません、血液が循環しないからです。循環器の中に血液があるだけでは、生きていくということにはなりません。血液と同時にエネルギーが必要です。皆さんの血液がどんなによくても、どんなに心臓が立派でも、もし血液が循環しなければ健康を損ないます。これがいのちの原則です。与えて、受ける。もし心臓に関して授受がなければ、組織全体が死にます。心臓は血液を押し出します。与えます。それから、受け、与え、又受けます。心臓が血液を押し出して与えるとき、どんな血液を与えていると思われませんか。リフレッシュされた、酸素が豊富に含まれた血液ですね。心臓は肺から酸素を含んだ血液を受け取り、それを脳、筋肉、肝臓その他に与えます。どんな血液を心臓は受け取るでしょうか。汚れた使用済みの血液です。それを受け取って、肺に送り、肺はリフレッシュしてから心臓に送り返し、心臓は身体他の部分に与えます。心臓は神のようではないでしょうか。神はいつも私たちに命をお与えになり、いつも私たちの罪をお受け取りになります。とても興味深い組織です。ですから、循環がうまくいっていれば、良好な健康を保つことができます。サタ

ンはこれを知っているの、循環を破壊すれば神の宮を駄目にする事ができます。彼は循環をだめにしようとして出かけて行き、次第に循環を止めていきます。これが要点です。これで、収縮期圧と弛緩期圧がおわかりになったでしょう。

血圧を測定するには看護師や医師でなくてもかまいません。病院へ行くと看護師は血圧を測定するために何をしますか。加圧帯と呼ばれるものを腕の回りに巻きます。そしてポンプで

それに空気を入れ、血液の循環を止めるので、血液は腕の血管の中で動けなくなります。ですから一杯になったような感覚がするのです。看護師は音を聞くために聴診器を腕に当てます。このレベルで循環が止まると、血液は通過してないので何の音もきこえません。加圧帯の圧力を少しずつ抜いていくと、ある時点で血液が流れ出します。その音を最初に聞く時が最高血圧です。それが収縮気圧です。更に加圧帯から圧力を抜いて行くにつれて、血管は一層開いていきます。血管がすっかり開いてしまうと又音が聞こえなくなります。そうやって血圧を測定します。



ちよつとしたクイズを出しましょう。私の血圧は今120/80です。とてもいい状態です。もし私がここから出て行って1時間後に戻り、血圧をもう一度測定したら145/60だったとします。何をしていたと考えられますか。運動で

すか。私が運動をしていたとどうして言えますか。もちろん、私の収縮期圧は高くなったので、興奮状態にあることがわかります。しかし面白いことには、弛緩期圧は80だったのが、今は60です。これはどういうことでしょう

か。人が運動をすると、血液をもっと押し出す必要があります。ところで、もう一つの必要があります。私は運動をしているので血液をもっと回数多く押し出す必要があるのです。それで心臓はもっと多く血液を取り込まなくてはなりません。80と60という弛緩期圧を比較すると、どちらが心臓の中により多くの血液があることになるでしょうか。弛緩期圧とは、心臓へ戻っていく血管の中の血液の圧力を意味するので、心臓には血液が少ない、つまり圧力が少ないということの意味します。もし心臓がさらに活発にふくらめば、血圧は上がりますか、下がりますか。もちろん下がります。心臓はさらに

血液を引き込むので血管には血液が少なくなるからです。60という私の弛緩期圧は、私の心臓が血管からより多くの血液を引き込んでいることを意味しています。これは私の心臓は一生懸命にポンピングしながら、同時により大きくふくらんでいるということなのです。これはとても重要です。収縮期圧は、多くの状況においてほんとうには心配すべき圧力ではありません。弛緩期圧が高いと、常に一層深刻な問題があるのです。

弛緩期圧がより低くなったことは、心臓が一生懸命に働いていて同時に十分ふくらんでいるという意味です。すべて順調で、ポンピングも良好、ふくらみもいいです。これはよい運動ができるという意味です。では、私の血圧が120/80で、一時間姿を消して戻ってきてから、もう一度血圧を測定したら142/92になっていたとします。どうしたのでしょうか。その間に私は何をしましたのでしょうか。明らかに運動をしていたわけではありません。弛緩期圧を見ると、収縮期圧は高く、弛緩期圧も高いのです。これは私の心臓はふくらむことができなかつたという意味です。これはどういう状況でしょうか。その前の時間に何をしていたのでしょうか。私は電話をかけ、いらついでいました。もし皆さんが怒ると、血圧は必ず上がりますが、運動しているからではありません。心臓はふく

らむことができません。心臓は受け入れる容量が少なくなります。運動すると、心臓はより多くの血液を押し出し、より多くの血液を受け取ります。気分良くしていると、心臓はうまくポンピングします。しかし、いらいらしていると心臓はこわばってきます。ストレス下にあると、心臓は柔軟性をなくし、ふくらむ力をなくしま



す。もしこういう状態が続くと、ストレスがない時であっても、弛緩期圧は高くなることがあります。若い人で弛緩期圧の高い場合は、たいていきついストレス下にあることを意味します。128/92という血圧はきついストレスを指し示します。血圧を見ることで、その人がどのような情緒的或いは身体的状況にあるかを、ある程度推察できます。

皆さんの血圧が190/100というように高いと、これは悪いしです。これは心臓がふくらむことができず、同時に血管の具合が悪いことを意味します。何らかの停滞があり、身体に血液を送り出すのに心臓が大変な思いをしているのです。心臓は通常でない力

を出して血液を押し出さなくてはならなくなっています。時には240/120まで上がります。これは非常に危険な高血圧です。

ある人々の血圧は90/50と低い場合があります。また80/50だったりします。彼らはきつい思いをしており、時々めまいを起こしやすく、低血圧のせいで弱った感じがします。それは低血糖症に似ています。通常血糖値は70-110の間で、多くの人々は60以下になるとめまい、失神、発汗、心臓の動悸などの症状を起こします。人が同じ種類の刺激、同じ種類のストレスを受けても、二通りの反応をするのは興味あることです。ある人たち、特に怒りを抑えて自分は立派だと見せたい傾向のある人たちは、強い抑制欲求があります。皆さんが生物学、化学について何もご存じでなければ、言わせてもらいますが、身体は状況に応じて反応するものです。ある人々は状況以上に怒ります。彼らの血圧は上がります。ある人々は怒りを抑えます。彼らの血圧は下がります。



私が医学校にいた1960年代、先
生は低血圧はいい、なぜなら高血圧になるまでには時間があるからだと言いました。今ではそれはほんとうとは言えません。今は、人はストレスに対し二通りの反応をするとわかっています。怒りを押さえ込み、まだおだやかである、幸福であるというふりをする人は、感情表現を押さえ込む傾向があります。彼らには低血圧の傾向があります。積極的に怒ると、体組織に多量のアドレナリンが生成され、アドレナリンは血圧を上昇させます。人が消極的に怒り、怒りを表現せず、叫ぶこともなく、押さえ込んで、何もかも大丈夫だというふりをする、こういう人々も高血圧になることもあります。時には彼らは感情を押さえ込んでアセチルコリンと呼ばれる物質を生成します。アセチルコリン遺伝子が一層活性化されると心臓の動きを抑制します。心臓はポンピングを弱めるので、血圧が下がります。それは低血糖の時と同じ具合です。低血糖症と低血圧症はお互いに従兄弟のように働きます。低血糖の人は低血圧にもなる傾向があります。

なぜ低血糖症になるのでしょうか。人が多くのストレス下にあると、多量の血糖を消費します。もし一定水準の血糖の貯えがあれば問題ありません。筋肉は多くの血糖を蓄えます。これを糖グリコーゲンと呼びます。グル

コースはグリコーゲンになり、筋肉細胞はこれを蓄えます。肝臓はグリコーゲンを蓄えます。グリコーゲンはガソリンのようなもので、すぐに使えます。蛋白質も血糖に戻されることができますが、時間がかかります。脂肪も血糖として用いられますが、使えるようにするにはもっと難しい過程を必要とします。何でも実のところは血糖の様々な形態であるわけです。もし血糖がガソリンに似ているなら、筋肉や肝臓に蓄えられているグリコーゲンは軽油と呼べるかも知れません。蛋白質は梱包された燃料かも知れません。箱の中に入っているのだから、開く必要があります。脂肪は飛行機のコンテナに積み込まれた箱詰めの燃料にたとえられるかも知れません。燃料を取り出すには手間がかかります。ですから、減量のために断食すると、身体は蛋白質をまず使う傾向があります。それで筋肉がなくなるのです。だから断食はあまりやらない方がいいのです。

筋肉の蛋白質がエネルギー源として用いられると、多量の水が必要になります。水を十分に飲まないとな脱水症状になります。蛋白質の副産物が尿で出て行くので、水も多量に出て行くからです。飢えると蛋白質と筋肉を使ってしまうので、体重が減ります。筋肉の喪失は続けることはできませんから、ある時点で、身体は筋肉をなくすのを止め

て、脂肪を使うためにコンテナを開きます。たいてい、人が断食によって20ポンド減量するとすれば、10ポンドは筋肉と水分から、10ポンドは脂肪からです。こうして脂肪を減らすと、何が起ころでしようか。レプチン遺伝子が非常に出し惜しみをするようになって、エネルギー源として使うために脂肪を押し出す刺激を与えるレプチンを生成しなくなります。それでも、断食で無理やりに脂肪を減らすと、後で、脂肪細胞の脂肪を減らすのがさらに困難になります。強制はうまくいきません。生命のシステムは強制ではなく愛によって扱わなければなりません。

グリコーゲンは筋肉と肝臓に蓄えられます。血糖をグリコーゲンとして蓄えるためには、遺伝子が活性化されていなければなりません。グルコースをグリコーゲンにする遺伝子があります。グリコーゲンの形で血糖を蓄える必要がなければ、その遺伝子は活性化されません。血糖をグリコーゲンにするこの遺伝子が機能しないのです。その時



には筋肉や肝臓にグリコーゲンの蓄えはありません。何がこの状況を引き起こすのでしょうか。運動の欠如です。運動すればグリコーゲンの形で血糖を蓄える必要があるのです、食べなくてもエネルギー源として後で使うことができます。ところが運動しないと、この遺伝子は筋肉や肝臓にグリコーゲンを蓄える意味を見出せません。ですから運動はとても重要です。

昨日、皆さんに水を飲んで下さいと訴えましたが、今日は是非運動をしていただきたいと訴えます。もし水をたくさん飲めば、ハンバーガーを食べても大丈夫ですが、それはお勧めできません。私は肉食には賛成ではありませんが、それは気にさわる音楽に対してとる態度のようなものだと言えます。これについては、私はこういう見方をしています。私たちは音楽のことを扱っているわけではありません。私たちは自分たちの魂を扱っているのです。なぜ人々は、自分は音楽を扱っていると言うのでしょうか。なぜ若い人々の魂のことを気にかけないのでしょうか。なぜ人々は音楽について何かしら悪いことを言うのでしょうか。私ももちろん、ある若い人々が聴く音楽には賛成しかねますが、私たちはとても尊い魂を扱っているのです。

別の晩に、私は1時間の説教をしました。子供たちはどんなふりをすればいいかわかっています。彼らは自分たちがよい子であると見せかけることに卓越しています。私はここにいるアリゾナの若者はふりをしているとは思いません。彼らは何かが好きなら、それが好きだということを示します。何かが入らなければ嫌いだということを示します。私はそういうのが好きです。時々、私が別の若者の集まりに話をしに行くと、私をピザやチョコレートを食べないようにと話す酔狂者だと思って、ほんとうは聞いていないのに聞くふりだけをします。そういうのはとても難しい集まりですが、彼らがいるところ(彼らのレベル)で私たちが話をしていることをよく感じています。彼らはそれに感謝し、私もそれが好きです。

ハウロでさえ、異邦人に宣べ伝えるとき、十戒全部を与えるのは多すぎると考えました。彼はそれらを水で薄めなければなりません。少しばかりその水準を下げなければなりません。姦淫することは間違いである事、それから血の付いたままの肉を食べないようにと教えました。それは水で薄めたメッセージでした。彼はなぜそうしたのでしょ。それは始まりにすぎなかったからです。彼には、何はともあれまず彼らと友人にならねばならな

いとわかっていました。それからだんだんに標準を上げ始めます。音楽だけではなく、魂に焦点を合わせなければなりません。もちろん、私は若い人たちが聴く音楽には賛成しません。それは最も美しい音楽ではありません。しかし残念ながらこの世は墮落しつつあります。私たちは彼らがいるところで彼らに会わねばなりません。私は、それはすごいと思います。私たちはセレブレーションチャーチになりたいとは思いませんね。長老派にもなりたくはありませんが、今日、事態は悪いのです。私たちはこれらの魂を私たちの腕の中にとどめることができるよう何でもしなければなりません。それがとても重要です。



さて、運動をし
ないと、糖を

グリコーゲンとして蓄える必要があります。血糖をグリコーゲンとして蓄えないと、低血糖症になりやすくなります。食事を抜くと、血糖が下がります。ストレスの下にあると、多量の血糖を消費し血糖値レベルは下がります。たとえ運動をしても、感情を押さえず過ぎると、また多くのことに気持が煩わされると、いつも知らぬ間に大量の血糖を消費します。そうするといつも境界線上にある状況

になり、血糖値レベルはいつでも正常以下に下がることがあるのです。特に、ちょっと余分のストレスを受けたとか、いつもより食べるのが少なかったというときにそうなります。低血圧や低血糖症に一番いいのは運動することですが、楽しく運動しなくてははいけません。

ある女性が私のところにきて、「**あ**りー先生、あなたは運動するよ
うにと言いました。私はいつも夫のシャ
ツにアイロンをかけています。私は夫が

嫌いですが、彼はいつでも綺麗なシャツが着たいのです。私はぷりぷりしながら、ハアハアして、汗をかきかき、いつも彼のシャツにアイロンをかけています。これ、いい運動になりますか」と尋ねました。確かに運動ですが、た

だの事実すぎず、真の運動ではありません。真の運動はアイロンがけ、プラス愛です。もしアイロンがけが無意味であれば、それは何になるかご存知ですか。その女性にとって、アイロンがけはストレスになります。大変興味あることです。ずっと言い続けていることですが、私たちの遺伝子は、単なる運動にではなく、意味に反応します。この女性がアイロンがけを全く嫌っているとしましょう。彼女

の血圧は高くなるでしょう。

しかし別の女性が、私にアイロンがけはいい運動になるかと尋ねて、彼女はアイロンがけが好きで夫を愛していると言ひ、彼は素晴らしい人だと言へば、私は彼女に、そのアイロンがけはいい運動ですと言ひましょう。一時間アイロンがけをした後、彼女の血圧は140/60になっているでしょう。けれども、もし夫を嫌い、アイロンがけを嫌ひすれば、ストレスになります。愛があればいい運動になりますが、運動をしていてもその運動があなたにとって悪い意味を持つのであれば、それはストレスになり、血圧を上げます。要点がおわかりになりましたか。これは分界点です。これが、信仰による義と行いによる義の一番重要な違いです。

同じ事をして、心の中の反応が違います。遺伝子レベルでは、二つの正反対の反応が起こります。要点がおわかりでしょうか。外見では、どちらの女性もアイロンをかけています。一生懸命働いています。しかし遺伝子はその運動の背後にある意味に反応します。遺伝子は霊的だす。ですから私たちは霊的な存在なのです。私たちらの遺伝子は霊的だからです。遺伝子はただ機械的な作用に反応するのではなく、その機械的作用の意味に反応します。こうい

う遺伝子を持って生きる事は素晴らしいではありませんか。そうでなかったら、私たちらはまるで機械のようになってしまいます。ですから私たちらは、他の人たちらに対してよい意味を与えなければなりません。

私は多くの低血糖症の人を診てきました。彼らがこの事をわかり始めると、それまでは運動の背後の意味になど注意したことがなかったので驚嘆します。ただ運動の機械的な動きだけに注目していたからです。彼らとはともイライラしていました。彼らには体育館に行き、トレッドミルの上で走り、自分を機械のように扱おうとしました。機械は無意味だす。神と何の関係もありません。ですから、健康クラブに加わり、機械に乗り、運動クラスの間、誰かの命令で動くためにたくさんのお金を費やすのはとても気の毒だす。自由を楽しんで下さい。公園に行きなさい。小鳥の声に耳を傾けなさい。子供を連れて行きなさい。夫と共に歩きなさい。そしてそれを運動などと呼ばないようにしなさい。

ウイマー学園にいたとき、私の嫌いなことがひとつありました。歩いているとき、私は自然を楽しんでいました。そこには、ここにあるようなたくさんさんの松の木があり、早春には野の花が咲きました。それはウォーキングでな

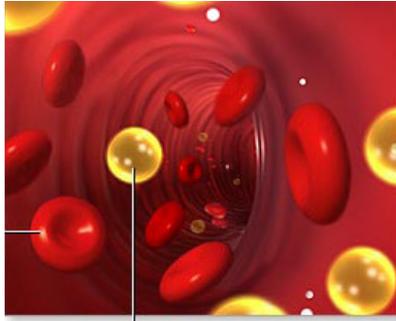
く、神の園を歩いているようなものでした。私は歩いている間にできる限り多くの意味を与えたかったので、あらゆる種類の野の花を咲かせている神に感謝しました。野の花がそこにあるのは単なる偶然ではありません。その野の花は神から私のために贈られたものです。こういう言い方にはもっと意味があるのがわかりでしょうか。私たちの遺伝子はこれを愛します。私が歩いていると、その小道に出ている他のスタッフに会うことがあります。「やあ、今日、歩行距離を伸ばしていますね」と言うのです。歩行距離を伸ばす？「あなたは1日3マイル歩くべきです、そうすれば歩行距離が記録されます」。なんと無意味な言い方でしょう。そうであってはなりません。もっと意味あるものにして下さい。それがばかっているわけではありません。歩行距離について話すのは賢い響きがありますが、遺伝子との関わりでは、実のところ愚かしい事です。遺伝子はもっと意味を欲しています。

コレステロールを多くとりすぎると、このコレステロールが血管壁の内側に蓄積して、血管が硬化していきます。あなたの血管がとても柔らかい、柔軟な、のびのある健康な血管であれば、心臓は必要なときにそれほど高い圧力をかけてポンピングしなくても、ずっと容易に働いています。心臓は、血管

が硬化し狭くなっていると、それはそれは強く奮発してポンプの働きをしなければなりません。血管は広く開いている必要があります、柔らかければ心臓は血液を押し出すのが楽で、血管はとても容易に拡張できます。あなたの血管が硬化し狭くなると、同じ量の血液を押し出すのに、心臓はよりきつくポンピングしなければならぬので、とても疲れます。心臓は、「動脈硬化を起こした血管」と私たちが呼んでいる、狭い血管に同量の血液を通過させるために、大量のエネルギーを消耗します。動脈はコレステロールの蓄積によって硬化します。

多くのアドベンチストの人たちが私のところにやってきて、「リー先生、私は完全な菜食家です。コレステロールが菜食には入っていないことを知っていますが、私は高コレステロールなのです。肉に触れたことはありませんし、動物製品にも触れたことがないのですが、私のコレステロールは高いのです。なぜだかおわかりですか」と言います。もちろん、もし皆さんがコレステロールを多くとりすぎると、コレステロール値が高くなります。肉を食べても、コレステロール値が正常であることもあります。肉や動物製品を食べなくても、コレステロール値が非常に高くなることもあります。

どうしてでしょうか。それは皆さんの身体がコレステロールをつくるからです。コレステロールがいっぱいの肉を食べていても、もし身体がコレステロールの生成を遅らせる方法を知っていれば、コレステロール値を正常にとどめることができます。しかし、コレステロールを全く食べない完全な菜食家であっても、コレステロール値が高いとすれば、それは肝臓がコレステロールをたくさん生成しすぎているという意味です。



Cholesterol

コレステロールはとても大切な化学物質です。私たちの身体はあらゆる種類の細胞できており、コレステロールは細胞膜の最も重要な要素のひとつだからです。身体は何兆もの細胞からなっています。ですから私たちはいつも新たなコレステロールを生成しなければなりません。常にコレステロールの含まれない完全菜食を食べても、身体はすべての野菜、穀物、豆などからコレステロールをつくり出します。糖でさえもコレステロールに変えることができます。肝臓が適量のコレステロールを生成するので、コレステロールを食べる必要は全くありません。

ではコレステロールを食べなくても、多すぎるコレステロールを生成するのはどうしてでしょうか。その理由は、コレステロールは細胞膜をつくるのに重要な要素なのですが、女性ホルモン

をつくるにも重要な要素なのです。テストステロン、エストロゲン、プロゲステロン、これらは皆コレステロールからできます。これらのホルモンをつくるにはまずコレステロールが必要です。別のホルモン、コチロールホルモンと呼ばれるストレスホルモンがあります。これはコレステロールからできるのでステロイドホルモンです。ストレスホルモン、性ホルモン、細胞膜をつくるためにはコレステロールがなくてはなりません。これらは全部重要です。

では、コレステロールを全く食べないのに高コレステロールだという人はどのような人なのでしょう。厳しいストレスの下にある人です。人が厳しいストレス下にあると、この人はさらに多くのストレスホルモンが必要になります。もっと多くのストレスホルモンをつくるためには、もっとコレステロールが必要になります。コレステロールを食べていないと、肝臓がもっとコレス

テロールを生成しなければなりません。大きいストレス下にあるのですから、もっとストレスホルモンをつくらなければならぬからです。あなたが菜食者でコレステロール値が高いときは、ストレスがたくさんあるということを意味しているのです。

私はこういう状況をかなり多く見ていて、人々はコレステロールを下げるには何を摂ればいいのかと私に尋ねます。コレステロールを下げるために摂れるものはありません。彼らに心に平安はありますかと聞きますと、「はい、あります」と答えます。人が自分には平安があると言うときはたいへい、そうではありません。こういう人たちは、明らかに多くのストレス下にあるので、講義の最中に眠ってしまいます。多くのストレス下にあるので疲れているからです。ですから、平安とは何かを理解することがとても大切です。多くの人々が、何の心配もないと言いますが、平安があるでしょうか。これは二つの違う質問です。

自分の経験に従って、私が平安とは何か見つけたことをお話ししましょう。聖書は休息について語っています。そして皆さんは、ガンについての私の講義から休息がどれほど重要かわかっています。イエスは、「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのも

とにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう」と言われます。私が初めてこれを読んだとき、理解できませんでした。私は自分で休むことができます。なぜイエスは、「わたしがあなたがたを休ませてあげよう」と言われるのか。聖書は奇妙な本です。休息が必要なら、私はソファに横になって休息できます。けれども、イエスは、「もしわたしが休みを与えなければ、あなたがたに休みはない」と言われます。これはとても興味ある概念です。「わたしがあなたがたに休みを与えよう」。これによってイエスは何を意味しているのでしょうか。みなさんがガンに関する講義を理解すれば、この質問を理解できます。

ヒントを差し上げましょう。P-53 遺伝子です。P-53 遺伝子は休むことのできないガン細胞を休ませる特別の物質を生成します。それは休息物質です。皆さんが身体をソファに横たえて休んでいると思っけていても、細胞内部の遺伝子が休めなければ、休んでいることにはなりません。神が、休息物質を生成するp-53遺伝子を活性化する信号を送るのでなければなりません。この物質が、たとえあなたがたが散歩か何かしていても細胞を休ませます。もし怒りで煮えくり返っていたり、誰かを憎んでいたら、たとえソファに横たわっていても細胞は休めません。それは休息ですか。そ

うではありません。遺伝子はアドレナリンを噴出していて、p-53遺伝子は活性化されません。休息は神からの賜物です。神がみなさんのp-53遺伝子を活性化する信号をお送りになると、細胞は休みます。すると皆さんは休むのです。それから遺伝子は修復されます。すると皆さんはいやされます。それが安息日の目的のひとつです。

安息日には、地球全体の空気を満たす神からの大量の力があります。神は、もし私たちが喜んで受け取るなら休みを与えようとしておられます。皆さんがこの休みを受け取ることにしておかまいなしであれば、それを受け取ることはありません。遺伝子は意味に反応するからです。皆さんが安息日により意味を与え、これは神が私たちに休みを与えて下さる日だと認め、これは神が私たちのp-53遺伝子を刺激して休ませて下さる日だと認めるなら、神に同意するので私たちが休みを得ることでしょう。私たちは、神の邪魔をしないようにするので、神にリフレッシュされ、いやされるのです。これは安息日についての美しい意味です。もし安息に満ちた心がないと、コレステロールは上昇し、このコレステロールは徐々に血管に蓄積していくでしょう。

私はパーキンソン氏病である一人の姉妹に会ったばかりです。ドーパを生成する脳細胞が死ぬと、この病気になります。ドーパが生成されないので、パーキンソン氏病の人は筋肉動作に調和がありません。筋肉に調和ある働きをさせるのはドーパです。錠剤の形でドーパを摂取すると、筋肉はよりよく働くでしょう。ドーパ又ドーパ生成細胞が欠如すると、筋肉の調和ある働きがなされません。

長い間、私たち医者は医学校で、脳細胞は再生できないと学んできました。私も固くそれを信じていました。それから私は聖書に、発作を起こした子供や中風で麻痺した人がいやされたと書いてあるのを読みました。それは脳細胞の死が原因だったのですが、いやされました。それで神には新しい脳細胞を再生することができるのだとわかりました。私は、脳細胞は再生できるのだと信じ始めました。医学校で、脳細胞が再生できると言わない唯一の理由は、まだそれを見たことがないからです。それは聖書の中にしかありません。

私は、脳細胞が再生できる証拠が何かないかどうか調べていました。そしてジョン・ホプキンス大学のシュナイダー博士という名の優れた神経学者を見つけました。彼は実験室で

赤ん坊の脳細胞を培養し、それらは再生できることを実演できる事を見つけました。なぜか彼は、実験室で脳細胞に与えたホルモンのすべての名前やその割合を秘密にし、公表しませんでした。そのホルモンは何だったのでしょうか。彼はそれらを、神経成長因子、NGFと呼びました。今日、脳細胞は神経成長因子と呼ばれる特定のホルモンを生成することがわかっています。又他に3, 4の、今ちょうど私たちが学んでいるものについてわかっています。

そこには非常にデリケートなバランスがあります。要点は、シュナイダー博士は実験室にこれらの脳細胞を持っていて、その細胞の



再生は、他のホルモンと組み合わせて与えられた神経成長因子の量次第であったということです。幾つかのホルモンの調和のとれた統合、これがとても重要です。ついに、ほとんど偶然に、彼は正しい公式を見つけました。彼は人間の赤ん坊の脳細胞が実験室で増殖できる事を実演しました。これはすばらしい発見ですが、彼はその処方方を秘密にして公表しませんでした。今日、脳細胞は培養できます。パーキンソン氏病の患者は脳細胞の移植を受けることができます。ハーバード大学その他では、脳細胞がどのよう

にして再生するのか血眼になって研究しています。今では、70代の大人の脳細胞でも再生できることがしっかり証明されています。

どうして中風やパーキンソン氏病の人々はよくなるのでしょうか。私は、子宮摘出した後もエストロゲンの生成ができるかどうか知りたがっていた人に話をしたばかりです。この質問に答える前にその話をしましょう。皆、

今日アルツハイマー病を恐れています。その予防法がわかっておらず、何が原因か知りません。ロナルド・レーガンはその病気で、奥さんのこともわかりません。恐ろしい病気

です。認識の問題だけでなく、実のところ何もかも忘れていくのです。なぜ便座に座っているのか忘れます。自分が何をしているところなのかわからなくなります。腸の蠕動運動が必要でも、何が何だかわかりません。何もかも忘れます。たとえ用足しが終わっても、その後で拭うことを忘れます。脳細胞が死んでいくので、それは恐ろしい病気です。なぜある人々は、80歳でも頭脳明晰で何でも覚えているのでしょうか。なぜある人々は、40歳や50歳で物事を忘れ始めるのでしょ

うか。

ケンタッキー大学の研究チームは、アルツハイマーの研究にとっても興味を持っていました。最初彼らは、それはアルミニウム中毒のせいではないかと考えましたが、今ではアルミニウムとは何の関係もないことがわかっています。今日、人々は自己免疫反応かも知れないと考えています。つまりT細胞が脳細胞を攻撃するので、脳細胞が死ぬというものです。アルツハイマー病についてのよりよい理解は今のところ広く公表されておらず、私もなぜだかわかりません。

しかしこれが、アルツハイマー病に関してなされた研究成果です。カトリック教会は特に司祭や修道女の間でこの病気で多くの問題を抱えています。他よりも多くカトリック教会に患者がいるとは言いませんが、この事で多くの問題を抱えているのです。ケンタッキー大学の研究チームは、修道女でこの研究をするのは良いアイデアだと考え



ました。アルツハイマー病を扱うとき、標準化の方法がわかりません。というのは人々の背景が様々で、体重も様々、食事も様々、あまりにも差異があるので、アルツハイマー病の発症に関して最大のインパクトは何なのかわかりません。修道女は大変好都合な集団です。彼女らは皆同じ宗教、その生活様式は互いに似ており、食事その他が似ています。アルツハイマー病を研究するには完璧な集団です。そこにはまだまだ精神機能がしっかりしている80歳の引退修道女がおり、全く精神能力のなくなった50歳の修道女がいます。なぜこういうことが起こるのでしょうか。

研究者は修道女についてできることは何もかも調べましたが、何ら意義ある結論は出せませんでした。最後に彼らは彼女たちの日記を調べることにしました。修道女は毎日日記を書くことになっています。カトリック教会は修道女たちの日記帳を提供しました(もちろん、修道女たちの許可を得て)。そして研究者は注意深く日記を調べました。科学者が何を見つけたと思いますか。最もはっきりした違い、最も決定的な違いは、頭脳の明晰な修道女たちの日記は多くの意味ある叙述がしてありました。「今朝は小鳥が私のために窓のところで歌っていた。主を賛美せよ」といった具合です。それは彼女らにとって、とても

意味のあることだったのです。彼女たちのした仕事、病院へ行くこと、人々を他よりも多く助けること、患者



のために祈ること、何もかも、毎日意味あることで一杯でした。このような文章を書いていた修道女たちは、まだまだ明晰な頭脳を持っていました。アルツハイマー病で苦しんでいた人たちの日記帳はたいてい空白でした。例えば、「1999年、6月18日。晴れ。とても忙しい日だった。疲れた」。それだけです。賛美もなく、意味もなく、感謝もありません。彼女たちは神から離れていたように思える修道女でした。疲れた修道女でした。意味は遺伝子を刺激するものです。

これは私にロナルド・レーガンとジミー・カーターの違いを考えさせました。ロナルド・レーガンは、「あなた方は一つの山を一回見たら、すべての山を見たのです」と言いました。彼は俳優であり、ごく若い頃でも、いつも政治に関わっていました。政治家は全く役者ですね。しかし、ジミー・カーターはどう演じるか知りませんでした。それで私たちは彼はばかだと言いましたね。彼は与える心を持っていました。彼がすることは何でも、政治的観点からは無意味だと思われました。しかし、彼の考えで

は、意味ある事をしようとしていました。それで彼はアトランタに低所得者の住宅を建てました。そしてあらゆる行為において、彼は自分の心を与えました。ですから、彼は今日、まだ明晰な頭脳を持っています。今、彼は紛争調停人で、世界中へ行き、紛争を調停し、問題を解決しています。彼はおそらく今よき長です。ロナルド・レーガン、かつては最高統治職にありましたが、突然人生の意味を失いました。自分が何をするのか何もわからなくなっています。おそらくそれは彼には最も深刻な打撃だったでしょう。

私 はまじめなクリスチャンであることをとても幸福に思います。脳細胞をお金で買うことはできないからです。脳細胞は、意味ある真理を探究していると、再生し続けることができます。年をとると脳細胞がなくなっていくと言っははいけません。私はもうそういうことを信じないからです。皆さんが、年をとると記憶をなくすと思っていれば、記憶をなくすでしょう。私はこういう風に信じることに決めました。もし私がもっと意味ある真理を探究し、日毎にさらにもっとそうしていけば、年とるにつれ、脳細胞はよりいっそう鋭くなっていくだろうと考えます。事実、私にはそれが起こっています。私は教会に入ってきてからも、ますます深く、高く真理を追求してきました。私には10年前よりずっとたくさん

の脳細胞があると思います。私が言う意味がおわかりですか。ですから私には若くて美しい妻がいるのですよ。私の身体は強くなっています。

私は一度、バイパス手術のために心臓を開く手術をした患者を持ったことがあります。不幸にも皆さんが心臓を開く手術をすることになると、人工心肺を通してすべての血液を迂回させなければなりません。人工心肺の機械はまだ完璧ではないので、血液がそのシリコン製のパイプを通るとき凝固して小さな固まりをつくります。血液が脳に行く時に、それが脳の血管をふさぎ、ミニ卒中を起こさせます。それで何も感じはしませんが、たいていその手術後、人々はいくぶんか記憶障害になります。普通その記憶障害は2,3ヶ月後にはなくなります。ところが、この私の患者は65歳でしたが、子供っぽくなりました。彼は、「君、どこにいるの」と言いながら妻を探していました。彼は大人の態度をなくしました。彼の奥さんは戸を開けてやらなければならないし、彼の後を追って回らなければなりません。彼は車から出るためにドアを開けることもできません。彼の知性はどこかしらに残っていましたが、その態度はひどく子供っぽくなりました。多くの脳細胞がダメージを受けました。

4年後、奥さんは高血圧になりました。彼が彼女の喜びを追い払っていたからです。薬にはそれを下げる効き目がありませんでした。彼の奥さんは高血圧の問題のためにウイマーにやって来ました。私は、彼女が夫のことでひどい問題を抱えていることに気がつきました。私は、彼女の夫に脳細胞は再生できること、神は脳細胞を再生させるホルモンを出す遺伝子を刺激することができるのだと説明しました。脳細胞は再生できます。科学的証拠があります。彼は泣きました。彼は以前にそんなことを聞いたことはありませんでした。彼は、「私は患者になりたい」と言いました。彼は妻の付き添いとしてそこにいたわけではありませんが、今希望を持ったのです。彼はとても幸福でした。彼は健康的な食事を食べ始め、楽しく運動をするようになり、笑うようになりました。

1週間後、奥さんが私のところに目に一杯涙をためてやって来て、「リー先生、今日、ここ4年で初めて夫が私のためにドアを開けてくれました」と言いました。誰も彼にそうするように指図したわけではありません。

25日後、私たちは終了祝いの会食をしていました。その時、多くの患者たちが証をしました。この男性もそれを申し出ました。私たちは大変好奇心を

持ちました。彼は茶色の買い物袋を持ち上げていましたが、何が入っているのかわかりませんでした。それから彼はそれを下に降ろして話し始めました。「私は自分を取り戻しました。神は私の脳を元通りにして下さいました」と言いました。それから彼は袋からバイオリンを取り出しました。彼は、「私はバイオリンを弾いていたことがあるが、その能力をなくしていました。ところがここに来てから、リー先生が、神は私の脳細胞を再生できると言ったので、それを信じました」と言いました。これを聞いて私がどんなにうれしかったかわかりますか。その時、彼は、またバイオリンを弾くことができるだろうと考えたのでした。ある日、ヒラリー（スタッフの一人）がバイオリンを弾いていると、彼はこっそりバイオリンを練習できないものかどうか頼みました。彼は秘密でバイオリンを練習し、今弾くことができるのです。そこで彼は終了の祝いの席で演奏しました。私たちは全員泣きました。そうです、神は彼の脳細胞を再生させました。



私は又、7年の間苦しんできたパーキンソン氏病の患者を持ったことがあります。今、彼女は薬無しで、問題なく歩いています。

女性は子宮を摘出したにも関わらず、なおエストロゲンを生成できます。科学者は子宮をなくした多くの女性がエストロゲンを生成していることを見つけました。体内でエストロゲンを再び生成できるアロマターゼと呼ばれる物質があります。もし、女性がアロマターゼをたくさん生成すると、このアロマターゼは再びエストロゲンを生成します。これは脂肪細胞の中で起こることがあります。自動車事故で脾臓を切除した男性の中で目覚めたインシュリン遺伝子の話を覚えていますか。これは同じ事です。女性が子宮を摘出しても、脂肪細胞の中で眠っているエストロゲン遺伝子が目覚めることがあるのです。ただ問題なのは、当の女性がそれはあり得ると考えないことです。しかし神は遺伝子に責任を持っておられます。神は皆さんのコレステロールレベルをコントロールできます。コレステロールの主要な源は皆さん自身の身体からきます。肝細胞はコレステロールを生成しすぎることがあります。神は肝臓の遺伝子を鎮めることができますから、コレステロールを生成しすぎることはありません。今は遺伝子についてわかっているので、この医学

を研究することは、今日一層魅力的になっています。

皆さんに、雌の魚がどのようにして雄になるかという話をしたでしょうか。とても権威ある科学ニュース雑誌がありますが、その1996年10月版に非常に興味深い記事がありました。科学者は衝撃を受けました。彼らはある種の熱帯魚を捕って、雄と雌を取り出しました。実験は10匹の雄と雌がいたときに始まりました。彼らは10匹の雌だけを取り出し、別にしました、すると3、4日のうちに雌のうちの5匹が雄になりました。そのようにするとその魚はいつも性転換します。誰かが見守っているのです、ご存知ですか。魚自身は自分の性を転換できません。性を転換するには、何が変化しなければならないのでしょうか。遺伝子が変化しなければなりません。性染色体が変化しなければならないのです。染色体は実のところ遺伝子のかたまりです。染色体を変化させるには、遺伝子を変えなければなりません。誰が遺伝子を変えるのですか。神がご自分の信号をお送りになります。合衆国では、それをzap(電流攻撃)と呼び、ドイツではbliyzと呼びます。各国がこれに様々なニックネームをつけています。

どうか、私のところにきて、「私はこんな状態です。これを変える

ことができますか」と聞かないで下さい。脳細胞は再生できます。再生は不可能だと教えられていたこれらの細胞は、再生できるということを今の科学者は知っています。簡単に再生はしません。再生にはそれ自身の条件が必要とされます。第一に、皆さんが健康な脳を持っていても、無意味な生活をしていると、脳細胞は死んでいくでしょう。意味ある生活をしていると、脳細胞は増えていくでしょう。今、私たちはその事を知っています。ですから、意味深い生活をしているカトリックの修道女は脳細胞の再生がより多くされているのです。

高血圧の話に戻しましょう。皆さんが高血圧になって医者のところに行くと、医者治療の手始めに利尿薬をくれます。利尿薬は何をしますか。利尿薬は、何回もトイレに行かせるので、体組織の水を大量に失わせます。水分をなくすことで血液のかさを少なくすると、もちろん圧力は下がります。それについては疑問がありません、簡単な論理です。血圧を減らすといつでも、皆さんの組織の器官は全部、不平を言い始めます。十分な量の酸素を受けるためには高い血圧を維持しなければならないからです。ところが血圧が人工的に下げられると、脳、肝臓、またその他すべての器官が不平を言い始めます。彼らは、「どうしてわれわれは十分血液を受け取ら

なくなっただろうか」と言います。血圧が下がり、血管がかなり狭いと、心臓は十分な圧力で押し出すことができません。脳は十分な血液を受け取りません。すべての器官が不満です。特にどの器官でしょうか。腎臓です。腎臓は血圧が下がるとほんとうに怒ります。時々腎臓は仕事を止めてしまいます。血圧が低くなりすぎると、時に腎臓は仕事を止めるでしょう。腎臓は、清めのために、また組織から毒を濾過するためにとっても重要です。腎臓はいつも、血液をきれいにするために他の器官よりも多くの血液を受け取ります。腎臓は血圧が下がるのにはいつでもとても敏感です。血圧が下がるといつも、腎臓は脳に長距離電話をかけて、「何が起こっているんです？十分な血液を受け取っていませんよ」と言います。脳は、腎臓の要求は良いものだ信じているので、たいていその要求に応じて補正をします。血圧がほんの少し高いだけでも、血液をもっときれいにできません。脳は心臓がもっと強く押し出すよう刺激するためにいくらかのアドレナリンを送ります。心臓はもっと強く押し出すでしょう。血圧は上がります。すると腎臓は、「ほんとうにありがとう。今はうれしいです。自分の仕事ができます」と言います。

そこで、また血圧を測ると、医者
は少し上がっているのがわかり、お決まりの手順で利尿薬を倍にし

す。それで、明らかに、皆さんはもっとしげしげと医者のところに行くことになります。水分を失うので血液のかさが減る。血圧が下がる。するとすべての器官が不平を言う、特に腎臓が。脳は、心臓がもっとしっかり働くようにとアドレナリンを生成する。患者はいい気分でしたのですが、2、3ヶ月後、血圧は同じ高さに戻ります。そこで、医者にまた血圧が元に戻ったと告げます。すると医者はベータブロックと呼ばれる新しい薬を紹介します。血圧は脳から出るアドレナリンによって上げられたので、科学者はアドレナリンをブロックできる薬を開発しました。これをベータブロックと呼びます。この血圧上昇は組織内でのアドレナリン生成に大きく起因するので、今度は、製薬会社はベータブロックと呼ばれるものを作り出しました。彼らがこれを市場に紹介したとき、ダン・ラザーが出てきて、われわれは高血圧その他を征服したと言いました。

けれどもご存知ですか。その製薬
会社はずっと昔、もしベータブロックを度々使うと、腎臓はまた不平を言うだろうと予想していました。ですからある時点でベータブロックは血圧を下げる効き目がなくなることを知っていて、すでに新しい薬を開発しているところです。彼らは常に次の製品の開発をしています。そうです、彼らにはこうなるこ

とがわかっています。彼らは、それぞれの新薬が私たちがいい気分させるのだと私たちが考えるよう望んでいます。彼らは、私たちに、アドレナリンが多すぎる、それを鎮めて血圧を下げる必要がある、そうすれば気分が良くなると言います。すべての器官組織は圧力が減ると不平を言い始めるでしょう。そうしている間に、皆さんは倍量の利尿薬を飲みます。もし利尿薬を長期間多く摂りすぎると、コレステロール値が高くなります。

それはほんとうに賢いことでしょうか。この治療の意味は何でしょうか。ほんとうによくなりたいのですか。もしほんとうによくなりたければ、なぜ高血圧なのかをよく知らなくてはいけません。なぜ圧力は血管の中で増大しているのでしょうか。それは食事、ストレス、運動不足、ライフスタイルの問題かもしれません。薬の問題ではないのに、人々はほんとうのことを避けるために薬を使っています。よくなりたくない、それがほんとうの意味なのです。いやされるよりも、慰めを望んでいるだけなのです。多くの患者がこのレベルにいます。彼らは、「先生、私にはこんな問題があり、とても不快です。この不快を取り除くことができますか」と言います。人々



は完全にいやされることをほんとうには願っていません。もし彼らがほんとうにいやされたいなら、問題の原因を取り除くために何でもしようとするでしょう。病気の根源にある原因を取り除く、つまり生活スタイルを変えることです。

そういうわけで、ベータブロックを飲んでいい気分になると、腎臓が不平を言うので血圧はまた高くなります。それでベータブロックを倍にします。それから3倍にします。ベータブロックを3倍にすると、血圧は下がるでしょうが、アドレナリンブロッカーを多くとりすぎたので、全組織にアドレナリンが不足します。すると皆さんは少しふぬけした感じになります。それで御主人は勃起しないので妻と床を共にすることができません。勃起のためにはいくらかアドレナリンが必要ですが、アドレナリンブロッカーを摂りすぎたので、勃起障害になるのです。

すると医者には製薬会社に薬が効かないと文句を言い始めます。すると製薬会社は、カルシウム通路ブロッカーという新しい製品があると言います。カルシウム通路ブロッカーとは何でしょうか。心筋が収縮するときはい

つも、カルシウムがどっと心筋に入ってきます。通路があり、心筋自体にカルシウムがどっと入って来られるように開きます。「われわれはこの通路を発見し、この通路をどのように遮断するか、そしてカルシウムが心筋細胞に入る事ができないようにし、心臓が強く収縮できないようにする方法を見つけました。そのために血圧は上がらないでしょう」。医者は、「それは良い考えだ」と言います。そして新製品が登場します。そこで皆さんは通路ブロッカーを使い、血圧は下がり、腎臓は苦々しく文句を言います。服用を2倍にします。3倍にします。効き目がなくなります。今私たちは通路ブロッカーの時代を通過したばかりです。

私が医学校にいた頃は、ベータブロッカーの時代でした。私が卒業した後は、カルシウム通路ブロッカーの時代でした。今、どうしていいかわからないでいます。カルシウム通路ブロッカーを使うと、腎臓が文句を言い、脳に長距離電話をかけます。脳は腎臓の文句を聞くのにあきあきします。「また、君か、腎臓君。君にはうんざりだ。どうか電話をかけないでくれ。もう何をしたいかわからないよ。私が何かすると、この人は変なところに行ってまた血圧を下げることを何かするんだ。私にはどうしようもない」と脳は言います。それから脳は腎臓に、「もう君次第だ。君がしたい

ようにしてくれ。君には血圧を上げるレニンというものがある」。腎臓は、「わかった。では君の許可があるから、レニンを出して血圧を上げよう。そうすればきれいにするためにもっと血液を受け取ることができる」と言います。脳は、「いいよ」と言います。さて、カルシウム通路ブロッカーはまた効き目がなくなります。そしてレニンのせいで血圧は上がります。科学者はレニンブロッカーと呼ばれる新しい製品の開発について考えているところです。「主を賛美せよ」と言うべきかどうか、私にはわかりません。レニンブロッカーは今市場に出てきています。次はどうなるか私にはわかりません。これは絶え間ない闘いです。私はこれをバベルの塔と呼びます。無意味ですが、どんどん上に上がり続けます。

このように医学の知識は蓄積していますが、何の問題も解決してはいません。遺伝子の問題を解決してはいないからです。もし皆さんが塩分の濃い高脂肪食を食べ続け、適切な運動をせず、怒ってばかりいて、人々を憎み、許すことができなければ、そういうすべてのことが、よい健康状態を獲得する妨げになります。私のする講義に、ゆるしについての講義があります。ゆるしは医学的に重要です。私のこの講義をゆるしの神経生物学と呼んでいます。他にも安息日についての神の生物学と呼ぶ講義が

あります。私は生物学、物理学、科学、神学を医学に結びつけるのがとても好きです。そうすれば皆さんは、ゆるしにはほんとうはどんな意味があるのか理解なさるでしょう。皆さんがゆるすと、脳に何が起るかわかりですか。今回の講義だけで満足しないで下さい。学ぶことはいっぱいあります。私はキャンプミーティング全部を受け持って、全部の講義を皆さんに上げてあげることができればと思いますが、それができません。いつかここでそれができるでしょうか。どう思いますか。私たちは来年、2000年にそうすることを考えているところです。私は私の後に話し手が控えていないのがうれしいです。何を話していましたっけ。レノンブロッカーですね。

私たちはライフスタイルを変えする必要があります。問題はこうです。運動を何もしないで、高脂肪食を食べていると、皆さんの身体は多すぎるコレステロールや脂肪をどうしていいかわかりません。肝臓は徐々に、脂肪をつかんでおくという緊急事態に追い込まれます。肝臓はLDLと呼ばれる物質を生成します。最後のLはリポ蛋白という意味です。これは特殊な蛋白で、血中で脂肪とコレステロールをつかまえます。高脂肪食をして、運動しないと、血液はべたついてきて、循環をふさぐことがあります。神は脂肪を食べないように言い

ますが、でも問題が起きるとLDL遺伝子を刺激なさいます。LDLは出て行って、ピックアップトラックのように脂肪とコレステロールを全部集めて肝臓に運ぶので、肝臓はそれを分解できます。肝臓はあまりにも負担をかけられると、ついにはピックアップトラックを拒みます。かわいそうなピックアップトラックは循環に戻って、コレステロールを捨てる場所をどこか探します。それで動脈硬化になります。典型的なアメリカ人のライフスタイルである、運動をせずに高脂肪食を食べるということをしていると、こういことが起こります。これは菜食者にも起こります。

ついに、皆さんが神の健康メッセージを見つけ、健康的な食事をし始め、運動し、聖霊の力によってゆるすようになります。さて、ゆるすと脳に何が起るかわかるでしょう、心が平安になります。何が起るでしょうか。今では運動を楽しみ、御主人のシャツにアイロンをかけるのが好きになったので、それには意味があります。すると神が信号をお送りになります。HDL—高密度リポ蛋白。HDLが生成されると、血液の中に出ていきます。それはブラックホールのような働きをします。コレステロールの蓄積したところに行ききれいにしてしまいます。すると血管は広くなり、狭心症は消え、めまいはなくなります。美し

いことが起こります。

に。アーメン。

これはディーン・オルニッシュによってしっかり証明されています。健康的な食事、ストレスコントロール。特に私たちには、ディーン・オルニッシュが紹介しなかった神があるのです。神は皆さんのHDL遺伝子を刺激することができるので、HDLを生成することができます。HDLは動脈からコレステロールを全部かき取って、肝臓に運び、肝臓はコレステロールを分解して十二指腸に送り出します。それから皆さんが繊維のたっぷりある果物を食べると、その繊維がコレステロールを全部吸収し、翌朝にはしっかり便通があるということになります。なんとすばらしいシステムでしょう。

この健康メッセージに従うと、ついに、自分の身体を理解することを通して、なぜ私たちの遺伝子を創造された神を礼拝する必要があるかわかります。なぜ神に栄光を帰する必要があるか理解するでしょう。自分自身の遺伝子の働き方がわかったので、三天使の使命を、単なる教義ではなく理解するでしょう。皆さんの遺伝子は三天使の使命を経験するのです。願わくは神が、皆さんに、自分の身体がどのように働くかを理解することによって、この美しいメッセージを経験させて下さいますよう